

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-117)、
廃棄物管理施設(92)、MOX燃料加工施設(2-75))」

2. 日時：令和5年11月9日(木) 10時30分～12時20分
13時30分～17時35分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、
上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部 副部長
他3名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年11月7
日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の設計(MOX燃料加工施設のグローブ
ボックス、換気設備、機械装置・搬送設備等)

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の設計については、審査会合での指摘
事項を踏まえて、今回説明の対象設備で説明すべき項目のうち、後続の説明
グループで説明することとしているものがある場合などは、説明範囲を
それぞれ明確にすること。また、評価で妥当性を説明することも考慮した
うえで、設計項目ごとに説明に必要な図面等を拡充し、補足説明資料での
説明も充実させる。
- ・再処理施設及び廃棄物管理施設の申請対象設備の類型等の整理について
は、現在実施中の設計基準対象施設と重大事故等対処施設の要求事項の紐
付け作業の他、その類型等に必要とされる作業を整理して全体像を示す。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年11月7日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	録を開始しました。
0:00:04	規制庁横山です。それではただいまから本年度のヒアリングを開始します。
0:00:09	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設、
0:00:18	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設について、
0:00:23	11月2日及び11月7日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:30	規定上はの出席者を紹介します。
0:00:33	本庁からコサク、
0:00:35	オオハシオオオカキノハバサキ。
0:00:40	オノヨコヤマ。
0:00:42	ウェブからの出席が課題カミデヤマグチ以上となります。
0:00:49	それでは日本原燃からまず出席者の紹介をお願いします。
0:00:54	はい。日本原燃事務局の中浜でございます。
0:00:58	日本原燃側の出席後でございますけれども、
0:01:02	Steeringチームより、
0:01:04	イシハラノモト。
0:01:08	オク整備再処理の事務局参加させていただいております。参加者以上でございます。
0:01:16	はい。規制庁横山です。本日のヒアリングですけれども、資料の量がちょっと膨大なので、進め方について何かありましたら規制庁側からお願いします。
0:01:28	規制庁の荒井です。
0:01:30	本日の資料700ほどに及ぶものですので、1ページ目とか表紙に、
0:01:40	前回から見直したポイントとか書いてあり、
0:01:44	あとは前回の会合でのコメント返してというのが、次回会合で求められるという観点で、
0:01:52	次回会合に向けて、前回のコメントを反映しましたっていうところを重点的に説明でき、いただければと思います。
0:02:02	ですのでこれまでのヒアリングで、踏まえて直したところと、あと、今後の会合でこういうところを、
0:02:11	見直し過去の会合を踏まえてこういうところを直したので、ここを見てくださいっていう感じの説明でした。午前中はとりあえず説明いただければと思います。よろしく申し上げます。
0:02:30	はい。日本原燃家田でございます。承知いたしました。

0:02:41	規制庁です。それでは説明をお願いしたいと思います。
0:02:55	はい。日本原燃石原でございます。はい。それでは、
0:02:59	本文につきましてはそういう意味でいくと、
0:03:04	まずは午前中説明するポイントとは、からは外させていただいて資料に資料 3 をターゲットに、説明をさせてポイントに合わせて説明をさせていただければと思います。
0:03:19	はい。
0:03:22	資料には
0:03:24	286 ページ以前も同じですけど 186 ページにある条文、
0:03:30	次になってるもの以外のものが、それ以降についてあんだ数字のやつ の説明が押せない資料 3 の方。
0:03:40	衛藤。
0:03:42	今般、
0:03:43	こういうんだよね。
0:03:46	割と、じゃあ、後で直すか。
0:03:50	まず前回のヒアリングでの反映が補助関係ですね。
0:03:55	ありまして 188、194、188 ページからでございます。まずは、
0:04:09	耐震算定の資料 2 ですけども、他の資料 2 等添付書類における記載と いうところは大分違いまして、添付の記載大分丸々書いてたりしたところ を他の条文に合わせたと。
0:04:23	経営機材の修正というポイント、あと第 1 回と同じと書いてるものが、何 が同じでかつ今回対象になるのかならないのかというところを整理をして 記載の修正をしたというところを見ますと、
0:04:39	耐震関係は前回のヒアリングでのやりとりを踏まえた範囲になります。
0:04:47	耐震としては設計対話資料さあの方で修正ポイントありますので体制関 係主には資料 3 側で、
0:04:57	後程説明をさせていただければと思います。
0:05:02	資料 2 としては、耐震関係は、そういったところのポイントが修正点でござ います。
0:05:13	え。
0:05:14	234 ページ以降閉じ込めが始まりまして、
0:05:18	これ
0:05:21	前回のヒアリングの話ですとかあとは、審査会合でのやりとりを踏まえて、 グローブボックスの設計閉じ込め設計の前提にあるか鉱区的での
0:05:37	いろんな核燃料別の取り扱いの流れと、どこまでをグローブボックスに 収納するのかという、システム的なものは変わらずということで、
0:05:47	235 ページに、頭にシステム設計ということで、大枠の、

0:05:53	アカせていただいています。これも次回の審査会合でこういった
0:05:58	安全設計の要求だけでなく、それ以外の要求事項も関連性を持って説明をしていくということの一つとして考えているものでございます。
0:06:10	はい。あとは、
0:06:14	個別協議ないです。
0:06:17	ホシコ。
0:06:22	取り込め野瀬ようとしてはポイントは資料でございます。
0:06:29	第 17 条安全機能優先施設が 243 ページから始まりまして、これも
0:06:36	先ほどの計算、
0:06:39	関係の前提条件と同じように 244 ページ。
0:06:44	7 番の基本設計方針ここで、
0:06:48	安全設計以外の要求事項での関係性を明確にするという観点で、
0:06:55	AppM井清設備との相互影響高齢者設計というポイントを、この 7 番の基本設計方針で展開をするということを追加しております。これも次回の審査会合で修正ポイントとしてご説明をしようと。
0:07:10	いうことで考えているものでございます。
0:07:16	また、247%、7 ページ。
0:07:22	これは先ほどの 7 番のところから、PTSD関係のところと他の生産系の設備との関係で、
0:07:32	関係する部分をそれぞれAグループ、
0:07:37	4 から資料になりますが関係性のある配置設計等をピックアップして展開をさせていただいているということでございます。
0:07:53	魅力。
0:07:54	後においては 62 ページの 55 番も同じです。これも先ほどのPTSD関係で、
0:08:02	生産性の設備自体の設計へのフィードバック及び総合影響を考えなきゃいけないポイントとして追加をしていると。
0:08:10	いうところ。
0:08:11	ございます。
0:08:13	前野。
0:08:15	内藤。こっち来ない。
0:08:30	はい。あと前回のヒアリングでのやりとりを踏まえまして、250 ページ 23 番ところの、
0:08:37	個別附属の解消をこれまで、
0:08:44	イイダ。
0:08:48	DBの活力を書いたものを全体の設備の配置も含めて、相関関係を示すという個別補足の内容に変えるということで記載の位置も含めて、

0:09:00	整理をさせていただいたというポイントこれ前回のヒアリングのやりとりを踏まえた修正でございます。
0:09:10	286 ページからが、搬送の条文になります。
0:09:16	これも次回の審査会合でのご説明のポイントであり、前回のヒアリングでのやりとりを反映というポイントですが、
0:09:26	今、機能要求②という要求種別であったり、もともと機能税のを要求するというものに対してA評価のフラグを、
0:09:38	網羅的に抽出をしていくと、いう点でございます。
0:09:42	という意味で一番のところを把握した容量に対する場合、
0:09:47	評価というポイントを追加をさせていただいてます。
0:09:51	また、2 番のところはこれは前回のヒアリングでのやりとりを踏まえた集水ポイントで、
0:09:59	該当者搬送設備で容器の落下そう考えして 2、
0:10:05	手続き上の考慮というのをしてるんですがこれがいわゆる品みたいのもつけて、落下防止を図るとき意見等防止を図るときに、
0:10:15	ちゃんとその容器側でも受けがあって、その設備のそれぞれの設計が相関関係があるということで、資料 3 での整理を踏まえて、この 2 番のところに、運搬専用機と、
0:10:28	いうこと的设计せえて説明分類の設計の説明も必要だと、いうことで、追加をしたということでございます。
0:10:41	289 ページからが第 17 条でございます。
0:10:47	こちら先ほどのあった評価にポイントでございまして、291 ページのところ、
0:10:55	まずは、
0:10:58	ような量貯蔵ができると、いうことの容量に対する評価というポイント。
0:11:04	を挙げているのが、一番、
0:11:08	9 番もですね同じようにそれぞれ 1 のところに、共同としての容量のピックアップをします。
0:11:22	んと、あとは、21 番、296 ページ。
0:11:28	これが崩壊熱除去に関する評価ということで、
0:11:33	4 発上にある崩壊熱事業に関する悪ピット等の設計との関係での評価というポイントを項目として上げさせていただいているということでございますこれも、前回のヒアリングの通りの反映であり、かつ、次回の審査会合での説明ポイントだというふうに認識をしております。
0:11:55	297 ページから配布施設でございますがこれは
0:12:01	これまでですね、前回の審査会合でのやりとり、ご指摘を踏まえた追加という意味で、

0:12:12	例えば 12 番、もともとシステム設計工場設計だけを説明してましたが、
0:12:19	いわゆるディレクターの設置場所であったりについての配置設計という考慮も、
0:12:26	必要ではないかということで検討しまして赤井設計に係るものを追加をさせていただいています。
0:12:35	また、306 ページ、これ先ほどの評価のポイントと、今ご説明した配置設計の考慮の追加という二つのポイントが入ったものですけども、
0:12:47	この評価換気設備側の評価のポイントのNo.16-1 については、流量低減通りの出力というのを挙げてますので、その妥当性を説明するための評価と、
0:12:59	いうところのポイントを今回追加をしていると、いうことでございます。
0:13:04	いわゆる、設計方針でうたってる物の妥当性、設計の妥当性を確認するものであったり、仕様表で書いてある数値の根拠を説明するものであったりと、
0:13:17	いうポイント評価としては月 1 という、
0:13:19	前回、もう一度やりとりプラス次回の審査会合でのポイントにもなると思ってます。
0:13:27	はい。
0:13:31	アンケートを
0:13:33	配架廃棄の方は他も同じような修正が
0:13:38	同じ系統設備の中では展開をされているということでございます。
0:13:44	また、46 番、
0:13:47	322 ページですかね。
0:13:51	これも先ほど評価のポイントでございます。各低レベル廃棄物処理システムの容量の根拠ということについての評価にポイントを追加をさせていただいたと。
0:14:03	いうことでございます。
0:14:09	はい。
0:14:12	次、
0:14:13	これは次は資料 2 で条文と単位では一番最後になりますが換気設備が 329 ページから、
0:14:21	ございます。
0:14:23	こちらの
0:14:26	安定性としては 3、先ほどの廃棄と同じで 331 ページのところから、配置設計だったり構造設計だったりということの必要な項目をピックアップするということで整理をしています。

0:14:40	例えば、3 番の配席を多数の先ほどの配置と同じ要求ウノ展開をしているということを加えて、構造設計で青字になっているところは前回のヒアリングのやりとりで、
0:14:53	リリース弁なんかとかダーバランスなんだ、バランス等はですねこの構造についても、やはりどこについてるものがどういう機能がないといけないのか。
0:15:05	機能との関係での構造説明と中の前回のヒアリングのやりとりを踏まえて、説明を追加をしています。
0:15:12	A4 判の構造設計も同じです。はい。
0:15:17	そういうようなことが前回のヒアリングの範囲であったり審査会合の指摘事項の反映ということで整理をさせていただいています。
0:15:32	はい、資料 2 については以上です。
0:15:42	これは 1 回切った方がいいですか。
0:15:49	規制庁の荒井ですけど。
0:15:51	資料 3 からのフィードバックとかもあり、資料に反映したっていう点もあるので、資料 3 のポイントもそのまま続けて説明いただければと思います。
0:16:02	はい。承知しました。
0:16:06	はい。資料 3 が 371 ページからでございます。
0:16:16	375 ページからグローブボックスの
0:16:20	れこ。
0:16:26	システム設計から合同設計まで、これ順番はすいませんさっき本部は協力しましたが、今までシステム設計構造設計配置設計だったやつの配置と構造を入れ替えておりますというのが全体的には修正をしております。
0:16:50	はい。
0:16:54	377 ページ先ほどの前提すべてのグローブボックスの取り扱いの前提にある、加工工程との関係を、
0:17:03	示しているのが 377 ページのところですが、
0:17:07	これが、
0:17:11	なんでこれ入って
0:17:16	377 ページのすいません設計項目配置設計やったんですがこれシステム設計の間違い、恐縮でございます。このシステム設計の説明としては、381 ページからですね。
0:17:29	全体の工程の流れが、371 名 381 ページ。
0:17:35	382 ページで、それぞれの工程の中での取り扱っている核燃料物質の形態と、

0:17:43	それを取り扱う設備と、いわゆるグローブボックスなりの境界になっている部分と、燃料棒になって燃料棒が境界にあるところ、燃料集合体がいわゆる閉じ込めの境界になるところ。
0:17:56	いうことを整理をしてございます。
0:17:59	ピンクから緑に変わるところで、グローボックス多くポートボックスとかではなくて、燃料棒がそのまま設備の中で取り扱われるということで清アノコガ境界になっているということでございます。
0:18:12	これを前提に、それぞれの設計を展開していくと、いうことを、今回追加をさせていただいているということでございます。
0:18:25	はい。いえ。
0:18:26	この 386 ページから、
0:18:31	耐震関係が次になってますがこれすいません黒字に直すのミスでございます。前回から修正は特にありません。
0:18:41	はい。
0:18:42	このシステム設計は先ほど、配置設計のところは特に国際いじってない。
0:18:48	変更はないので、次は、構造設計が 396 ページから、
0:18:55	前回のヒアリングでのやりとりも踏まえて、
0:19:03	もう 1 回、
0:19:08	物を見た方がいいと思うので 10 ページ、受験者 426 ページですかね。
0:19:16	以前、462、426 ページの
0:19:22	上側の視覚機能維持括弧、共同のところ、
0:19:28	建屋の共振領域を避けるというようなことを書いていたがこの辺の記載の具体的な設計上の配慮が、見えないと。
0:19:39	こういうところは審査会合でも指摘をされている部分だと認識をしております。そこに対して設計上どう考慮しているのかということ舞台を展開をさせていただいているというのが右下でございます。
0:19:53	また、前回での、
0:20:00	うん。
0:20:02	あとは 427 ページ。
0:20:06	この全体の内装材も含めたグローブとの取り合いの、
0:20:12	分包的な物の考え方というのを、前回のヒアリングでのやりとりを踏まえて、特に左の下側ですかね。
0:20:21	内部で設定するときの影響を考慮し、発生する数に対する十分な構造強度を確保すると、いうことの設計上の考慮ということ、
0:20:31	整理をしたという部分。

0:20:34	また 428 ページは、これ前回のヒアリングIT代表以外のところが何の代表との関係なのかというのがわかりづらいという部分があって、
0:20:45	多分の考え方というのを上に追加をして、
0:20:48	代表としてもどう、多分こして何を説明したいのか。
0:20:54	オクを追加をしまして、さらに下分としてその下に緑の枠で設計上考えていることを整理をして書いていると、いうことでございます。
0:21:06	これ多分の説明もそうですし前回のヒアリングやりとりでこの、特に左側にあるような粉末缶に取り扱ってこういうものが、
0:21:19	前回説明したのは 428 ページの左側のガイドとの関係で移動防止とか、いうのがないっていうのを説明しましたが結局この品で押さえてる部分が、強度的な問題でもつのかもたないのかと。
0:21:31	というようなことの説明が抜けているというやりとりがあって、今回追加をさせていただいたということでございます。
0:21:45	どこ。
0:21:48	茂呂。
0:21:51	これ、安全、
0:21:53	はい。
0:21:55	うん。
0:21:57	括弧、432 ページでいくと一番真ん中ですねヒライの真ん中にある管台部分の構造強度の確保、結局金。
0:22:07	これとしては、配管と
0:22:10	の取り合いの部分の説明は、サンポ関野工場設計側で展開をしますということ※2 送って展開をさせていただいてます。
0:22:19	これも多分ページIIか何かしないとわからんな。
0:22:27	はい。
0:22:28	要は、
0:22:35	あ、
0:22:37	はい。また 444 ページこれもシャッターのところも同じように先ほどの
0:22:46	タテの共振領域を外すと言ったような設計上の配慮があるものを書いているということ。
0:22:53	445 ページのところは、サトウアノクドウの仕方みたいな、構造が、前回は右側の絵だけが書いてあったのは、ばかり説明としてわかりづらいので、
0:23:05	構造としてどうやって改善するのかっていうことを左側に追加をさせていただいてます。
0:23:11	また次のページもその構造がどうなってるかを断面も含めて説明をしているページが 446 ページ。

0:23:18	ということでございます。
0:23:20	また耐震との関係でいくと、446 ページ波及影響との紐づけをして、防火シャッター自体の設計上の解除と、
0:23:31	いうことを左上側で紐づけて展開をしているということでございます。
0:23:44	はい。本当は 452 ページ以降がこと 453 ですかね。梅川関係の設計上の配慮ということ、を追加をさせていただいてます。
0:23:58	453、4 ページか。これは前回、
0:24:03	の説明で、左側の正面とか断面のだったり、上のBCの詳細図があったんですが結局、同封するときの補正分の説明を、
0:24:14	が十分できてなかったのでd分の断面であったり、2 の断面であったりを追加をして、ロックピンとの関係というのがわかるように整理をさせていただきました。
0:24:28	455 ページこれ
0:24:33	オープンポートボックスの話で、結局は永年風俗 0.5 メーター/secを維持するというために、制限がある場合はその制限としての考え方であったり、
0:24:47	提言情報というのを、仕様表にも書きますしそういったものをちゃんと運用上の管理もしていくということを規定をしているものとあとは内装機器との関係がわかりづらいところもあったので、
0:25:00	ヒライの下が、サッカリン真ん中に、人の作業との関係がどうなっているかというのがわかるような絵を追加させていただきます。
0:25:09	456 ページはフードの話これも先ほどのポートじゃないですけどフード今度高さの開口の低減をしますのでその関係の整理をしていると、いうことでございます。
0:25:22	はい。こちらのタカトリが詳細の説明において前回ご指摘いただいた分の反映をしたというのが、グローボックスの資料 3 でございます。
0:25:37	換気設備関係が 461 ページからです。
0:25:45	467 ページ。
0:25:49	これは前回のヒアリングでのやりとりを踏まえて、ある本府ガスを付加生活としているもの、これの目的だったり、
0:26:01	設計上の考慮ということを追加をさせていただいてます。
0:26:06	また 469 ページは、気密扉の開閉関係の最初にとりあえず部分これも前回のヒアリングでのエントリー踏まえて記載を拡充をしたということ。
0:26:19	また、469 ページの一番下ですね。
0:26:24	これ先ほど合同設定とかを追加をしたと言っていた。
0:26:30	話じゃないかんだな。
0:26:32	てどうランパートかの話ですね、全体のシステム設計として反映して、

0:26:37	これ構造設計はイセにも入って、
0:26:49	ん。
0:26:51	はい、ニイツという変更していると。
0:27:01	これさっき資料にね、愛知で入ってなかった。
0:27:04	いないところ。
0:27:06	を、
0:27:07	ランパート逆に配置があるので飛ばない小抜けになっちゃう。
0:27:18	はい。475 ページは先ほどの資料 2 でご説明しました評価を追加したポイントでございます。
0:27:29	システム設計は、
0:27:35	何。
0:27:37	はい。資料 3ーモリノシステム設計側は、まず、先ほどご説明したアルゴンガスであったりの話を、
0:27:45	追加をしたということ。
0:27:52	の変更になります。はい。
0:27:55	これも生産上の考慮という安全設計以外の用途で、要求を、関係性を持って説明していくというふうに言ったのかと思ってます。
0:28:08	はい。
0:28:11	はい。400 は 542 ページからが換気設備の行動石化配置設計になります。こちらが先ほど資料 2 でご説明した、いろいろな柑橘の配置関係の話を、
0:28:26	梅津部分になります。
0:28:36	説明としては 4、551 ページですかね。
0:28:41	グローブボックス前のフィルター、これを工程室の中に撤去する、もしくはグローブボックス近傍に設置をするという配置上の考慮と、
0:28:53	いうことを、説明を追加をしていると。
0:28:58	いうことでございます。
0:29:02	はい。
0:29:03	これも先ほどの審査会合での説明のポイントが一つかと思っています。
0:29:10	553 ページからが構造設計になります。
0:29:18	構造設計、
0:29:25	これか。
0:29:26	555 ページ、これ先ほど資料 2 でも言った、配置設計構造設計を追加をした人不便とかバイパス数、
0:29:38	流量調整弁ですね、の構造設計を個別に通してます。具体的な構造の説明としては、
0:29:55	ええ。

0:29:59	609 ページ以降ですね 609 ページが調整弁 610 ページがバランスダンパー
0:30:05	で 611 ページで、LERF 弁で 612 ページが逆ジャンプ
0:30:12	で 613 万円といいますかね、という形でこの構造、前回こういった構造も説明が必要ではないかというやりとりをしていたものを追加をしているということでございます。
0:30:46	はい。私どもは、
0:30:50	ファイブっけ。
0:30:54	構造設計での相木さんとの取り合いの部分ですね。
0:31:02	耐震関係で、
0:31:05	ページとしては 666、606 ページ、配管とダクトの接続部の規定の考え方を、
0:31:16	他に警部ということでございます。
0:31:20	あとは、
0:31:24	607 ページ、考えから特にこれを取ってきて、
0:31:31	ユリくんの日を本当にわかるんだっけ。
0:31:43	本多顧問。
0:31:47	それでもあれじゃない。
0:31:49	ロボットやったらいいんじゃない。この 607 ページで何が説明したいかはですね後でアノラック。アノと崩壊熱先生との関係の流量との関係になります。
0:32:03	経営機構が考える上にあって、下側から吹き出し口みたいでふやすというものがどう接続されているかというのをとりあえず部分が、この 607 ページの図、特に真ん中にある順のような感じで、
0:32:18	考えから、結局、単体の柱に、空気を流して、歓待の柱のところに吹き出し口がついてると、いうのがラッピングとなるやつと合わせると、
0:32:31	絵のイメージがつかめるんですがちょっと分離されてるのでちょっと見せ方は、持ち考えたいと思います。
0:32:38	はい。A-タテ 16 ページからは、機械装置、搬送設備になります。
0:32:46	こちらさっきの資料にもご説明しました、618 ページにあるような、町道容量に関するものも、搬送設備の容量に関するものも評価として、
0:32:57	重要な要素を挙げておるということでございます。
0:33:05	また、後でご説明しますと 619 ページ、ガイドラインのところの、レールが分断されているところについても、転倒なんかしないのかということの、いろんな距離を前回させていただきまして、この
0:33:21	構造についての配慮ということを、記載を追加図の方も確認をさせていただいたというのが 619 ページの一番下の項目をしてございます。

0:33:33	はい。
0:33:35	実際の行動はと言いますと、
0:33:41	今のガイドラインのところは、実際の行動は、
0:33:48	流域どこ行った。
0:33:54	650 ページですね。
0:33:57	650 ページの下部ガイドローラーのところ、ちょうどあの絵の左側で、緑のレールがなくなってる部分がありますが、ここになったとしても黄色のガイドローラーがですね必ずと両方に跨ってる状態で、
0:34:12	近似の状態が維持できるという設計にしているということでございます。
0:34:20	はい。
0:34:21	あとは、
0:34:24	詳細で前回のやりとりで反映した部分としては、
0:34:29	一つは、
0:34:32	4、628 ページのシャッターの部分ですねこれが上下する。
0:34:38	外構あける時と閉める時の関係があってその関係のところをどう呉クドウ、押さえているかという固定の部分で、
0:34:46	629 ページに、原理をお伝えさせていただいたということでございます。
0:34:53	結局は駆動用の空気とか窒素供給してシャッター自体を押さえつけるということなのかな。
0:35:02	シールディング、ごめんなさい、失礼しました。青い部分ですねこのシールが空気とかを供給するとスクラムのでそれを押さえつけられる構造になってると。
0:35:13	これを抜けばシールがしぼんで、
0:35:19	ちゃった動かせるということでございます。
0:35:23	630 ページがこれはボールベーンのところのシール部との関係がどうなってるかがわかりづらかった絵のところを、全体のクドウ部分との関係体験させる部分と機構との関係も含めて、
0:35:38	シールがどういうふうに分体と繋がってる方を押さえているかということがわからずにかえさせていただいているということでございます。
0:35:49	はい。
0:35:55	どこ。
0:36:05	あとは、
0:36:10	640 ページとか
0:36:13	細かい話ですけど、二重化してるものがエミヤンということ。
0:36:18	あと 642 ページは、641 ページに書いてあるガイドピンダテ搬送設備と貯蔵ラック側の関係性が、動きのにもうちょっとわかり、わかりやすいようにということで、642 ページ側に、

0:36:33	①から④のステップで物が動くところの、その動きとの関係で見える化をし、
0:36:38	ということでございます。
0:36:41	はい。あと 643 ページは、落下防止、これでロックしてるのかという点については、基本的に先ほどの、
0:36:51	システム設計グローブボックスの説明の中であったように、ここから先は燃料棒がバウンダリになって、グローブボックスでの閉じ込めのよ。
0:37:01	との取り合いというよりは、実際燃料棒自体が、破損するかしないかということが閉じ込め上の問題になりますので、
0:37:09	取り扱いの高さ制限をするということをもってそういった配慮をしていると、いうことを、
0:37:16	付け加えさせていただいているということでございます。
0:37:32	あと 654 ページなんかもそうですね。高さ制限で、実際両方自体が破損しないようにというコウで落ちているという点を追加をさせていただいたと。
0:37:44	ということです。
0:37:49	はい。最後RAPID棚が 663 ページからでございます。こちらは 667 ページ先ほど資料 2 でもご説明した評価のポイントを、項目を追加をしたと。
0:38:02	ということ。
0:38:04	でございます。加えて、部長の、
0:38:08	ページの方の追加は、前回のやりとりを踏まえて、民法の 1 の設定の考え方というのを、
0:38:17	それぞれいろんな、
0:38:22	670 ページの目次でまず仕分けをグルーピングしたということでございます。
0:38:28	まず大きく分けて、提案に貯蔵設備があるものとグローブボックスの中に貯蔵設備が要るものがあります。それが、
0:38:37	機構旧廃校が上部にあるか、給気口が下部にあるかで、多田に分けて 4 パターンということで整理をさせていただいてます。
0:38:47	それぞれのパターンにおいて説明を追加をして他の書いているのが 671 ページからということになります。
0:38:55	それぞれの給気口の位置関係であったり流量の確保ということに、
0:39:00	ご説明をさせていただいていると。
0:39:03	ということでございます。特に 672 ページのように原案の配置関係も含めた中配布等の位置関係というの見える化させていただいたと、ということ。

0:39:16	でございます。あとは、673 ページとか 674 ページは、実際、大分容器との隙間の関係で
0:39:28	流路を設けているということの説明も加えさせていただいているという部分もございます。
0:39:38	先ほどの考えの部分の適期形が出てくるのが、675 ページ。
0:39:46	これの青い線が流れているものをこの上側の周期コウと書いてるものが先ほど神田へのとりあえず、この緑、緑、
0:39:55	ぜひ緑のところの、
0:40:01	比較曜日になってるところはこれは
0:40:03	艦隊を頭を使ってる部分になります。その下にヒグチがついていて、下から空気を流して上でキャッチアップすると、というような構造になっているということがわかるように、構造設備の追加、
0:40:18	させていただいたということでございます。
0:40:22	はい。資料 3 も含めた説明以上でございます。
0:40:31	規制庁の荒です。
0:40:33	説明どうもありがとうございました。
0:40:36	前回の会合との関係だと、換気設備は、システム設計だけではなく他の設計項目もありますっていうところと、またちゃんと評価で示しますっていうところ。
0:40:50	など。
0:40:51	大体は項目として反映されてきてるかなとは思っていたりします。
0:40:59	それで資料、
0:41:01	2、
0:41:02	からみたいと思うんですけど、実は資料 3 の方で結構コメントして、フィードバックしてるという点もありますので、資料に資料 3 問わず、ちょっと議論していきたいなと思っています。
0:41:19	ここまでの、会合とか、これまでのヒアリングで、こういうところは違うとか、求めていたことは異なるんじゃないかとか、いうコメントがあれば、規制庁側からお願いいたします。
0:41:39	規制庁鏡です。
0:41:41	今までと違うじゃないかっていう話ではないんですけど、
0:41:45	先週の進め方たのヒアリング資料なんかを見ると、次の会合って、その 2-2 の解析評価等に係る整理方針。
0:41:57	の説明をしますってあるんですけどそれに該当する部分ってこの資料で何か表れてるんですか。
0:42:06	ヤギニシダでございますまだ入っていません。前回の進め方でも私の方からご説明したのが現状の墨でいくとちょっと難しいなということで、

0:42:17	経営委員会に間に合うように、今後スケジュールリングも含めてセットさせていただきたいという話をさせていただいたと思ってました。
0:42:27	昨日、
0:42:29	リスケジュールダテミツイ。
0:42:32	月曜日、月曜日に出したスケジュールも進め方、今回、今週はさすがに審査会合資料もありますんで時間がないのでということで、次の進め方、アノから資料4をもう一度復活させて、
0:42:47	整理をしていって、次回の会合前に本部への反映も含めてやっていくということで整理進めたいということで、今、スケジュールも含めて決めさせていただいてるところでした。
0:42:58	規制庁深見です。資料4自体が出てくるのはまだ後だというのは理解するんですけど、
0:43:06	とりあえず、2-2の整理方針っていうのは、資料2をどう作っていくかっていう方針であると認識してるんですね。で、
0:43:16	今、まだ方針を固めている段階だから、今回の資料2っていう夏にはそれはまだ反映し切れていないのか、一部反映できているか、もう結構反映した状態なのか、その辺のステータスなんですけど、
0:43:32	はい、米田でございます。はい。まず資料2の整理をしないといけないのが最初のステップだというふうにおっしゃってますで、今回評価としてあげなきゃいけないものがまず網羅的に挙げられてるかというのがまず資料様に結びつける最初のポイントではあると思っていて、
0:43:50	その辺は、現状では一定程度検討した結果として反映したというステータスだと認識をしています。
0:44:00	はい、規制庁CAMSわかりました資料2自体は、やったつもりのもので、その評価に係るものをどうやって拾い上げるかっていう整理方針。
0:44:12	ですよねそういう方針は、今回の資料のその本文とかに書かれてるものなんですか。
0:44:20	植野インダでございますまだ書き切れてございません。すいませんはい。
0:44:24	はい、規制庁カミデサノとりあえず状況としてはわかりました。その辺はあれですかね、介護資料にはこういう考え方で、きちんと拾い上げていきますこういうやり方だと、網羅的にちゃんと拾ってきますよという話かけるってことですかね。
0:44:41	はい。日本原燃志田でございます。評価の項目を上げるための考え方で、これをこういう考え方で言えば網羅的、漏れなくピックアップできるということを説明しないといけないと思ってました。

0:44:55	はい、規制庁カミデわかりました最初に聞いたかったところは以上です。
0:45:02	規制庁オカですと、前回会合で、
0:45:06	指摘事項としてなっていたもので、換気設備は、配置上の考慮とか、あと換気の風量に関しては評価のところでは該当します。で、
0:45:17	貯蔵設備は、空気の流れなんかをちゃんと設計上の配慮として示すということで今回、
0:45:24	出してきてましてであともう1個あって、
0:45:27	搬送とか貯蔵みたいに今後の説明グループとかあと工事課イデ、
0:45:33	藤百瀬同じように説明していくもので、例えば1部分だけ、今回この部分を、
0:45:40	設計担保取っていきますみたいなものに対しての、
0:45:43	工夫、この共通12での体系の中でどこに、
0:45:48	どう変えて、それをどう引き継いでいくのかというような工夫というのも、
0:45:53	論点としてあったんですがそこはどういうふうにケアしてますか。
0:46:12	はい、二本木伊勢田でございます。
0:46:16	そうですねそこまでうまくケアできてないかもしれません。おっしゃっていただいているところでいくと、
0:46:25	根井の
0:46:36	ところにつきまして、
0:46:38	木野らう
0:46:41	あれ組織。
0:46:43	強度に動きあったとき、
0:46:46	641とか2のところ、今説明しているのも結局、ここが取り合いになると、こういうところが取り合いになると思っていて、これ、今642ページなんかで不凍右側にあるのが焼結コウドイ。
0:47:01	入手構想違う機械装置搬送装置になって、左上にいる、一時保管だなこれがバックフィットターナーの構造側で、グループ3かな、説明する。
0:47:13	部分、ただこの取り合いが発生する部分は少なくともグループ1で、説明をしていく必要があるのかなと。実際の部隊の
0:47:24	ただどういう構造になってもものがちゃんと受けますよと、要領も受けますよみたいな話はグループ3になるので、そこのとりあえずをここでもちゃんと紐づけをして説明をしていくという配慮が、
0:47:36	必要だというふうに今認識をしましたその部分はケアをしていきたいと思います。はい。
0:47:43	ですので、そういうところを見せて、
0:47:46	なければ、
0:47:47	流れとしては

0:48:01	規制庁の荒井ですけど、会合というところで、コメントした点として生産工程所っていうところも、
0:48:13	やっぱりそれで生産工程上というところを膨らまして、PPSGの話も入れたっていうところが、
0:48:22	資料の 244 ページですかね、資料 2 の、
0:48:30	資料 2 の案いうの 7 番を、
0:48:34	もとにひっコールにして、EPSGの要求以降の話とかに対応する、それらに影響するものがないかっていうところの、
0:48:44	視点で展開していくっていうのは右側の方の青字で書いているんですけども、
0:48:50	関係する各条文っていうところで、まずアンゼンガワニPPSGが影響しないかという観点で抽出しているんですけども、
0:49:00	互助とか 8 乗とか 10 乗とか 30 条まで書いてあるんですけど、これらの条文ってどういう考え方で抽出したんですか。
0:49:15	はい。荻野イシダでございます。はい。どういう条文要求がこの総合影響の時や影響がを考えなきゃいけないかってところは、
0:49:26	ちょっとこれ 244 ページのこの補足説明資料をもう 1 個第 1 回的に出している、ああいう 04 ての私これを抽出するプロセスを書いた補足説明資料になりますんで、
0:49:38	それと紐付けをさせていただこうかと思います。はい。
0:49:42	はい。
0:49:43	そういう意味だと、
0:49:46	医薬品とか、
0:49:48	あとは搬送とか通信とかも、何となく関わりそうかなと思ってたのでそれを除外する考え方もそっちの方で説明するというのであれば、そちらを確認したいと思います。
0:50:01	はい。乳井西田でございます。はい。そこの関係を整理するということちなみに薬品は加工は要求が条文要求がないのはい。
0:50:10	はい。
0:50:14	ちょっと最初にも十分見てました。
0:50:17	そういう意味だと、8 条とあって、この文章の中に屋外に設置するSG設備及びPP設備の外部衝撃を考慮した設計方針っていうのは、
0:50:28	具体的に何をイメージしてるんですか。文章だとSG機器とかPP設備を守りますよっていうのしか見えないんですけど。
0:50:42	SURCとかですね、亀田とか、
0:50:44	ちょヒライ物にならないっていうことで、やはりそっちが条文要求ですはい。主に竜巻をメインとしてはですね。はい。

0:50:55	火山で倒れられてもコモリちゃ困るんですけど、そういったところも含めて考えなきゃいけないと思ってます。はい。はい。
0:51:03	あとは、
0:51:05	丸の二つ目に、逆に
0:51:08	SGとかPPの要求事項を満たすっていう意味で、
0:51:13	おそらくpptSGの要求事項というところも、抽出する必要があると。
0:51:20	いうふうに、ここでは多分書いてるんだと思うんですけど、PTSDの要求をどこまでどのように注視抽出すれば十分かっていうのは、考えと違ってあるんですか。
0:51:38	最終的に運転管理員等とか保守点検に帰着してるっていうのは何となくわかるんですけど。
0:51:45	ここに至るまでのプロセスって、
0:51:48	どういう考え方なのかなっていうところ。
0:51:52	はい。日本原燃石田でございます。そこはそうですね。
0:51:57	何らか考え方を書かないといけませんね私も頭の中で、こうだろうと言って書いているので、その根拠は何かというところはちょっと考えて貸します実際は、
0:52:09	兼任のSG側でいけば実際核燃料物質のいわゆる移動だったりを監視するという行為をした時にはやはり
0:52:22	頭にあるのがどうしても検出器で確認ヨウ素をかけるということの行為、
0:52:29	着目して、県民側の要求事項を出すということに、を考えてました。
0:52:36	あとは保守点検の方だったかという、設置するのが特にMOXのやつはね。
0:52:44	設備の近傍、もしくはその上にいたりですねいろんな錯綜する場所に物があるので、保守員という観点も考えなきゃいけないかなというところで、
0:52:54	保守点検の項目を挙げていたところ、どちらかというともともとあるものをイメージして、
0:53:00	書いてるんですけど具体的に本当にそれだけかっていうと、確かにその検討はしないといけませんね。はい。
0:53:10	はい、北野です。
0:53:12	そういう意味だと多分石原さんの考えで今書いてるっていう部分があるように聞こえたので、例えば今回資料で、
0:53:23	新たにグローボックスのシステム設計として、図の流れとか書いていただいたと思うんですけど資料3の中に、そういったところを、

0:53:32	PPAフジ側にも見せながら、こういう工程で、何か気になる点とかあってあるってところも抽出した上で、しっかりやった方が漏れはないんじゃないかなと思うんですけど。
0:53:50	柳生。
0:53:52	はい。ありがとうございます。はい。その辺を、そうですね。やろうと思って作っていたのがああいう中で、まさしくそれぞれの要求事項をちゃんと出しましょうと。
0:54:02	ということで、SDに関する要求はSD間内の中でNSG側で要求を出してもらう。そのためには前提となる安全設計側の設備の配置だったり、
0:54:12	設備の構造だったり、情報を説明しつつ、SG側の要求ももらうと、PPもしかりですね、ということをやとりするっていうことのベースをもとに、ああいう場を作るっていうことが前提で考えてますのでおっしゃっていただいている内容になると思います。はい。
0:54:30	はい。実はです。よろしくお願いします。
0:54:33	すいません。補足です。
0:54:36	今の流れで作業してくれればいいんですけど、SSSの方でわあ、すでに移動速度だとか、距離、
0:54:47	だとか、
0:54:48	測定の関係カラーの配慮っていうのは、項目として挙げられてたと思うんですけど。
0:54:56	おそらく、オオモトはイシハラさんが全部行ってるんだと思うんですけど、なんでこう資料の違いで、内容が変わっちゃうんですかね。
0:55:11	はい。良いイセでございます。はい。一応
0:55:16	資料ではですね、今、すいませんフジモトに書きちゃったので今の7番には特段、そういった先のことが書いてなくて恐縮でございます。
0:55:30	それでも5ヤギコミヤ読めないなら駄目だな。
0:55:33	360 谷 162 ページとかでそれぞれの設備に振った時にそれぞれの要求もわかってるものはありますんで、それをここに一つ展開していくのかなと思ってます。
0:55:47	ああいう呉を作った時間を出した時のSGの設備ごとに、どの設備の人経営学燃料物をかけたいかということと、
0:55:58	その安全設計上の設備との関係でどういうことを押さえなきゃいけないかっていうところは、付した上で整理をして、大分こっちで、
0:56:08	自分にとって、安全設計側で書いた部分ありますけど、そういうことを、この中にも落としていくのかなとは思ってますはい。
0:56:16	コサクです。今言われたのワー

0:56:20	配慮すべきものがどこかっていうこ等を踏まえないと具体的に配慮事項っていうのが明確にならないので、そこでしっかり変えていきますか。
0:56:31	そういう説明だったと思うので、まずそれはそうしてください。
0:56:36	ただ、そこでいきなり出てくるのだと困るので、SSSのリンクを貼っているのは、244 ページの 7 番のアライウノ条文だと。
0:56:49	ということなので、こことその位置がちゃんと繋がるように、外に行くって必要があって、そうすると、
0:56:58	この理由のところでは大枠の要求事項の趣旨みたいなことを書いて、
0:57:05	測定箇所にあたる機器については、こういう配慮をします。具体はそちらの機器の方で書きますっていうことじゃないかと思うんですけどいかがですか。
0:57:17	はい、日本イシダでございます。ありがとうございますおっしゃっていただいている通りかと思えます。ここでちょっと 244 ページの 7 番のところ
0:57:26	で、 ウワツと書いて、全部放り投げてる顔あるので、ここでしっかりと何を考えなきゃいけないのかっていうのを書いた上で、舞台をとりあえず設備側安全設計を測定対象になるような設備側に預けると。
0:57:39	ということで整理をさせていただければと思います。はい。
0:57:49	はい。
0:57:51	音声は大丈夫ですか。はい。
0:57:55	コサクですけど新居さんどうぞ。
0:57:57	はい。成長あれ、音声大丈夫です。
0:58:01	そういう意味だと、
0:58:05	うん。
0:58:08	SSS関係で、
0:58:14	案いう条文の中で、
0:58:17	ちょっと気になったのは、次の 18 番とかですかね案いうの。
0:58:24	247 ページで、
0:58:28	試験検査性の確保というところで、
0:58:32	配置設計っていうのは加わっていて、
0:58:37	SG設備及びPP設備を相互に検査または補修できるとかっていうのが書いてあるんですけども、
0:58:47	これってPP設備とかの場所を示すような、
0:58:53	絵とか概念図が、
0:58:55	配置設計の中で示されるっていう流れになるんですか。
0:59:01	はい、二本木西田でございます。そこはですね

0:59:05	来年は、資料 3 でも 1 名はした上で、詳細はこのアイ・エム・ジェイの個別補足の方に出そうかなと思ってました。ちょっと、
0:59:18	どこまで設工認申請書に展開させるかというところで、まさにPP設備の配置を、
0:59:25	ここでっていうのも、何となく違和感を覚えたので、補足の方とのリンクで積み上げをし、できればなと思ってました。
0:59:33	ちょっとそのすみ分けの考え方で結局、補足でも、設工認で示すってことになってしまうので、それが
0:59:43	配置上なんて言えばいいんでしょう。PP設備みたいなものは基本的に
0:59:51	グルーピングできて、
0:59:52	それぞれ配慮事項排出の関係の配置、改良事項ってのは累計できると思ってんですけど、
1:00:00	SAの設備はさすがにですね、パターンを分けたとしても、具体的なその位置関係とかがないとどういうことを具体的に配慮してるかまだ説明しきれんかなと。
1:00:11	いうところがあるかなと思ってましたのでそういったところでの差別化はあるのかなとは思いますが。
1:00:18	そういったことの情報、GP設備具体的にあまり説明しても、ほとんどマスキングで何も情報としてはって感じもしますし、どこまで説明できるのかっていう、
1:00:30	レベルも、情報のランクもありますんで、あまりPに対してあまり具体を説明するっていうのは、累計して、考え方を共通的なものとして説明していくのかな。
1:00:41	数字についてはさすがには配置関係設備の構造関係が効いてくるので、この中で、そうそう影響みたいのを考えると、ある程度配置だったり構造の説明をしないと、
1:00:55	説明がクローズしないかなと思ってたところでした。はい。
1:00:59	はい。規制庁の荒です。そういう意味だと、案いうのはグローブボックスへのクリーンが、
1:01:06	業務には何みたいなポンチ絵が出てくるのかなっていうイメージですけど。
1:01:11	あるのは、
1:01:12	そうですね。はい。
1:01:16	グループ 4 で沈むということですので、今後どういう案が出せるかっていうのは、提出摺り合わせられると思います。
1:01:24	はい。
1:01:33	と規制庁側から、ほかに。

1:01:38	資料 2 資料 3。
1:01:42	等で、
1:01:47	規制庁岡です。もうここ今会合、
1:01:51	関係以外でも大丈夫です。はい。大丈夫です。はい、規制庁下です。今回追加された内部は水産物の整理のところ 355 ページ目。
1:02:04	ここで、含有の内部発生飛散物と、搬送設備で説明する範囲と、
1:02:12	で、分けがしてあって、
1:02:16	ちょっと前回、気になる点としてお伝えした
1:02:21	ウラン容器とかがグローブボックスに、
1:02:23	内部発生飛散物として影響を与える場合搬送設備では、核燃料物質のコントロールっていう意味で、
1:02:30	核燃料物質Ⅱではない。
1:02:33	ウラン容器等は、含まれてない。
1:02:36	状況だったので隙間ができるんじゃないですかということも伝えたと思うんですが、そこら辺のケアってどうなってます。
1:02:47	はい。二本木西田でございます。まず
1:02:50	おっしゃっていただいて現状の整理はですね、前回いただいたご指摘踏まえて考えた結果としては、
1:03:00	搬送設備の、
1:03:03	ウエダねえな。
1:03:04	資料 3 だけ。
1:03:15	今実
1:03:17	どこ行くと、ここ、
1:03:23	そうですね 618 ページ見ていただいてもの搬送当社の対象は、
1:03:33	ここに個別速達っていうのは、
1:03:40	どこにもないんだだけ。はい。すいません。私どもとしてもともと 16 条の一番のところで、機械装置搬送時の行動設計のところに対象として何を考えるかということ。
1:03:53	あと対象としないものについても、コウかー井ってあたりで、どういう影響がないよねっていうところの確認をですね、できるように補足側でその全体像とさ位置関係を取り扱ってでも、
1:04:07	の関係ですね、取り扱い方、そこを説明しようということで全体カバーしようかなというので考えてました。といいながら個別補足が入ってなくてももしそういう施設全体の枠でいきたいというのが、
1:04:20	前回いただいた宿題からの回答でございます。はい。
1:04:24	成長課です。わかりました。ちなみに、前回浦井容器なんかは、MOX 粉末容器なんかと違って、

1:04:34	全部が全部落下防止とか転倒防止とか一掃防止の対象になってないってというようなことを、
1:04:39	少し違ってその辺を説明いただけるっていう、
1:04:44	考えていたんですがその辺の整理、
1:04:48	はい、二本木西田でございますはい。まず、
1:04:54	外から持ってくる粉末っていうのがどういう容器の形態で、どういう単位で、箱どこまで運んでいくかというルートですね、そこの話の整理もして、ちょっと、
1:05:08	具体の中身でいくと実際装置を使うというよりは、台車で人が運んだりっていう部分が大分あるので、その辺をも含めて全体の流れを示して、
1:05:18	かつ、
1:05:20	あれ。
1:05:21	何つつたっけあれ。
1:05:23	あれ社長、宮吉井。
1:05:25	麻生知、あれって、フルヤじゃないんだよ。
1:05:29	いや、入職早期って何だっけ。
1:05:31	携帯宇佐深尾。
1:05:37	言ったのが入手校正装置みたいなリフターみたいなやつ、ウタダに入れるってその部分をどういう設計上の配慮してるのかってところは補足の中でも展開できるようにさせていただこうというふうに思っていました。はい。
1:05:50	はい。政調会長わかりました、ちなみには。
1:05:54	容器がグローブボックスの中に入って、ブレンダーとか、
1:05:58	そういう、
1:06:00	思うんですが、そういうところは、ウラン容器も、MOX粉末容器なんかと同じような、搬送状況になるっていうような配慮はされてるんですけど。
1:06:11	メディアでございますか、オープンポートボックスに入れて、4ヒダカ、確か劣化ウランの粉末が袋に入っている状態で、
1:06:21	それを1人で袋を破って堀田に入れて、あとは不買粉体の状態で流れていくというのが設計だったと思ってますので、あまり容器がその中を動いていくっていう状態ではないと思ってます。はい。わかりました。
1:06:37	はい。
1:06:38	まずはその全体像の
1:06:41	いただければと思い
1:06:44	あっとついついでにというか、私からもう1件 362 ページ目、
1:06:51	今回、前回の議論を踏まえて崩壊熱II
1:06:56	所、除去の

1:06:58	評価の部分が、
1:07:01	追加されたと、先ほども説明があったので、
1:07:07	その辺の整理が、グループ 1 とグループ 3 でどこからどこまでが、それぞれ説明されるのかっていうのが、
1:07:13	特にこの評価の部分を見ているとわかんなくなってきましたのでちょっと説明いただけますと、
1:07:30	コイケミシマはい、吉田でございます。まず 667 ページで書いてある時点で私もすみません要項がぐちゃぐちゃになっていて、
1:07:42	グループ 1 で、この評価ナンバー 21-2 は説明しようということです。ただし、評価の前提になると増量。
1:07:51	これに関してはグループ、
1:07:54	爛々に預けてるということになります。はい。
1:08:00	規制庁岡です。だから、崩壊熱助教の他名のプルトニウム富化度とか組成とかそういう仕様みたいなものはどっちになるんですか。
1:08:12	こっちは設計。
1:08:13	条件として、グループ 1 で与えなきゃいけないと思うんですけど、
1:08:26	はい。日本原燃志田でございますすみませんちょっと整理します。はい。私もタムラは、はい。ちょっとそうですね。ちょうど容量でいくと、プールの重量金属アンリユウム量、アプリオカ。
1:08:40	だけが確か評価上も決まっています、ただし崩壊熱状況の崩壊熱の計算をするためには、プレフカードとかバランスというか全部がMACCSの給付カードが入るわけではないので、
1:08:53	どういう状態のグループカードのものがどこにどんだけ入るかということを考えて、条件を設定していくということも含めて、グループ 3 例って言われると、
1:09:04	グループ 1 の決定した条件って誰がどこで説明してくれるのよって話になるので、ちょっとそこも含めて考え方は整理します。はい。はい、規制庁、わかりました。ちなみにそこは個別補足説明資料ベースになるんですか。
1:09:21	はい。日本原燃志田でございます。はい。そういうことで考えてました。はい。はい。辻岡です。次のページ。
1:09:30	つらつらとなってますが、この辺の準備状況っていかがですか。
1:09:47	はい。日本原燃瀬谷でございます。ハバ作業してもらって状況でステータからいくとまだ私見えてません。はい。
1:09:56	はい。政調会ですそれは、会合までには提出。

1:10:01	されるんですか。何か進め方部屋とかでも、あんまりその辺が明確になってないんですが、いつまでに提出しなきゃいけないもので、大体いつごろを考えているとか、その辺のめどを教えてください。
1:10:17	はい、日本イシハラでございます先ほどあった赤嶺さんのご指摘じゃないですけど、資料 4 をどうやって作っていくかという、また会合での議論。
1:10:29	資料 4 が展開をされる区域内展開されますので、その時点で、それ得ようかなと思ってたところでした。はい。はい、わかりました。じゃあ、
1:10:40	もうある程度評価側に寄ったものだけなので、例えば、資料 3 のための補足説明資料なんか、
1:10:48	だけのため、みたいなものはもうないんですか。
1:10:54	はい。日本イシダでございます。テレビでいくと、
1:10:59	そうですね構造として今の構造設計の部分で書いてることをさらに補足することっていうのがあまりないかなというふうに、確かに
1:11:09	いろんな検討した結果として今構造書いてますんでそこについてはどういふ考えでその構造にしたかは添付の中で多分説明するんだらうなと思って、補足に預けても、
1:11:24	いえ、
1:11:25	という気はしてました。はい。
1:11:28	はい、規制庁課長わかりましたその辺の進め方や何かで明確になったり後、会合資料の資料 4 がどこまで説明されてるかでも、ちょっと関係してくるかもしれませんのでまた整理のほどよろしく願います。
1:11:51	規制庁の荒井ですけど、先ほど最初に大川が言及した、
1:11:56	資料で、
1:12:01	353 ページですかね。
1:12:04	今回新たに追加されたの資料だと思っているんですけども、
1:12:10	これは何のために作成したのかっていうところの目的がちよっといまいちぱっとしなかったの、そこら辺の説明をお願いします。
1:12:23	はい。二本木の伊勢でございます。こちらはですね、
1:12:30	取り込め廃棄関係ちょうど、それぞれで今、354 ページに書いてるような項目。
1:12:37	要求を説明する必要があるんですが、展開を取って複数の条文が絡んでいるもの、これそれぞれの条文に要求が同じように、県、書いてあるものになります。
1:12:48	それを、
1:12:50	例えば 2 番に関すること②は 23 条の②番に書いてあるようなことを、10 条と 20 条にも同じように書くのかというと、

1:13:00	そういうことをなるべく避けたいということでどこかに物を預けるという形で整理をできればなあと。
1:13:09	でもこれ、7番は三つ書いてんだけど、
1:13:14	707番っていう、
1:13:19	20条からって言って102027にある、そういうことがわかった。
1:13:25	宮岡。
1:13:26	これちゃんと書かないと駄目だね。10条が負圧、十七条が崩壊熱20条がそれ以外も含めた全体のシステム設計だと思うんだよね、通常設計ん。
1:13:39	ていうのを書いてあげないと展開元が何なのかがようわからんねこれだと、同じようなことってでも付け先を決めてそれぞれちゃんと書くべきことを書くという整理をしたいなと思って。
1:13:50	作ったものになります。これ第1回でも結局基本設計方針でどこが主役なのかが、非常に難しいやりとりだなというのもあって閉じ込め廃棄関係貯蔵の関係は整理をしていたので、
1:14:04	今回の資料でどういう
1:14:07	預け、
1:14:08	タカキがあっさりあのやりとりになるのかっていうのを整理したかったってのがもともとの、やりたかったことになります
1:14:15	規制庁の荒井です。そういう意味だと、この別紙資料2別紙で言う展開先っていうのは、
1:14:23	どこに当たるかっていうと、
1:14:29	資料3ですね資料3の①の下、
1:14:37	設計展開表。そうですね。はい。そういうことですね。はい。
1:14:43	なるほどこの、この中で展開先っていうのはこの23条換気なのかなとかって思ったりしたので、展開ごとは何となく隅括弧みたいな形で、
1:14:52	右側にまとめられてるわかったんですけど、そういうことですね。
1:15:02	展開元が一なってるものとかっていうのは、
1:15:06	何なんですかね。
1:15:08	20条に引かないとか、
1:15:10	はい。そういうことになります20条、23条か。
1:15:16	長南。
1:15:17	これは23条じゃん。
1:15:25	⑧ヤノアベ9番とか⑩番だと20条割しか要求がないというやつですね。
1:15:34	換気設備の構造設計の⑤番なんかは、もう同じように十条がしか、要求がないので前回表釜リンクは特にありませんということになります。

1:15:46	わかりました。
1:15:48	それ、これって、
1:15:51	この別紙っていうのは、今回十条 20 条 23 条十七条というところなんすけど、他の
1:15:58	説明グループなんかでもこういうのを作っていくっていうことなんですかね。
1:16:07	基本はそれぞれのところでさっきのちょうど、
1:16:11	テレビ等、ラックピットだなど、搬送設備じゃないですけどそれぞれ一対一の関係の場合は、その中で、どこまで自分で取り合ってるかっていうところを明確にすればいいかなと。
1:16:23	思いますここまで複数の項目で、それぞれが相関関係が発生してるのは、第 1 回でいろいろやった中でもオノ 354 ページのチーム、
1:16:35	かなあとと思ってましたはいぐらいかなと思ってました。
1:16:39	他は基本的には 355。
1:16:43	みたいな形で一対一の関係ぐらいが、PPかなと思ってますはい。
1:16:49	はい。
1:16:50	わかりました。
1:16:59	オカ規制庁側で、共通的な部分とかあれば、
1:17:04	今日、共通 12 の中で、コメントしたいと確認したい部分があれば、
1:17:16	そっか。規制庁浜崎です。ちょっと共通というかですね前回
1:17:21	確認しました、基礎ボルトの件です。
1:17:26	基礎ボルトの設計ですね、についての記述が、今回資料ですと、資料 3 の 404 ページ。
1:17:36	具体的な図示という形では 452、453 の方で説明が追加されているというふうに理解してます。
1:17:44	で、
1:17:45	ちょっとここで確認なんですけれどもわかりやすいのは 404 ページのですね。
1:17:50	詳細設計、設計展開表の方で、構造設計のところに青字で今回、書かれている。
1:17:58	内容について確認するんですけども、
1:18:01	イマイオンダニワアノ文書が四つのコウ分アノ団で構成されてるんですが、上段三つに関しては、
1:18:09	基本的に、今これですとグローボックスの基礎ボルトに関しては、へき或いは埋め込み深さ、V-埋め込み深さを 150 以上にすることによって、

1:18:21	基礎ボルトが引っ張りで損傷するモードで設計しますよということが書かれています。
1:18:31	それを基本にするということで理解はします。で、
1:18:34	最後のですね、あとうちの場合ですけども、これに関しては、
1:18:40	18、146011984 ですかねこと、または、各種防災構造で設計しますよって書いてあるんですけども、
1:18:49	あとうちの場合も、基本的には、基礎ボルト引っ張りを損傷モードで考える設計にするのでしょうか。
1:19:09	もう、はい。
1:19:11	はい。日本原燃の伊藤です。あとちゃん家についても、そのような設計になるというふうにして考えております。
1:19:20	はい。
1:19:23	確認したのは後打ちの場合に関してはやはり施工上の制約とかがあって、ボルト以外の方は海田とか、コンクリートの付着をものについても評価をしますっていうのではなくて、
1:19:38	あくまでも剤と同じ引っ張り、
1:19:43	ボルトの引っ張りで設計しますという出資。
1:19:47	だということによろしいんですね。
1:20:07	でそれはできん。
1:20:13	日本原燃の伊藤です。
1:20:17	すいません、後打ちアンカーの設計に関してなんですけれども、
1:20:21	コンクリート部の評価も含めて、
1:20:26	ボルトを設計するような形にしておりますので、
1:20:34	あとじゃんかにかかる荷重を考慮して、コンクリート部の評価もしてると。
1:20:41	それも含めてやってるということになります。
1:20:45	ヤマザキです例えば、MOXに関しては、基本、跡地って田谷。
1:20:49	ないと思ってるんですけども、再処理施設等ですね、基礎ボルトの跡地をする場合には、今の説明では、結局、
1:20:59	ボルトの引っ張り、
1:21:02	がっかり損傷モードになる設計。
1:21:05	だけではなくて、コンクリート、
1:21:09	農耕破壊、
1:21:11	とか、せん断に関しても、設計をする
1:21:17	ちゃんとしてますよっていう趣旨になるわけですか。
1:21:23	はい。日本原燃伊藤です。

1:21:25	MOXIについても後打ちアンカーございます。それらの到着を施工する場合については、コンクリート部の、評価も行って、据えつけると。
1:21:37	と考えてございます。
1:21:42	はい、植田和崎です。
1:21:45	上段 404 ページの上段の三つの設計思想と、最後の跡地とは違うんですか、一緒なんですか。
1:21:59	はい。日本原燃の伊藤です。
1:22:02	植野光斗跡地の方は、ちょっと違うというふうに考えております。はい。それでしたら、
1:22:13	きちんと違いがわかるように、説明を、多分 4 段目の説明をもう少し詳細にしてもらいたいと思います。よろしいですか。
1:22:22	はい。日本原燃の伊藤です。はい、了解しました。はい。浜崎。もう 1 点ありまして、
1:22:30	今ここで言う基礎ボルトっていうのは、床位置ではなくて壁から支持を取る場合も想定しますよね。で、
1:22:40	亀井の場合っていうのは特に耐震駅の、から支持を伝つとる場合には、
1:22:46	大収益の面内せん断力ですねを足しアノ応答地震ごとによる面内せん断ひずみに応じて、
1:22:54	ボルトの引き抜き耐力を低下するような設計になるかと思うんですけども、
1:23:01	そういった考慮っていうのはしている。
1:23:04	という理解でいいんですよね。
1:23:23	少々お待ちください。
1:23:54	はい。日本原燃の遠藤です。
1:23:57	建物の設計について、
1:24:01	建物内ひずみを考慮したコンクリートの設計になっておりまして、
1:24:06	それらを考慮した
1:24:09	状態で埋込金物を設定している。
1:24:14	はい。
1:24:17	増子。
1:24:19	コンクリートの関係と、メックに移って、順次、
1:24:24	02 だっけ、第 1 回のときに、
1:24:27	2.2Ss に対する考慮で出したやつの補足があったと。
1:24:33	それと兵庫県で説明した。
1:24:38	ちょっと拝見したい。はい。すみません。そのあたりについて、
1:24:43	第 1 回の説明に対して十時 02、補足説明資料にも、記載されてるところありますので、そことまとめてちょっと整理したいと思います。

1:24:55	はい、瀬田浜崎です
1:24:58	多分もう崩れなかった収益のひずみが 1000 マイクロを超えるようなことはないと思うんですけども、設計思想としては、当然そういったものを、
1:25:09	取り入れてますといいますか考えてますというのが、基本的なスタンスだと思いますので、
1:25:15	先ほど言われた 14 野瀬
1:25:18	資料を読み込むといいますかですねそれも含めてですねきちんとこの
1:25:24	詳細設計の展開表の中、
1:25:27	ニワ、その辺わかるような形での記載をしてもらいたと思います。
1:25:34	よろしいですか。
1:25:36	はい。日本原燃衛藤ですはい。
1:25:39	了解しました。
1:25:42	はい。既設浜崎以上です。
1:25:50	規制庁、阿比留です。耐震の話が出た。
1:25:55	ついでに、
1:25:56	444 ページで、細かい 5 でも少し聞きましたけど、
1:26:04	5 にできないグローブボックスがありまして、というところで、て、ある程度定量性を持って、
1:26:14	説明があって、一次固有振動数の二倍になると。
1:26:18	いうところまでには収め、
1:26:21	収めます何ですかね。
1:26:25	そとは言って何か右下に行くとか何かそれさもう満足できないと言っていて何かよくわからないんですけど説明してもらえますか。
1:26:35	はい。日本原燃の井藤です。ちょっと記載がわかりにくくて申し訳ないんですけども、真ん中あたりに書いてる保有進藤層タケノ共振領域って書いてますけども、
1:26:48	建屋の固有振動数の 2 倍以内が共振領域と考えておりまして、それを外したいというふうに考え、
1:26:58	コウにならない場合はまずその共振領域を外したいというのが、考えているところです。
1:27:04	それでも駄目な場合はということで、下に展開しておりますけれども、浅井磯ボルトの材質をより強度の高いものを見ると、そういったことで、
1:27:14	荷重に対して十分な材料断面特性を持つものにする、そういったことで今回記載しております。
1:27:23	規制庁岡見です。
1:27:26	5 分のものはまあいいでしょう。

1:27:28	本にならないけど、共振領域は外れているもの、あと共振領域も外せなかったもの。
1:27:35	その両者で設計が変わるってことなんですか。
1:27:45	はい。日本原燃の伊藤です。
1:27:48	共振領域外れるか外れないかで、設計は変わらないです。ただ共振料金なんか入ってくると、建物、
1:28:00	応答加速度が大きくなるのでそれにみあった設計が必要になるというふうには考えております。
1:28:05	臨時投入した方がこれなんです。
1:28:09	プラス、
1:28:12	規制庁カミデですけど、文章を読む限りはそうは見えない、いいんですけど、外した困難な設備があるから、
1:28:22	云々、①から④のす。
1:28:25	そういうものは①から④の手当をします。そうじゃなくて公共審ユキ外れているものはそんな手当はしませんよって書いているように私には見えるんですけど、まず思ってることと、書いてることが一致しないってことですかね。
1:28:42	ニノミヤでございます。はい。ちょっと書き方の工夫はしますが、やって、設計的に考えてる思考回路をまず変えてもらったので、
1:28:54	思考回路で書いてもらったときに、ここで取る手段はどのみち、①番から、
1:29:00	ルー
1:29:02	4番かな。
1:29:04	で書いてある行為はどれも多分変わらないと思うんですけど、その時に考えなきゃいけない、考慮事項2、共振領域に入る入らないで、
1:29:15	何らか、付加価値がつくかつかないかっていうことかなと思います。
1:29:21	はい。規制庁神です。若干評価はの話にもよってキーワするんですけど、ちょっとプロセスとしてよくわかんないな。設備の
1:29:32	機器の耐震設計するに当たって、まず固有値解析をして、応力解析にもいかないまま、とりあえずボルト太くしてみようとか、材質変えようということではなくて、応力解析して持てば、
1:29:47	あとはその一定の裕度がある程度取りたいってところの目標に達してる方してないか。
1:29:52	よって、設計が変わるんじゃないかなっていう気がしているんですけどそうではない場合もあると思うんですけどちょっと事実関係をしっかり説明するようにしてください。

1:30:05	はい、日本イシダでございます承知しましたおっしゃっていただいている通り、対象は特にそうなんだと思ってるんですけど、それを2-1と2-2でどう書き分けるかってところで、
1:30:17	結局はおっしゃっていただいたように評価してみてどれだけ外れるか、戻ってきて設計、ここはこうしょうか。
1:30:25	という話をイタレーションをやって0になるところを探していくっていうのが、多分耐震なんじゃないかなと思ってますけど、とは今2-1-2で分けて、
1:30:36	そういったものをやるのは、前提で考えながらも、上流から考えたときには、どういう設計をしてるんですかねってところをどう書くかってところで、今考えてたと。
1:30:48	いうのは、今の青字の部分ちょっと書き方よくないですけど、というところでした。はい。
1:30:54	はい。規制庁亀井です。基本的な指示方針っていうのがあってそれはオルソもポイント等のマツオとか財津ちゃんとしたものにしますっていうことがあった上で
1:31:06	それを踏まえて評価をし、駄目だったらまた戻ってそこの指示方針の支援である方っていうのを強化するって言っただけな気がするので、書き方は工夫していただけると。
1:31:18	いうこととあと、ここジャック4601って書いてあって、さっきハバサキが話をしたところ、エンドウまでちゃんと書いてたんですけど、これ年度って幾つですか。
1:31:31	はい。日本原燃の井藤です。すいませんちょっとちゃんと記載できてなくて申し訳ない。これ、1970年。
1:31:40	はい。
1:31:43	結構古くて、
1:31:46	新しいそのエンドースしてる版になると、記載がないってことなんですよね。なんかそういうものを、ジャグに書いてあるからいいんだと読めるような記載があるのでその辺はちゃんとフェアに書いて欲しいなと思いますけどもしくはその、
1:32:01	その大分参考的なものにしか使えないので、そういうものも秋に見ながら我々としてはそういう方針にしますよ程度なんじゃないかなと思いますけど、いかがですか。
1:32:13	はい。日本原燃藤です。確かエンドウされてない昔のイセ70年ということで、ちょっとこの考えを参考に今回書かせていただいているのでそれがちゃんとわかるように記載したいと思います。
1:32:30	はい。末岡ミイです。あと関連して607ページが

1:32:37	要はそのグローブボックス単体で見た時ではなくて買い、配管類の支持構造、直接支持構造物でもあると。
1:32:47	いうことに対していかがですかという話に来てますね、607 ページの左下の枠だと、
1:32:57	グローブボックスは機器だから、皮膚ってピッチの評価だというボール等、相当として、標準スパンモデルで応力計算していくから、
1:33:10	真木木田から大丈夫ですって言われているんですけど、
1:33:17	本当に危機だからっていうのでいいのかっていう気がするんですよね。さっき言ったみたいに、コウだったらイデしろっていうのは大体あるんですけど、
1:33:29	タケヤでさらにタテヤノ今日、1 種、
1:33:35	カノウ半分ぐらいまでかたければっていうところ。
1:33:39	で、どうなんだってさらにはもう、それも守れないものについても、
1:33:48	必ずしもその拘束力が高いと言い切れるのかってのはちょっと疑問なところがあるんですけど、わかっていますか。
1:33:57	はい。日本原燃の伊藤です。
1:33:59	グローブボックスの中構造ということなんですけども、
1:34:06	5 か 10%もそれに関係なく、建物、すいません、プルボックスの取付部については、アカイシのサポートのinchよりも、
1:34:18	わかる測量が高いと考えておりますので、
1:34:21	こういった考えで共有し、何かが提供できるというか、
1:34:27	使ってない
1:34:29	はい、規制庁カミヤさんの拘束力が高いと考えているってことはわかっているんですけど何ですかって聞いてるんですけど。
1:34:41	日本原燃山田と申します。三菱重工から出向で来ております。よろしくお願いいたします。
1:34:50	配管のグローブボックスの取り付け部につきましては、機器の取り合いと同様にですね、フランジないしは溶接で固定されると。
1:35:01	いうところで、改定なんかが拘束されるというところもありまして、は、低ピッチで考えている、ピン支持よりも、拘束力が高いと、そういうふうに判断しております。以上です。
1:35:23	はい。規制庁深見です。
1:35:27	それはあれですか、機器がどれだけ軟らかだろと思うってということなんですか。
1:35:35	日本原燃山田です。どれだけ学校等とやりたいですけども、私、さっき申し上げたように、できるだけ 55 領域に近づけるような設計はしますので、

1:35:50	どこまでも、何ていいですか、無制限なく、何でもいいですというふうには考えていないという、
1:35:57	はい、会長カミデですので、そこは、構造設計とか評価なのかもわからないんですけど大事でこれぐらいまでにはしておきますだから大丈夫ですって言って欲しいんですよ。そこが、
1:36:09	今ブロック 3. 設計だとうでもないです。共振領域からははず外します。でもなくて、そうでもないものも何とか評価して頑張りますよと。
1:36:20	言っている中で、じゃあどこまでがどこまでだったら、一般論として、大丈夫でしょうといえるのか、そこを聞きたいんです。
1:36:41	日本原燃山田でございます。今ご指摘いただいた内容ですね、ちょっと一般論としてどういうところまでであれば、そういう固定点的に考えられるのかというところをちょっと整理させていただきたいと思います。
1:36:56	はい。規制庁北見です。説明はつくとは思っているんですけど、
1:37:03	かなりあれですかねいるV層とオダすると2方向しか伝えてないのに、
1:37:11	日本語が5だということに対してグローボックスやわかりにしたりという6軸成分のうち、全部がやわかりかというところでもないはず。
1:37:23	なんですけどそのあたりをきちんと説明いただきたいなど。単純に機器だからとかいう話で、収まるほどグローボックスの構成高くなさそうなので、その辺はしっかり説明をしてください。
1:37:38	昨日元令和です。長期いたしました。
1:37:43	はい、規制庁オカ店大体それぐらいだったかな。パート
1:37:49	607 ページの左下の枠の最後の方ですね、グローボックス内の配管ってというのが、これはコウにしますよって。
1:38:01	グローボックスと配管は共振しないっていうのはわかるんですけど。
1:38:06	ええ。
1:38:07	建屋と配管の関係でいうと、グローボックスが建屋と共振するような場合は、同じように配管も、建屋に対しては共振するって思っているんですよ。
1:38:23	はい。日本原燃藤です。
1:38:26	はい。おっしゃる通りグローボックスに対して5につけますので、グローボックス一体に動くようなことになってると思いますので、
1:38:34	建屋に対しては共振すると。
1:38:41	はい、規制庁金井さん、そのときに、グローボックス内の配管の評価は、共振したことを想定した家族度で評価する。
1:38:52	ということですか。
1:38:54	はい。日本原燃の状況です。ちょっと資料にも書かせてもらっておりますけども、

1:39:01	グローブボックスの最大応答加速度を、イエスかノーかです。
1:39:08	その通りです。
1:39:10	はい、規制庁ました。
1:39:14	とりあえず私の方からは以上です。
1:39:22	規制庁の荒井です。今も含めて、次回介護、小菅、前回会合のお弁当の返せる確認っていうのが、
1:39:33	なされたのかなと思ってまして、ちょっと次回会合でやるとしていた再処理の設計グループの話も、
1:39:44	表紙では少し見直しましたっていうところもありまして、次回以降、次回以降の話にも繋がるとお思いますので、ちょっと見直さないよっていうところも、
1:39:56	少し説明いただきたいなと思うんですが、
1:40:03	36 ページ目以降ですかね。
1:40:16	少々お待ちください。
1:40:36	1 回目の 1 ハダでございますはい。
1:40:40	今回ですね、36 ページ以降に設計説明分類説明グループの内容があります。建設のは、特段修正はしておりませんで、3、40 ページからの説明グループの説明内容に、
1:40:56	今回どちらかという、そう聞けば、
1:41:01	43 ページ以降のエッセイ関係の説明内容ですね隅括弧で書いているもの、これを今のSAの設置
1:41:13	要求事項の整理と、昨日、ヒアリングさせていただいたものだったりDBの設計項目の整理、今後、その紐づけをして現在どういうところで、その関係性を示していくかと。
1:41:26	いうことをやっていきますが、その結果を最終的には反映する必要があると思ってます。現状SAの要求事項の整理をした上で今の
1:41:36	赤の太字とかですかね、直したのが、こういうものを、前回から追加または隅括弧の内容を具体化したりと、
1:41:48	いうことをやらさせていただいているということでございます。
1:41:52	特に前回項目が非常に少なく、足りなかったところもありますんで、
1:41:59	アクセスルートだったり多様性位置的な予算だったり、対応性実績分散も考慮しないといけない条件がいくつかありますんで、それごとに、説明項目をピックアップして、どこの説明グループノードの設計説明ぶりの関係で説明するかと。
1:42:15	いうことを、修正をしたと、いうことでございます。

1:42:20	ただ先ほどご答弁申し上げた通り今やってる整理がまた反映しないといけないうところもありますんで、今後さらに継続して、修正作業が必要になるというふうに思ってます。はい。以上です。
1:42:36	規制庁の荒井ですけど、そういう意味だと、
1:42:39	グループ1のところを焦点を当てて整理を進めているのだと認識していて、
1:42:50	現時点のバージョンとしては、先週末時点のSN要求整理の状況と、
1:42:58	後、一対一ぐらいの整理状況になってるっていう理解でいいんですか。はい。日本原燃石田でございます。おっしゃっていただいている通りです。
1:43:08	はい。はい。
1:43:12	そうすると、今後の進め方としては、今週やったSA要求事項Dの紐づけの整理っていうところを、
1:43:24	を定めて、そのフィードバックをこっちにかけるっていう作業作業。
1:43:31	をやるっていうか、感じなんですかね。
1:43:34	はい。井上志田でございます。まず、おっしゃっていただいたようにステップが幾つか必要だと思っまして、まず機能やらしていただいたSAの要求事項の整理と、DBの設計項目の定義、
1:43:47	これを、昨日のヒアリングまえて、修正をしたものを進めていくということ、さらにそれをもとに、
1:43:57	SAとDBの紐づけというのもやらないといけな。結局SAで言っている、1医療の設計業績方針がですね、
1:44:08	DBで言うどっかどこの枠なのかっていうところ飛ばし合いみたいのをした上で、さらに、昨日DBの設計項目でやらせていただいた例えば条件とか、構造設計とか、システム設計の説明ですね。
1:44:23	これに衛星をコラボすると、どういう形の付加価値がつくのかつかないのかというところまで整理をしていくと、共通要因の資料に、とか資料3でどういうふうに、
1:44:35	紐づけをして性、具体の設計に結びつけていくかというところまでのイメージができ上がるということだと思っってます。そこまでいくと、先ほどの説明説明グループの方も、おのずと、
1:44:48	説明項目が全部抽出されて、どの説明グループで内容を説明するんだというところにもリンクがそれぞれ張られて、作業としては、完結するのかなというふうに思っました。はい。
1:45:02	はい。規制庁の荒井です。
1:45:04	この表の中だと、43 ページ目から続いている表なんですけど、
1:45:11	これシワヤたヒアリングっていうのは多分本説明グループ設備を行う関連条文っていう、

1:45:19	右から二つ目の列。
1:45:22	の話で、
1:45:23	それとあわせて一番右側の列の整理っていうのも進めているっていう理解でいいんですね。
1:45:33	今週のヒアリングでこの説明グループではこうだっていう説明までは多分できていなくて、多分この資料でないとわからないっていう観点だと。
1:45:44	はい。
1:45:46	うん。そうですねはい。当然DSNのこれはもうしたときにはどうぞ。真ん中、右から2番目かで説明するもの、説明グループごとに決まってさらには、一番右側もセットで、
1:46:01	どこをコラボして説明するのがいいのかみたいなことの整理までやらないといけないと思ってます。はい。
1:46:09	はい。
1:46:11	すいませんコサクです。
1:46:15	この表を作り込むためにワーエと、昨日のヒアリングでできるでしょうね、やった。
1:46:24	ものでは足りなくて、
1:46:26	他の条文も必要になってくると。
1:46:28	ということですけど。
1:46:31	どう進めていくんですかっていう質問じゃないかなと思いますけど。
1:46:49	はい。出野イシハラでございます。はい。そこも含めて、はい。ステップを考えたいと思います。はい。
1:46:59	そうですね。はい。
1:47:02	はい。補足です。
1:47:05	結構いろいろな作業が、
1:47:08	あって共通中にでも資料123とあってですね、
1:47:13	順々にやるー
1:47:16	ステップで書いていつつも、相互に関係があって、フィードバックをかけたたり並行してやったりと。
1:47:23	いうことが必要な状況なので、なかなか順々についていうのも難しいところはあと思うんですけど、
1:47:34	少なくとも、
1:47:37	フィードバックで大分やることが変わっちゃったっていうことがないように、大枠、認識が合うようにしていくという程度での、
1:47:48	作業は進めていただければいいかなと。

1:47:50	思っています。特に今回この表の部分でいうと、大分そのSAの関係からの認識が良く、
1:47:59	わからない。
1:48:01	いうことだったので、それぞれで言うと、
1:48:05	取り急ぎでいえば先日のSAの要求事項の整理のところ、
1:48:12	認識が合うように整理を
1:48:15	いただくことっていうのが最優先で、
1:48:18	それに関連するDBの部分っていうのは、同じく整理をしていかないと、まとめたところこの表でどういうふうに扱うのかっていうのがわからないので、
1:48:29	それを対応いただきたいと。
1:48:32	それ以外のDB条文、
1:48:34	どの程度どうやる必要があるかっていうのはある程度の平仄を取れるぐらいやってもらえればいいんじゃないのかなと思うので、作業しながらですねどの程度、
1:48:47	話をしなきゃいけないのかっていうの見積もって、ヒアリングに臨んでいただければいいかなと。
1:48:55	はい。二本木の石田でございますはい。おっしゃっていただいている通りと意識をしますSAの整理をちゃんとやるということで、ここで言う、前回の審査会合でのご指摘ごとのやりとりも、
1:49:10	DBとSAで関係するところっていうのをどういうふうな振り分けをするのかという部分を、整理を進めないといけないと、いうことであとはDB単独のものはおっしゃっていただいたように基本設計方針も
1:49:25	大体は義務、わかっている、かつ、隅括弧で書くべきものが、抜けがないようにある程度の大枠で押さえておくということができれば、この設計、説明グループ化、
1:49:37	の整理はできるのかなと思いますんで優先順位、あとどこまでやるかということも含めて整理をしてステップを、
1:49:45	言っていきたいと思いますはい。
1:49:49	はい、古作です。よろしく願います。で、少し踏み込んでお話ししておく
1:49:59	どうするかな。
1:50:01	うん。
1:50:02	先ほど少し伊勢ハラさんが言われていたんですけど、
1:50:09	藤。
1:50:11	説明。
1:50:16	すべき項目なんでしたっけ。この隅括弧のものを、

1:50:20	多少分割してですね、これのうちのこれはここでの、ここ、それでないこれはここでとかっていうふうに、
1:50:31	細分化されてるんですけど、
1:50:34	その細分化の意味があるの。
1:50:36	なんでそういう細分化をしたのっていうのが、
1:50:40	わからないところが多いです。
1:50:50	それ、
1:50:51	か一理解できるようにならないとなということがあって、
1:50:58	等、
1:51:05	例えば、
1:51:10	わかる、わかるところでまずいうと、43 ページ。
1:51:15	の、ここはグループ一位であって外部衝撃、
1:51:21	の対策ということなので、説明を行うというところでは、
1:51:30	アクセスルートに関して、外的事象の関係の対応を説明しますと、一方で、
1:51:39	右の欄、説明後続でやりますよというもののの中では、アクセスルート内の事象、
1:51:47	ここからの理解が、一番理解しやすい。
1:51:52	で、一方その下の位置的分散、実説明するって言ってるところのその下にある 1、多様性知的分散については、
1:52:05	グループ 1 再処理 3 と合わせてって書いてます。グループ 1 の中で、代表設備、
1:52:13	の関係からこう書かれてるということなので、
1:52:16	それはそれでいいかなと思うんですけど。
1:52:20	これと類似のが説明。
1:52:23	別グループでと言ってるところに書いてあったような、
1:52:28	してって、
1:52:32	と言いながらちょっと見つけられないんですけど、
1:52:35	違ったかな悪影響だったかな。
1:52:43	ごめんなさい。ありました。45 ページ。
1:52:51	多様性位置的分散外的事象についてグループ 2 で説明しますと、
1:52:56	なっていて、意味が通じないんです。
1:53:00	何か意味があるのであれば、その意味がわかるように書いていただければいいんですけど、これは全くわからない。
1:53:07	ですから、今、何かこういうことなのでこういうふうにしますっていうのあります。

1:53:17	すいません日本イシダでございますこれは完全な動きですっていうので、外的な適応イチャタニで分けたはずなので、この別グループに1回敵が入るわけがないので、はい。こちらの三つ、はい。
1:53:30	はい。補足です。で、
1:53:33	この部分は外的な液位を分けるということから、グループが違うので分けるというので書くわけでその趣旨を書くと、
1:53:41	ということ整理いただくのはいいんですけど一方でその下の悪影響防止になると、系統影響、可搬式
1:53:50	汽水とか、その内田環境条件きついとかなっててですね。
1:53:54	この辺りは、今の
1:53:57	どこでどう説明するのかの趣旨として、なぜなのかっていうのがわかりにくい。
1:54:02	表現になっていて、なんで古野。
1:54:06	とかってのわからないんですよ。
1:54:13	グループ3っていうのは、重大事故の機能について説明をする枠で防護設計についてはグループ12で言い切ると。
1:54:21	ということだったはずで、
1:54:24	悪影響防止っていうのは何で機能の側に寄せるのかというのがよくわからないんですけど。
1:54:31	自分が悪影響を受けないようにっていうので、なぜならこの機能はこうだから大丈夫ですっていうのであれば、
1:54:38	まだ、
1:54:40	わからないわけでもないんですけど、
1:54:44	それは向きが違っているし、
1:54:48	一体これどういうことなんでしたっけ。
1:55:00	ありがとうございます。日本原燃志田でございます。今ちょっと言葉足らずですね悪影響防止設計加古可搬型放水砲なんかは、放水を使ったときに、
1:55:12	それ濃厚西方の水を受ける側の建屋側への悪影響の話を、低下系、系統影響も同じ。
1:55:22	接続性の話じゃもうそうやってかないかは、放水砲の何を見るのかわかんない。
1:55:35	日本原燃志田でございます影響として何を見るかという観点グループ3で説明するに足りるものなのかどうかってのがわかるような、括弧書きで記載を、というのを考えたいと思います。はい。
1:55:47	はい。コサクです。
1:55:50	今例示で言われたやつもう、それって溢水、

1:55:55	と何が違うの、五つの被水と何が違うの或いは硬水と何が違うの。
1:56:02	いう気がするんですけど、何かグループさんに振る必要あるんでしょう。
1:56:08	どうも何かグループさんの説明が主にあって、
1:56:13	そっちで説明したいから譲りたくありませんっていう意識が高い。
1:56:19	そんな気がしますんで、ちょっと場所も含めて考えます。
1:56:26	やるべきことが同じようなことで、説明した時に、どこどこと同じですというのをやるのであればわざわざ別のグループに持っていかなくても、そのもとにあったやつと合わせて説明していけば、合理的にもなると思うので、そういった趣旨も含めて、
1:56:41	ご検討したいと思います。はい。
1:56:44	はい。補足です。よろしくお願いします。
1:56:50	今みたいな話を整理をする。
1:56:54	ため2オオモトとしてということで、その後ろに表作られているのかなあと。
1:57:02	思っていて、66 ページからですかね、分割する前の条文ごとに説明すべき項目を列記し、それがどこのグループに所属するかと。
1:57:14	いうことをまとめておられるんですけど、この表の趣旨はそういうことではないですかね。
1:57:20	はい。乳井の石田でございますはい。おっしゃっていただいている通りです。
1:57:24	はい。コサクです。なんですけど、
1:57:28	けっつ論側から言ってる、この右側のグループ。
1:57:33	の、
1:57:34	振りを中心に書かれていてですね、結果として、ここに列記してる説明すべき項目っていうのが網羅的になっているのか。
1:57:45	どういう考えでこう整理したのかっていうのが読みづらいんですよ。
1:57:49	そのあたりでどうにかならないかと思うんですけど、単純に言えばこっちの説明すべき項目の体系で、並びを整えていただいて、
1:57:59	その上で右の欄を、
1:58:04	ぜひ埋めていくっていうふうにしていただいた方が、
1:58:08	こちらとしては見やすいかなっていう気はするんですけどいかがですかね。
1:58:13	はい、日本インダでございます。承知いたしましたはい。
1:58:18	私は途中でまとめちゃったから、うちの右側では、どちらかという説明すべきものを、観点は左側に漏れがないということだと言う義務はおっしゃる通りなので、はい。
1:58:29	整理の仕方民営化ちょっとは考えます。はい。

1:58:35	はい。
1:58:36	そうですねよろしくお願いします。で、これも、
1:58:40	3、
1:58:41	16 条関係って、
1:58:43	71 ページ。
1:58:50	はい。71 ページからで、列記されてて、これが先ほど言ったように多様性位置的分散が
1:59:01	六戸ですかね。
1:59:02	分かれているのは、
1:59:04	何でだっていう、
1:59:08	ところなんですけど、右の欄が分かれていますねって感じもありつつ、同じもので分かれていたりですね。
1:59:16	しているんですけど、何か意味ありますか。
1:59:25	はい。日本原燃瀬谷でございますちょっと素行はですね、私の方でやり方考えます。まずは基本設計方針を見ながら、隅括弧で出すべき項目をまず全部出そうと言ってやってくれたとされていてとはいえ、
1:59:42	分ければ分けるほど何を説明したいかもよくわからんので、かつ、同じところに入れば、説明としてはこういう視点だよってというのが多くわかれば、
1:59:52	全体像も掴みやすいと思うので、書き方含めて考えたいと思います。はい。
1:59:59	はい。補足です。こういう整理をしていくことによって、こう書いていけばいいねっていうのが
2:00:05	議論できるんだと思いますので、よろしくお願いします。
2:00:12	と国井特に今ぱっと見て気になったのは、その位置付け分散のところだと、接続コウカッコ地盤って書いてあるんですけど、
2:00:22	これってどこからどう出てきてこの言葉になる。
2:00:42	はい、二本木西平でございます。多様地域的部さんでの健全性確保みたいなものに近い書き方をしているところから、
2:00:49	地盤をしっかりとした地盤の場所に接続を設ける設計とするって書いてあるところを、こう書いた。でも、建屋内に配置するんじゃない、建屋外。
2:01:00	よくコウ加古地盤って書いてもようわからないんだ。
2:01:04	ちょっと基本的な行事が入った地盤がしっかりとしたところに行く接続孔の設置場所ってことでね、設計上は、
2:01:12	うん。
2:01:13	ちょっとあの名は体を表してないような気もするのはい。ちょっと書き方もそうですね。考えたいと思いますはい。

2:01:20	はい。コサクです。
2:01:23	何ですかね。
2:01:25	規則の文言に変にとらわれてもう趣旨がわからなくなるってことなのかなと。
2:01:33	思い、今お聞きしておりましたので、結局は
2:01:39	例示でしかなくて、趣旨は何っていうと、
2:01:43	健全性を確保すると。
2:01:45	いうことに尽きる。
2:01:48	ものだと思うんですね。接続孔であればその常設とか反応というところで、可搬の優位性っていうのを、接続コウという常設の部分で障害しないようにと。
2:01:59	いう配慮なので、
2:02:03	その意味はここやっぱり分ける必要数、その意味ではないんだろうな。
2:02:06	もするし、整理をしていただければと思います。
2:02:10	そのあとも 1.2Ssが出てた環境条件云々と入ってということではらついているというところは先ほど整理していただくようにお話ししたので、
2:02:22	その中で、説明すべき項目っていうのがどういう構成になってて
2:02:28	どの枠でどこまでの説明がされるのかと。
2:02:31	いうことが理解しやすくなればいいなど。
2:02:35	ています。それ昨日も話をしたことだと思います。よろしく申し上げます。以上です。
2:02:51	はい。重野市田でございます討議いたしました。はい。
2:02:55	補足です。以上ですと言いながら、すいません、ちょっと先走った話かもしれませんが、たまたま目に入ったので 72 ページ。
2:03:04	お願いします。
2:03:07	まだここまで手が回ってないんじゃないかなと思うんですけど。
2:03:11	これは余りに雑ですよ。今の 36 条の細か過ぎに比べて大きく違っていて、
2:03:20	何をやるかわかると思うんですけど、委員会とPPPには同じ廃棄の関係があり、
2:03:26	蒸発乾固なり医療はまた区対策に違いがあり背景はやっぱり水素と一緒にの部分があると。
2:03:35	いうことがあって、その関係性は整理をするぐらい分けないととてもじゃないけど、類型にならないと思いますので、整理を進めてください。
2:03:45	はい、功刀ニツタ様でございます。はい、承知いたしました。
2:03:57	規制庁の荒井です。
2:03:59	説明グループ関連、ほか、何かございますか。

2:04:06	オオハシね。
2:04:09	ありますけども、
2:04:11	ここでも、
2:04:15	何点かある。
2:04:24	はい。
2:04:26	そうでしたら
2:04:29	時間も、
2:04:31	午前中終わりましたので、
2:04:33	共通的な話としては表紙に書いてあるところは、ほぼほぼ見たのかなあとは思っていて、要求種別の定義についての説明を追加っていうのは設計条件になるのかただ文言の、
2:04:48	定義なのかっていうところを見直したっていうだけですので、前回、これまでのヒアリング置き、ヒアリングの中でも聞いている話だと思っています。
2:04:58	それで、
2:04:59	全体を通じて、
2:05:02	ほかになければ、午前中の振り返りしたいと思いますけどいかがでしょうか。
2:05:15	はい。多分原燃側から午前中の振替上、ざっとでいいので、お願いしたいと思います。
2:05:26	調整を、
2:05:28	はい。人間のイシハラでございます。
2:05:34	どこ。
2:05:36	まずは、共通上にですね一つは介護との関係で宿題が反映できてない部分。
2:05:47	後続の説明グループとか工事会との関係、引き継ぎがあるところですねそのバトンをどう、どこまでをそこで説明していて、
2:05:57	どこにバトンをどっかで渡すのかということが、資料でわかるように、整理をしていくという点。
2:06:04	あとそういうその関係で
2:06:09	SGP側からの要求、呉の展開の仕方が、IUの資料2ですかね7番のところで、バックと書いてあったところ、
2:06:20	橋渡しも含めて、うまく書けてないところありますんで記載の拡充して、どういう要求があってどこまでこういうことをやらなきゃいけないという書いた上で部隊を個別に預けていくという、チームづけをしていくと。
2:06:36	ということかと思えます。はい。
2:06:41	あとは、

2:06:44	と、
2:06:45	ウラン粉末のところ、
2:06:49	の説明ですかね全体の設計を補足説明資料との関係は、
2:06:56	補足イメージを準備しまして今後提出をして関係性も含めて明確にして いきたいと思います。
2:07:04	あとは、崩壊熱の関係、今回の説明グループ1頭、グループさんの条 件のところの設定どこでどう切り分けるか本当にそれができるのかって いうところの整理を、
2:07:16	さしていただくということかと思います。あと耐震ところは、結局、設計と してどういう配慮をしているのかということ、従となるグローブボックス の、
2:07:29	一般論としてどこまで、
2:07:32	は押さえなきゃいけない。
2:07:34	領域境界なのかということをもっと明確にしないといけないところ かと思います。はい。
2:07:41	あとは、資料3関係自体が、父ちゃん下のところですね、この設計上の 考慮ということ十時等に(ア)の第1回でご説明したこととのリンクも含 めて提示をさせていただきます。
2:07:56	資料3でタダノ5じゃない。室岡設計についての設計について、どこま でを押さえおかなきゃいけないポイントなのかというのを、
2:08:08	説明するという事で説明を拡充させていただくということかと思いま す。
2:08:14	はい。あと最初の説明グループのポイントについては、
2:08:20	今やってる
2:08:24	DBSAの要求事項の整理ということに加えて、この443ページ以降の 表を作るために必要な行為ですね二つ洗い出して、どういうステップで どういう作業やっていくのかということの整理をしていくと。
2:08:39	いうことと、この隅括弧の書き方徹底として説明する内容を、グループま た技術的も含めて、能勢氏がわかるような説明内容にしていくと。
2:08:51	いうことで、整理をしていきたいと思います。はい。
2:08:56	以上です。
2:08:58	コサクです。
2:09:00	耐震のグローブボックスの
2:09:04	関係については、どういう方向
2:09:09	整理していくのかっていうのがちょっとよくわからなかったので、
2:09:13	確認したいんですけど。
2:09:17	設計方針だけではフローズできなくて、

2:09:21	グローブボックスの耐震評価を踏まえて確認、評価をするっていう、
2:09:26	孔口になるんですかね。
2:09:34	それともどうなってるんです。支持点として大丈夫ですっていうような設計方針が述べられる。
2:09:42	はい。日本原燃石田でございます。ちょっと私の認識だけしゃべって。間違ってたら、出してね。
2:09:50	設計としての配慮というところを、もう少し言われたポイントとしては、グローブボックスがこうじゃない、中だとしたときに、どんな状態でもいいのかってわけでは多分なくて、
2:10:02	どこかここまでは押さえておかないといけないっていう設計上のポイントがあるはずでそこをまず明確にしないといけないっていうのが、今回のやりとりであった話かなと思ってました。
2:10:13	そこを設計としてちゃんと書いてどこをポイントにしていくかだと思いますけど。はい。
2:10:19	はい。コサクです。それがどこまで明確にできるのかによって、方針として嫌になるのかね。はい評価にゆだねなきゃいけないものがあるのかってことだと思いますので、整理を進めてください。
2:10:33	はい。日本原燃伊勢でございます。承知いたしました。
2:10:37	はい。コサクです。
2:10:42	搭載後囊説明すべき項目の整理については、
2:10:50	昨日のヒアリングを踏まえた対応を進めながらということなので、先ほどちょっとSAの個別条文のところもお話しましたが、
2:11:01	どういうふうに進めるのかっていうのはまた進め方冷やでお話しいただければと思いますがよろしいですか。
2:11:10	はい。弓削ニシダでございます。承知いたしました。
2:11:15	はい、そうです。私から
2:11:18	今、すいません。あと、
2:11:20	時間も過ぎてるところで事で申し訳ないんですけど、
2:11:23	前々からずっと言い続けてるんですけど、同じAさんなのに、画面表示が全然違ってスクロールするとすごい見づらいんですよ。
2:11:32	皆さんPDFでは見ないんですかね。
2:11:39	私ちょっと、すいません。
2:11:43	PDFが契約する時に移動作業するんですけど、PDFファイルの時のページ様式を合わせてくれと。
2:11:51	はい。
2:11:52	はい、いたしました。すいません何回もやってて、対応できてなくてすみませんでした。入って、もう、原燃のパソコンでのPDF化のときの、

2:12:01	アノは形式をもう決めちゃって動かせないようにするとかぐらい。
2:12:06	しないと駄目なのかって気もしますけど、徹底してください。
2:12:12	はい。宮城ニシダでございますよといたしました。
2:12:21	はい。規制庁の荒井です。特に
2:12:25	なければ、振り返りといってもなければ、これで終了したいと思います。
2:12:32	ここについては、ちょっと午前中共通的に治療にとか3とか、いろいろ見さしていただいたんですけども、資料の拡充としてこういうところも少し足りないのではないかっていうところについてちょっと確認していきたいと思いますので、
2:12:47	よろしく。引き続きよろしくお願いします。それでは全体通じて他に何かありますか。
2:12:58	では特にないようですので、今後も続きよろしくお願いたします。じゃあ、録音を停止お願いします。
0:00:00	します。
0:00:01	録音を再開しました。
0:00:06	それから5ページ引き続き、ヒアリングの方実施したい、していきたいと思います。
0:00:15	規制庁の荒井ですけども。
0:00:18	ちょっと午前中は共通的な部分とか、審査会合に向けての準備状況等を確認させていただきましたが、
0:00:27	それまでの個別のヒアリングの中で、うまく
0:00:34	アライさんすいませんちょっと待って。
0:00:36	午後なんですけれども計、
0:00:40	余予定が入っております
0:00:43	コサクとオノについた午後にとっては参加ありませんので、お知らせします。
0:00:53	はい、規制庁岡です。日本原燃側主出席者の変更等ありましたでしょうか。
0:00:58	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:01:01	原燃側の方の出席者、午前中から変更ございません。よろしくお願いたします。はい、わかりました。では荒井さんお願いします。
0:01:11	規制庁の荒井です。午前中は、審査会合を見据えて、どういう過去の審査会合を踏まえてどういう反映状況なのかっていう状況確認をさせていただくとともに、
0:01:24	ダテ共通的な部分について記録確認させていただいたとっていて、
0:01:30	個別のヒアリングこれまでやってきた中で、

0:01:34	例えばガイド等も作りつつ、そこでの細かな修正とかも併せてやっているとしますので、
0:01:43	順に本文資料 1 資料 2 資料 3 オクっていう形で進めていきたいと思っています。
0:01:53	まずは本文の中で、前回からこの部分は顕著に変えたという部分というあれば、説明をお願いしたいんですがいかがですか。
0:02:08	はい、日本インダでございます。
0:02:11	本文でちょっと変えた点はですね、目次の 3 ページにある通りシステム設計とかの記載の現場を変えた。
0:02:21	という部分と、あとは先ほど、
0:02:24	安倍さんからもご紹介いただいた定義ですね、どこ行ったっけな。
0:02:32	いえ。
0:02:36	例えば、
0:02:37	29 ページですね、のところの要求種別のところの定義を追加をしたというところ。
0:02:44	あと先ほどの評価の関係の、
0:02:49	違うな、委員からの変更点か、委員からの変更点というのをどういうものをピックアップするかという資料 1 での宿題があったと思ってまして、それが 26 ページの下線引いたところ、
0:03:02	金融機関の変更点として基本設計方針等設計方針、
0:03:06	変更だったりあと仕様表に係る構造等の変更といったものに着目をして、変更点というのを洗い出しますよといったところを、修正をしたということでございます。
0:03:19	あと加点が唐突なのが 30 ページのところはですねこれもともとその下に留意事項という細かな記載のやり方を変えたところを、ガイドに預けたので、その留意事項に入ってたもので本文上残すべきところを、
0:03:34	ピックアップしたという形でカセイナダけれど、30 ページから 31 ページの頭にかけてでございます。
0:03:41	はい。本部としての修正ポイントは以上でございます。
0:03:47	はい。規制庁の荒井です。
0:03:50	それでは本文の修正箇所について、何かあればアノ規制庁側からお願いしたいんですけども。特に内容っていうか、今までガイド等も含めて聞いている内容なので、
0:04:05	そこまでないと思いますやれんため確認をお願いいたします。
0:04:10	規制庁かです。
0:04:14	28 ページ目設計項目。

0:04:16	もう、今回少しだけ、定義のところを追加されてるんですが、ほかにも結構ガイド側では広く充実したと思うんですが、ここはもう定義、
0:04:27	今以外は大丈夫そうですか。
0:04:31	はい、日本イシダでございます。
0:04:40	等ですね、まだちょっと全体としてまず前提が、
0:04:46	要求種別が必ずしも一つではないという前提。
0:04:50	分だけというわけではないパターンが多いということを前提にこの下の表をどう読ませるかかってところの工夫は若干要るかなとまだ思ってますが、項目としては今書いてある表の中の記載としては今の程度かなと思ってました。
0:05:05	はい、規制庁ですそういうことが検討された結果でしたらとか、
0:05:10	ガイドの方はしっかり、
0:05:12	充実化していますので、ちょっと誤解を招くような表現がないかということだけはやっぱり、
0:05:18	毎回ちゃん
0:05:24	はい、宮城西田でございます。承知いたしました。
0:05:28	成長がですね、あとその先ほどガイドに預けたため留意点のところは大分簡略化したっていう部分は、
0:05:37	どこ残した理由。
0:05:39	みたいなのは、
0:05:41	何ですか。はい。ちょっと
0:05:44	そうですね参考資料との紐付けにかかる部分は残しました。それ以外の記載SAとDBの関係とかですね、記載の細かい作り込みの段階で考えなきゃいけないところガイドに預けたということでございます。
0:05:59	はい。すいません。わかりました。参考。
0:06:04	どっか、
0:06:05	参考 2-1 とか、
0:06:07	2 の、
0:06:09	にもあるんです。
0:06:11	可児の 2 ですねはい。この辺でずっと残っていてもこの名称で残っていくものなんですね。はい。はい。日本ヨシダでございます。この資料 1 から 3、将来的には 4 も入りますけども全体の体系の中でやはり途中段階である程度まとめたもの。
0:06:31	作っておかないと、全体のスクープが見えないということもあると思うので 2-1-2 は残そうと思ってます。はい。はい。
0:06:40	私の確認

0:06:46	はい。規制庁荒です。どうもありがとうございます。私からは、28 ページ目ですかね。
0:06:53	28 ページ目の真ん中の 0 点の中で、各設計項目に対する説明のところをもう少しわかりやすいように拡充するっていう話が、
0:07:04	過去のヒアリングの中であったと思うんですけども、
0:07:08	例えばシステム設計ではこういうものなんですとかっていう説明を加えるとかっていう説明があったのかなと思ってるんですけど、そこはガイドの方に預けて、
0:07:19	これは共通 12 としてはここまでの記載してる。
0:07:23	理由というか何か
0:07:25	線引きっていうのはどう考えておられますか。
0:07:31	はい。日本原燃瀬谷でございます。おっしゃっていただいているところははい。まだうまく反映できてないかなと思います。
0:07:42	せめてあんまりしてもいいんじゃないかなという部分は、思いながらある程度システム設計カーの項目に沿って、何を書くかというのが今何だっけな。
0:07:54	再処理でやってるDBの設計項目の整理じゃないですけど、いわゆる最初になっていく、特に
0:08:01	ギブンのインプットの情報として既認可の情報使ったりって意味で、いわゆるここで設計をするというよりは、設計としての情報を使うという意味もこの各項目の中で、
0:08:13	割り付けてやるんだということがわかるように、ガイドと同じように、本文が修正が必要かという認識でございますはい。
0:08:22	わかりました。ちょっと私もその点で、やっぱり今回の申請でのシステム設計ではなくて先ほどおっしゃられた設計情報みたいな形で使うっていう、エッセンスが入ると、ちょっとガイドと整合するのかなと思いますのでよろしくお願いします。
0:08:46	岡。
0:08:48	規制庁側から、
0:08:54	本文に関して何かあればっていうところで、
0:09:05	また私からなんですけど、31 ページ目以降に、資料 3 の展開の仕方が書いてあり、
0:09:17	ガイドで、具体的な例とかは、別紙みたいな形で整理していくっていう話が、ぐらいのヒアリングでお伺いしたところなんですけども。
0:09:30	31 ページ目以降っていうのが、結構具体的に、
0:09:35	よ、例えば最初の要求事項と具体的な設計の展開っていうのは、
0:09:41	この部分は残す感じになるんですかね。

0:09:44	機構、
0:09:47	工程室排気設備はっていう舞台で出してる場所なんですけど。
0:09:51	スミエ相神ヤノイシハラでございます。はい。そうですね。ここの、
0:10:01	非常に前回が移動、どんな位置付けですかっていうのを、1 だったっけな、今後の進め方だったかガイドの説明、今後の進め方の時にガイドの今出したやつ、
0:10:12	日付をご説明した際に、
0:10:15	資料 2 まではある程度、ガイドと共通次の本文の棲み分けをして、
0:10:21	外部にはどちらかと手順的なものだったり、作成するときに考えて欲しいことっていうのをポイントは変えていく。
0:10:29	本部はどちらかという骨格を示す、資料 2 とか、資料 3 はこんなもんだよという骨格を示すという形で整理ができた。資料 3 についてはまだ、実際なかなか、
0:10:42	どういうふうに書いていけば、ガイドとしての意味がなされるのかっていうところをまだ悩んでいるということを申し上げた状態がまさしくこれだと思ってまして。
0:10:52	資料 3 についても資料 2 のところと同じように、
0:10:56	ガイドでの、あと手順化をして、書くべきことを整理して、資料 3、資料に引き続き本文との住み分けをしていくというステップをやらないといけないと思ってますそこがまだ十分し切れてないのが現状だと思ってます。
0:11:12	規制庁荒井です。了解しましたそういう意味だと、ガイドで何を変え、変え、留意点はこれっていうところがある程度整理できた段階で、この 31 ページ目の 3 ポツ以降の記載も、
0:11:25	少しずつ落ちてきてナイトウですかね。
0:11:28	はい。日本原燃石田でございますはい。おっしゃっていただけてる通りでございますはい。
0:11:34	はい。言いました。
0:11:38	35 ページ目までの本文で特に、
0:11:42	規制庁側からありますか。
0:11:50	はい。
0:11:51	ないようでしたら、
0:11:53	あと午前に引き続き、次の別添の設計説明グループ 36 ページ目以降、
0:12:01	確か大橋さんが細かい点を確認したいっていう話がありましたので、
0:12:08	規制庁ハラ
0:12:10	1 度も原燃から説明いただいているので、規制庁から何か確認等あればお願いします。
0:12:18	規制庁大橋です。

0:12:20	確認をさせていただきます。38 ページ目ですけれども、
0:12:26	38 ページ目の
0:12:29	3 ポツのオフくらい基金。
0:12:33	屋内の機器配管の右側のところのその分類の考え方のところで、
0:12:38	一通と、四つポツがあって三つ目ですけれども、
0:12:41	重大事故対象設備の可搬型は云々かんぬんで場所を踏まえて、屋外機器配管等に分類というふうにあって、
0:12:52	それがある一方
0:12:55	39 ページの方を見ると、その屋内機器配管の中で、
0:13:01	SAのその可搬型冷却、水量系水量、
0:13:07	冷却水量、
0:13:09	形っていうものがあるって、38 ページ載ってるように、すべてがその屋外機器配管ではないということかと思えます。で、38 ページの頭で丸めて書いているということかもしれないですけれども、ここら辺は、
0:13:23	元のところですのでちょっとその記載を工夫していただいて、頭ではなくてちゃんと
0:13:28	うん。
0:13:29	分類を変えた方がいいかなという気はと思うんですけどもいかがでしょうか。
0:13:36	はい、日本イシハラでございますはい。理解をしました。そうですねこの文章の構造設計等として説明すべき事項は保管場所に対することだと、ということと、
0:13:50	あと何が一緒になるかというところで、説明する分類を考えようということで、外部ハザードを考慮することが必要であれば、屋外の機器配管でやる。
0:14:01	外的ハザードを考えなきゃいけないとあってあれば、屋内でいくのかな。
0:14:06	その辺のケース分けがあるんであればそれも全部わかるように記載を拡充していければと思います。
0:14:13	はい。
0:14:16	初めのところですので、あまり細かく書くのも違いますけれども、
0:14:21	ちょっと記載は工夫していただければと思います。
0:14:24	で、続きましてです。
0:14:26	続いてですけれども、40 ページ目ですけれども、
0:14:31	40 ページ目の一番下のひし形のところすけれども、
0:14:35	またの文章で、その個数要領等に係る事項については云々というふうな言葉がありまして、一方で 65 ページの方を見ると、

0:14:49	65 ページ目の、
0:14:51	※の 5 を見ると、
0:14:54	個数容量の説明等がないと。
0:14:58	ということで、また等に、
0:15:02	40 ページ目のその個数要領等にその意味がないのであれば気づいてもいいのかなと思うんですけども、いかがでしょうか。
0:15:22	はい。人間 0 社でございます。はい。ちょっとその辺は期待を抱き、整理をしていきたいと思えます。
0:15:29	今おっしゃっていただいた 65 ページでいくと、母数容量の説明においてはあって、あと 2 個数容量と共用はセットでやりますと、グループ間では言っているところと、上で言おうとしてる。
0:15:43	40 ページですかね、見落とし趣旨の文書との関係をちゃんと整理をして、等があるのか入れないのかというところは
0:15:52	記載を適正化していきたいと思えます。
0:15:56	はい。よろしく申し上げます。
0:15:58	あと 41 ページ目ですけども、
0:16:05	41 ページ目。
0:16:10	この 41 ページ目のグループ 3 の最初の 0 件で、大井で操作性という言葉が書いてありますと。
0:16:19	グループ三社操作性を説明するというふうにはなっていて、一方で、
0:16:27	71 ページ目を見ると兵頭
0:16:31	この文章が合っていないということがあってないのかなということなんですけれども、71 ページ目の方を見ると、操作性のうちその外的事象に関してはグループ内で説明をしていると。
0:16:41	するというふうにならっているのでこら辺はその整合をとっていただくと、冒頭にこの辺は全体見直すという話もあったんでその中でされて記されるのかなと思えますちょっと。
0:16:55	はい、二本木の江田でございますありがとうございます昨日の議論で操作性っていうのには、機能を達成するためのいわゆる設備側の操作という意味と、
0:17:07	操作場所の環境条件を確保するという意味幾つかの意味が含まれているので、そこが他で書いてある、隅括弧の説明とリンクが図れるように、
0:17:19	この記載を丁寧に書いていくのかなと思ってますはい。
0:17:23	はい。検討の方よろしく申し上げます。
0:17:26	続いて 71 ページ目ですけども、
0:17:31	これちょっと質問なんです。

0:17:34	確認なんですけど、この 71 ページ目でその 36 条の方説明していて、この中で、
0:17:44	試験検査性等の記載がないんですけれども、これは抜けですかね、69 ページ目の一番下見ると、試験結果制というのが入っていて、71 ページ目では
0:17:56	入ってないんですけれども、これは何か切れてしまったとか、
0:18:14	はい、二本木の石原でございます。でもあれでもそうするとそう。はい。36 条のこの枠には何を書く。
0:18:24	白青舎は、やっぱ 46 条って、だから 69 ページでも照らして 36 条入ってるから。はい。この試験検査性がタイミングと、
0:18:35	JFA 両法律ビジョン。
0:18:38	それを前に来なかったやつで残ったやつが 36 条だって 71 ページに入っているっていうことを担当整理して、抜け漏れがないようにしないと駄目なんだよね。
0:18:50	はい、日本のインダでございます。
0:18:53	はい、69 ページがだからそもそも黒字になってるのが間違いで、SA と D B のコラボの話だと思いますので、そこも含めて定義をさせていただきます。はい。はい。お願いします。
0:19:07	70 スズキ 72 ページですけれども、この辺は午前中のコサクが少し、ちょっと出すじゃないかという話があったので見直されるとは思いつつ、確認なんですけれども、
0:19:19	この
0:19:21	コマツは、
0:19:25	44 条の放出抑制で、
0:19:29	屋内機器配管というふうにあるんですけれども、これ何を想定しているのかって辺りをちょっと確認したいんですけれども、
0:19:38	仮に第 1、貯水槽を想定しているのであればそれは 45 条がかなというふうに思ったので、44 条の屋内機器配管って何を想定されてるのかって辺りをちょっと教えてください。
0:20:09	日本原燃志田でございますちょっとパックと確認する時間くださいはい。
0:20:13	はい。
0:20:17	あともう 1 点で違う点ですけれども、この 42 条のスロッシングによる漏えいに対する設計のところだけ、SA 事故の中では
0:20:27	建物構築物の齋木という記載がないんですけれども、
0:20:32	これはどういう整理なのかちょっと
0:20:36	確認できますでしょうか。

0:20:52	はい、日本イシハラでございますはい。そうですね、スロッシングそのものの抑える役目は、第6井清対策設備に入っている水盤と二田と言いながら、
0:21:07	トイレ自体の構造っていうのも当然前提で話が提示するとなると、建物構築物がいないと話が進まない可能性があるのではちょっと整理をさせていただきます。
0:21:17	はい、お願いします。
0:21:22	44条の件は今確認されているということでいいでしょう。
0:21:26	はい。今確認中です。はい。
0:21:48	規制庁かですねちょっとまだ係長でしたら都築
0:21:54	もよろしいでしょうか。
0:21:56	日本ヨシダでございます。一応今、確認できた場合には、可搬型のホースとかですね、の抑制設備で水をまいた時の放射線の測定をする機器とか、そういうものが屋内機器配管に入っているということです。はい。
0:22:14	わかりました。
0:22:15	はい。こちらでもちょっと確認します。
0:22:20	光岡ですちょっと今ほどあったスロッシングによる漏えいに対する設計の被水防護対策設備の話は、これは採録になってますけど見直されるっていう話で、
0:22:32	結局収まったんですけど、日本イシダでございますが見直すことも含めてちょっと整理しますというのをこないだおっしゃい申し上げました。ただですね言うてあるのは、今、原理原則共通順位のルールとして、
0:22:46	設備に対する設計説明分類は、1、
0:22:49	1対1対1に限ると、ということが前提で、これをしないと。
0:22:54	いろんな整理が出てきてしまって、交通整理も難しいところもあるので、ここで言っている、スロッシングによる漏えいに対する設計で期待をしている蓋と水盤を、
0:23:04	どっちを主眼にするかなということだと思ってました今のところは、溢水対策設備をシバキにしているので、再度くただ設備としては考えているのはSA設備の主従でいう側の、
0:23:17	漏えい抑制設備としてのエントリーだということでございます。はい。はい。社長そこは前の、一応議論をして、
0:23:27	だから、結局、昨日やったDBの要求事項表の中でも、溢水対策設備が外部グループ1に出てくるっていうそういうことですか。
0:23:38	はい嶺井者でございますSAの整理をジョイントするときには出てくる。
0:23:43	こういうことも、このパターンでいくとあり得る可能性はありえますね。はい。うん。はい。

0:23:55	はい、それだけですか。
0:23:58	はい。
0:23:59	伊勢長官、ちょっと引き続きなんですけど、ちょっと午前中にもあった話ですが、この
0:24:09	66 ページ目からの、
0:24:11	説明すべき項目が、設計、その前の表の中の隅括弧の、
0:24:18	中の表現ということでまずよろしいですよ。
0:24:23	はい。日本原燃志田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。はい。清長官、それで、以前から、この表現はどこから持ってきてるのかとかどこまでのラインを示しているのかっていうことを、
0:24:36	ずっとこう曖昧で、今日の午前中もそういう話をしたと思うんですが、まず現時点ではこの表現というのはどこから持ってきたものなんですか。
0:24:54	はい、宮城根井社でございます。現時点ではまだ、作業者の主観が入ってる部分あります。うちの設計方針を見て、これを設計すべき項目というふうに変換をしているので、その結果に抜けがないかと。
0:25:11	いう時の、抜けがないやり方をどう考えるかかなと思ってます。まだそこまでは整理しきれてないのが現状でございます。はい。
0:25:19	はい。規制庁形なので、今朝午前中のような話もずっとしてきたところなんですけど、結局やっぱり、
0:25:27	このメッシュ感というかですね、どこかからしっかり持ってこないといけないと思う。
0:25:33	んですね。
0:25:34	今や、DBとか井清でやってるような要求事項を載せていい。
0:25:40	1 週間が相当するのかなあと思うんですが、
0:25:45	何かそそういう
0:25:47	区分けのルールみたいなのは、おそらく必要。
0:25:51	だと思っていますので、その辺も含めて、ここ今度出す時は、この表現を持ってきましたっていうのと合わせて、結局ここで表現できているのはここからここまでですが、
0:26:05	わかるような何か工夫というのをお願いします。
0:26:14	はい、日本イシハラでございますはい。そうですね。
0:26:19	確かに、69 ページの火災を見ても、基本設計方針の項目からいけば、火災区画、区域区画の設定、
0:26:30	発生防止、影響軽減、
0:26:34	感知消火、

0:26:37	ぐらいしかメッシュが分かれないうのにさらにそれをブレイクできるっていうのがどっから持ってきたかってのは、そうですね。考えなきゃいけないですねやり方として。はい。
0:26:47	同じグループで説明するのはそこまでメッシュ分ける必要があるのかっていうところも含めてちょっと整理が要るのかもしれない。はい。はい、おっしゃる通りです。なんでここまで分ける必要があつて結局、その行き先は全部同じで同じことを説明するだろうもあるので、
0:27:02	聞いてから先ほど言ったその要求事項をどのように展開しているか、漏れなくCABRIなくを、ちゃんと、
0:27:12	いろんなところで整理している中の一つのメッシュ感でやれば、そこが一整合うと思いますので、それをお願いします。
0:27:28	はい、日本イシダでございますはい。承知いたしました。はい。
0:27:33	北医長から、私からは以上。
0:27:42	規制庁の荒井です。カー特になれば、ボックスの説明グループとすいません。はい。どうぞ。
0:27:52	町の馬淵です。
0:27:53	ちょっと私が先ほどちょっと話にあつたふた古野二つとかの話で細かい話してる通り、
0:28:04	要は抑制設備になると、屋内で何か何かその話に関連してちょすごい基本的なことを聞いてしまうかもしれないんですけど、
0:28:13	プールの蓋とかを、椎葉もすごいわかりやすいんですけど、例えば背他の対策設備でいうと、積とかで、
0:28:24	堰とか防水扉とかでもいいんですけどそ浴い、それらでそのSA時に期待してルームも期待する。
0:28:32	者たちっているんですね。それ、何かそういったものとの違いがちょっとよくわからなくて。はい。日本原燃石原でございます。定期とかでも、当然SA設備の一斉化の機能を、
0:28:48	守るための積ってのは
0:28:51	そんなにフラグを別々に分けて立てるつもりはなくてですね評価上は多分一体であるので、どちらでもどちらでもどの条件でも耐えられるものを作りますっていうのが前提だと思うんですが、
0:29:04	ここで言ってる、一番
0:29:08	だと、いわゆる井清で有責みたいなものの違いは何かっていうと、生理機能を期待するかどうかだと思ってます。SAの対象としての機能を期待するものは、
0:29:19	衛星設備としてのフラグを立てますので、そうすると、
0:29:23	いわゆる何だ、さっきの絵でいくと、

0:29:30	外部衝撃とかっていう、d理由防護対象施設はという主語に、SAになると、SA設備であるというフラグが立つと、その中にエントリーされるということで、
0:29:42	定期とかについては、SAにも当然それが機能してくれるっていうのは期待はするんですけど、SAの対策はちゃんと機能を期待してるわけじゃないので、SAのフラグはつかないということです。はい。
0:29:54	はい、社長山口です。確かにそうですね。会社としての機能っていうのは、確かにその積とかとまた何かレベル感は違うのかなと思っててやっぱり今言ったようなそのSM対象として機能を期待してる者たちは資料1だと。
0:30:12	主従の関係で線を挙げてるけどその積とかそういったものは、清野として挙げてないっていうそういうこと。はい、日本イシダでございます。おっしゃっていただいている通りでございます。そこは別に、だからといって何か主従関係で中で何か設備区分、
0:30:30	切れてるわけではないというのが蓋とかと違いかなと思ってます。はい。
0:30:35	わかりました。やっぱあれですね先ほど整理しますとはなってたんですけどもしその蓋、溢水対策設備としてそのプールとか、
0:30:45	古野太とかシバグループ域で出てきたとしても結構アノた提案内に収納するっていうそこだけなんで。はい。はい。人間ニシダでございます。そこだけです。はい。
0:30:56	はい、わかりましたありがとうございます。私からは以上です。
0:31:08	規制庁の荒井です。
0:31:10	もう少し今の点を、
0:31:14	クリアにしたいのは、SAである一定程度の水を保てっていう欲求がありそれに必要だから、蓋とかは、SA設備としてエントリーして、こういうふうな表記になるっていう理解なんですよ。
0:31:29	はい、日本イシダでございます。はい。かつ蓋とか止水版があることを前提に、
0:31:36	実行対象のチョッキ水位が多分決められているので、そういった前提でもう機能を期待してるということが整理になってます。
0:31:44	はい。
0:31:44	それで、SAの事象として、水も少し条件厳しくしてる部分があると思っていて、例えば、全周破断にするとかってなって、
0:31:57	そのの、
0:31:59	溢水量はDBよりも多くなった際に、それに期待する。

0:32:04	石とか扉とかっていうのは、SA設備にはあんま買う、直接関連しないの出てこないっていう認識なんですかね。
0:32:13	はい。日本原燃庄田でございます。はい。SAの対処に対する機能、
0:32:20	に直接関係しないと、機能を期待する設備を守るために必要な評価ではありますけど、直接的なものではないというところで線引だと。
0:32:31	了解。
0:32:33	わかりました。
0:32:35	そういう意味だと火災防護設備とかも同じような位置付けなのかもしれないですね。
0:32:41	すべて同じです同じような関係になってます。はい。
0:32:45	はい。
0:32:48	6人以上です。
0:32:50	オカ。
0:32:51	MOX側の80。
0:32:54	75ページ目以降とか、でも、
0:32:58	とりあえず80。
0:33:01	そうですね。79ページ目まで、特になければ、
0:33:11	それ超過ですと78ページ目のグループ3のところちょっと変更点があって、換気設備がこれ入ってきたとそういうことです。
0:33:23	はい。二本木ニシダでございます。はい。そうですね。オカ以前から追加をしたとすいません説明しないといけないんですね。排気塔の波及の話をここでエントリーしているというところで追加させていただきました。はい。
0:33:37	はい。政調会です。わかりました。水でこれは配当のための、磯木野笹原手塚。
0:33:48	これについてなんですか。12条。
0:34:10	ちょっと待ってください。
0:34:49	病院マネジャーでございます。はい。もともと、
0:34:54	あれですね記載としては、グループ2をご覧、
0:34:57	76ページの、
0:35:01	換気設備、3番の第12条eミツイ
0:35:07	Dグループさあ、磁力を代表にします。なんで1と6なんでグローブボックスとか、機械装置搬送設備を代表でやりますということでももとはグループ3のところに換気設備はいなかったの、
0:35:20	ここはこのフリー飛ばすときの書き方をここでかな、書いてなかったんですけど、この項目を足したことによって、

0:35:27	こういったものがここでもちゃんとキャッチアップできてますよということ を、追加しなきゃいけなくなったというだけでアノはイトウと何か関係が あって追加としてしたものではないということです。はい、わかりました。 はい。
0:35:51	はい。規制庁の荒井です。他、
0:35:54	特に本文、別添の説明グループ等のところで、
0:35:59	なければ、
0:36:02	次の資料 1。
0:36:04	の方に進みたいと思っています。
0:36:09	では 80 ページ目以降で、MOX施設の関連なんですけど、
0:36:19	具体的にはあれですかね、84 ページ目以降で、
0:36:24	見直した点、こういうポイントで見直しましたというところがあれば、原燃 側から説明をお願いします。
0:36:49	はい、西田でございます。
0:36:52	みろ。
0:36:54	はい。一つは 85 ページから、関係条文、六条ですかね、青のハッチン グになってる部分タテになってる部分これ施設共通でやるところと、
0:37:07	この表の中で、個別にフラグを立てるところを仕分けをもう一度ちゃんと して、バーになっているのは施設共通側で、共通的なものとして展開す るものを預けたものがバーになっているということでございます。
0:37:22	はい。あとは、
0:37:25	10、
0:37:28	10 条 9 扱いちゃったり、社長タオカ。
0:37:33	85 ページの機械装置搬送設備のやつは、シャッターの関係で、ファクタ ーがある設備資料 2 でも一部、青で追加しているものがありますけど、
0:37:45	シャッター関係で 10 条の閉じ込めとの関係を説明しないといけないとい うところをフラグを立てたと、いうこと。
0:37:52	あとは、
0:37:54	変更点のところですね、
0:37:58	先ほどの本文での考え方にしたがって、必要な項目に、どちらかと絞り に行ったということでございます。
0:38:07	はいあと、
0:38:11	令和なると。
0:38:12	運搬容器。
0:38:15	一般容器あれか、ピンのやつで、
0:38:18	引っかかったかなと。

0:38:20	あと、92 ページで容器のところに、16 条搬送設備の条文とリンクがとれてますが、
0:38:30	先ほど資料 3 かなとかでも説明した
0:38:34	容器と搬送設備が取り合っているところ搬送容器以外にも当然その品お父様がついているという構造が前提になってる部分もあるので、そのリンクということで追加をしていると、ということでございます。
0:38:59	ぐらいかな。
0:39:00	はい。あとは同じような変更で青野とってますが変更したポイントとしては以上でございます。
0:39:11	やっぱり、規制庁の荒井です。
0:39:14	資料 1 関連で規制庁側から何かあればお願いしたいと思います。
0:39:23	規制庁上出です。主な変更内容のところ
0:39:29	なんか本文で示した考えに基づいてって言ってましたけど、該当する本文って何ページでしたか。
0:39:39	はい、西原でございます資料一番です 26 ページですかね右下。
0:39:47	4 清潔下線が引いた基金からの変更点として基本設計方針等の設計方針、
0:39:54	仕様表、これに関係する部分の変更ということに着目して変更点をピックアップしたと、ということで、前回
0:40:07	あのさ養成レポートをふやしたとかですねそういう孔口の項目ではとても該当しないような言葉で書いてましたのでそういう視点で、ピックアップをもう一度整理したということでございます。
0:40:21	はい。規制庁管です。この一文を追加する等、平仄が合うのかっていうと、非常に疑問なところがあるんですけど、できるって言われたらそれ以上追及はしないんですが、
0:40:36	作業をする人たちって、まずその変更のありやなしや、
0:40:43	片方に既認可オオキも片方に今回の設計をおつきってということなんだと思うんですけど、名 2 見てやるんですか、仕様表美術家名伸びるのか、経産省みれば何を比較することになってますか。
0:41:01	はい。日本原燃志田でございます構造であれば当然図面を見ながら比較をして、どこが変わってるかということだと思ってます。仕様、
0:41:11	ここは変えたものであれば当然し状況との図面の見比べであったりということも含めてやると、ということです。はい。亀井さんおっしゃったようなそこから、
0:41:21	変更があるところ全部ピックアップした時にこの文章だけで本当に意図したものが抜き出されてくるのかっていうところの、作業者の
0:41:32	力量といったレベルと、

0:41:35	説明文の種ボリュームというかは、解説があつてるところだと思ふんですけど、
0:41:44	もう少しでも補足しないと、意図が伝わらない気がします。はい。
0:41:51	規制庁、大上です。あまりそちらの作業のやり方に口を出すのにもななくてな、何やってるか教えて欲しいなっていうところが一番おっきいところで今も、
0:42:02	その図面を見比べますって変更点があります。でも、
0:42:06	何なんだろう。それがすべて資料 1 の変更点に行くかっていうとそうじゃないんですね主な変更点と多分違うものがある、その考え方が、基本設計方針等の設計方針、あと仕様表にかかる構造等って、
0:42:22	言ってさらに何かふるいにかけてるような感じがするんですけど。この考え方がまずわかんないし、本当にその図面を見ってくれるのか、計算書全部見比べるのかってのもよくわかんないし、
0:42:37	ちょっとやってる様にイメージしにくいなっていうところ事故です。
0:42:45	はい、日本インダでございます。はい。ちょっとやってたおっしゃる通りね、変更点を洗い出してある程度とびババtheピックアップする。
0:42:57	それに対して、結局資料 23 を作りこんでる中で今やってる構造設計とかの説明に、結局はリンクするのかどうかっていうところも視点として入れて最終的に、
0:43:09	必要な項目を抜き出してくるということなんですけど、そういうやり方がまずはプロセスとしてどういう言い方をしているかがまず、
0:43:18	明確にしないといけないかもしれません。はい。
0:43:24	はい、規制庁オカベさん、まずそのどういうことやってるのか。
0:43:29	ていうのが、もう少し、本文なりこれについてガイドに落とし込むって話をするのかとかあれなんですけど、何か話が聞ければと思っていますので、その上で、
0:43:43	その次のステップとしては今日も耐震建物 0 一井が積まれていて、
0:43:51	第 1 回の時だ等耐震の変更点っていうのをまず、
0:43:56	01 で洗い出した上で対象の耐震でまたそれぞれの変更点をそこに投げたりしてたんですね。で、その体系も、この共通 12 が出てきたことによって、どうも変えたいようだ。
0:44:11	ということなんですけど、もともと耐震建物 01D 変更点と上げる時の時点で今 26 ページに書いてある時点ではなかったはずなんですけど、その辺の、
0:44:23	ずれも気になるし、そ、

0:44:29	あとは補足説明資料との役割がどういう区分けになっているかっていうところもよくわからない、整理をしなきゃいけないんですけど、まずはあれですね、
0:44:40	どんな作業、何を見て、どういう作業してるんですかっていうところを、明らかにしてもらおうのが違うかなと。
0:44:50	はい。二本木の伊勢でございます。まずは、おっしゃっていただいて趣旨アノ所、理解をしましたので作業をどういうふうにやっているかということがわかる皆様を、説明をさせていただくようにします。はい。
0:45:04	さらにその上でおっしゃっていただいた耐震建物 01 でもともと変更点を扱って網羅的に抽出をして、それぞれ個別の
0:45:16	補足説明資料かな、家FLIPっていくと、いうことをやっていた部分を、共通 12 と棲み分けをどうするかと言う点は、おっしゃっていただいたように同じことを、重複してやるのが、
0:45:31	いかが、どうかたと考えておっしゃっていただいている通りそれを共通順位に預けるというふうに、今回見直しをしてるんですけど、それが一対一で全部確かに網羅的になってるかっていうところも整理を進めたいと思います。
0:45:49	はい、規制庁同じです。また話していければと思いますけど多分全す、何かしらを比較して全部抜き出した変更点がもう 1 回出てきますこれは共通順位で話をしますこれは、耐震やら何やら、
0:46:04	個別の変更というところで、説明します。仕分けの考え方みたいな感じないんすそういう体系になるんですかね 1 回全部共通 12 で拾ってるのっていう気も。
0:46:17	しますがちょっと、
0:46:20	はい。はい。はい。さっきの整理を進めさせていただきます。
0:46:28	前回のやりとりもですねここに確かに表、資料 12。
0:46:34	何ていうんでしょう。
0:46:36	本当に変えたものを全部書き続けていろんなものを書いていたところが、本当にこれ施行日を、必要なポイントなんですかねっていうやりとりがあって、大分整理をしなきゃなっていうところではあったんですけど、今のカミデさんが言われた着眼点も含めて、
0:46:52	全体の作業をのやり方だったり、網羅性だったり、ところの整理も、させていただければと思います。はい。
0:47:02	はい、規制庁深見です。私から、資料 1 については、以上です。
0:47:17	規制庁荒井です他、規制庁側から。
0:47:21	資料 1。
0:47:41	はい。では資料 1 についてはほぼ、

0:47:46	生まれるこれまでのヒアリングでもし、議論とはなく、
0:47:52	何かに合わせて、
0:47:54	入れするっていう作業が発生していたというところですので、
0:48:00	両市については以上としたいと思います。
0:48:08	それでは、
0:48:13	続いて資料 2 ですかね。
0:48:18	それと別添上げてもいいか、資料 2 ですね。
0:48:22	資料 2 の、
0:48:24	185 ページ目以降ですかね。
0:48:37	で、
0:48:38	グループ 1 の各条文に対して何かあればっていうところで、規制庁側から確認をお願いしたいと思います。一度午前中に資料 2 の修正点等も、
0:48:51	いただいていますので、特段原燃から説明というところは、
0:48:58	求めないように求めないこととしたいと思います。
0:49:03	規制庁からです申し訳ありません資料 1 でちょっと
0:49:08	一気に行ってしまったんですが
0:49:11	135 ページ目の、
0:49:17	申請対象リストの今日、施設共通の方の話でちょっと 1 点伺いたいことあったんですがよろしいですかね。
0:49:26	はい。お願いします。水源の想定で、今回、
0:49:31	少し具体的に設備とか、
0:49:33	書いてきてるんですけど、
0:49:36	まずは、想定破損の方は、1 水源となる配管は、蒸気配管で強度確保していない配管だけになっていて、で、
0:49:49	下の地震の方は、
0:49:52	耐震性が確認されていない機器になっていいるんですが、
0:49:57	こってな、耐震性が確認されてないもので、水源から除外する。
0:50:04	ものの、
0:50:05	考え方ってどういう考え。
0:50:28	はい。日本原燃志田でちょっとだけ待ってください。
0:50:48	日本原燃瀬谷でございます 135 ページ下で言う子自身の方ですかね※ 2 で書いてある、ちょっとここも日本語うまくちゃんと書かないといけないなと思いつながらどちらかという今、
0:51:02	公明に振っている趣旨は、書いてある通りに成り立ってますね。設計として補強できそうだったらもう

0:51:11	Ssに持たせますと、=1 政権から除外できますということが前提で書いてる。はい。
0:51:19	はい、規制庁からです。そ地震側は何となくわかって、想定破損側の、
0:51:26	水源となる配管が、
0:51:33	おそらく耐震で持たせれば、ここ、
0:51:36	除外する配管になると思うんですけど、
0:51:40	耐震補強しなくても、想定破損元にならない。
0:51:48	人たち、
0:51:50	冷却水設備とか、
0:51:53	工業用水設備とか、ここって、全部が全部除外できるっていうその、
0:52:00	フラグというか、
0:52:03	は、ガイドなんかにある評価に基づいて、
0:52:09	全部外せますってそういうことになってるんです。
0:52:28	ちょっとだけ待ってください。
0:52:50	イノウエニシダでございますちょっと書くと、後で確認しておきます基本的にはおっしゃってたガイドに基づいて除外できるものは、除外をすると、その結果設備単位で一式で外せるということも含めて整理をした結果だと、いうことで確認をしていますが、
0:53:09	もう一度事実確認をしておきますはい。はい。成長カシマそのうちどこかできてるとは思っているんですが、多分、耐震側アノ自身はそんなは、それぞれの設備で、
0:53:22	補強したものとしらないもので、ちゃんと分けられてるんですけど、
0:53:27	その点は何か全部が全部こう、
0:53:31	評価によって外された。
0:53:34	ことになっていて、上記設備だけが、
0:53:37	応力、
0:53:39	評価で多分、ちょうど確保できてないってことが評価されたと思う。
0:53:45	ですが、本当にこんなに綺麗に分けられるものなのかなというのが少し気になった次第で、またどこかで説明いただければと思いますがよろしくお願いします。
0:53:58	はい。イノウエニシダでございますはい。承知いたしました。はい。この設備が出てくる。
0:54:05	行き会いに。
0:54:06	は、説明できる引間はい。
0:54:12	規制庁カセつすみませんでした。資料2の方。
0:54:16	お願いします。
0:54:24	規制庁荒です。185 ページ目以降ですかね。

0:54:33	はい。規制庁、網です。最初、
0:54:38	耐震が来るので一応話しておきますけど、あんまりコメントはなくて
0:54:44	ある程度は反映されたなっていうことと、あとは、ダメージがわかりやすいのか。
0:54:53	ちょっとあれですけど、
0:54:56	と。
0:55:01	ちょっと待ってくださいね。
0:55:07	207 ページとかにしようかな。
0:55:13	せ、
0:55:14	経営、
0:55:17	設計項目の考え方かな、のところが
0:55:22	資料 3、構造設計においても、
0:55:26	こういう視点で、構造を説明します。評価のところでもこういう感じで説明しますっていうのが設計項目の考え方だと思っ
0:55:37	換気設備なんかだと、会合でも説明しようとしているところだから、なるほどね感のある書き方になってるんですけど、耐震はまだ裏返しでしかなくて、何かとりあえず、
0:55:51	解析のところでも表、説明しますとか、グローブボックスの構造設計は資料 3 で説明しますかって、書いているだけなので、その辺りはまたブラッシュアップ、ブラッシュアップというか
0:56:06	資料 3、
0:56:08	がついている儀間、ここが、
0:56:12	多少軽い感じでもですね。
0:56:15	後ろを見れば、何を何を説明するのかっていうのはわかるのであまりこだわりのないと思えば、資料、
0:56:24	解析のところも資料 4 がきちっと出てくれば読めるかもしれないな思っていますので所感としてお伝えしておいただけなんですけど
0:56:35	この程度の記載感でも、いい可能性はありますと、ただ資料 4 かアノ早めに見えたなあというところなんで、その辺はスケジュールを
0:56:46	また説明してくださいということなんですけど、よろしいですか。はい。日本原燃池谷でございます。はい、承知いたしました。はい。資料 4 の、どういうふうにスケジュール感で進めていくかっての当然宿題になってますので、
0:56:59	それとの関係で、整理を進めますっていうのと、資料にも、おっしゃっていただいている資料 3 がついていけば何となくイメージは、紐づけて飛んでいけば見えます。

0:57:10	だから他のところの条文を、資料 3 見ながら、ブラッシュアップをしているところもあるので、平仄を合わせていけるようにしたいと思います。はい。
0:57:21	はい、規制庁CAMSあまりこだわりのあるところでもないし、特に評価モデル資料 4 もないまま、この書き方がこうだろうっていう気もないのでgooの整理を進めてもらった方が、
0:57:34	助かりますということです。以上です。
0:57:45	規制庁オカです。ちょっと資料 2 関係で他の条文のところ、十条の月先ほど午前中もちょっとあった 244 ページ目の、
0:57:57	SSS絡みのところでこら辺はいろいろ再整理されると思うんですが、
0:58:06	ちょっとよくわかってないからの質問なんですけど、SA設備って全くDBと全く同じように小コウアノ。
0:58:16	条文要求関わるということなんですか。
0:58:22	どれ、何の話、SD。
0:58:27	はい。
0:58:28	7、No.7 のSSSの追加されたところが、
0:58:33	IU条文って完全にDBの条文で、
0:58:37	DBに対して、SSSを考慮することが多分、
0:58:42	条文要求ではあるんですけど、
0:58:44	はい、殊、そこにひもづくものは全部Aになってたりあとガイドが一番気になっててガイド、
0:58:53	では、
0:58:54	何か、
0:58:56	何と見れますかね、田井元。
0:59:01	安全機能を有する施設で、例えば中に出てきて、何か、DB条件でSAのこと書いてあって、
0:59:07	何かそうです。
0:59:09	はい。失礼しましたアノですね。これ私が単純にサボって書きました
0:59:17	ああいう 010 かなを書いた時、
0:59:22	ああいう作ったときに、これ 1060 条の要求で 7 番ありますがこれと同じ方を主語が、なおなお、重大事故対設備並びについて書いてある文章が、
0:59:36	MOXでいくと 36 条にも同じ基本設計方針が言います。
0:59:42	それは、第 1 回の時にそういう整理をして、
0:59:47	いわゆるDBSA両方の安全性系の設備とSGP設備の相互影響みたいなものをそれぞれの条文でピックアップするというので、
0:59:58	やってみましたんで、そのグループ説明グループを、

1:00:04	今回でいくと、2、SA出てきますけど、そこで同じ日本語の主語がSAになっただけが同じような基本設計方針が登場して、
1:00:14	同じような展開をすると、とはいえ今回SG設備も、
1:00:21	特に換気設備、しかなくてあまりコラボもないので、相互影響も何もないかなというところではあるんですけど、という関係にはなってます。はい。
1:00:31	はい、規制庁ハヤシわかりました。だから36条の方でもちゃんとそういう設備に対してケアをしている中で、今回は少ないということもあって、
1:00:42	こっちの十四条に全部寄せて主語も、まとめてしまったというそういう整理なんですね。
1:00:49	はい。それがいいかどうかも含めて整理が必要だと思っておりますが、今のところそうなってます。はい。はい。
1:00:56	あまり知識がなくて、
1:01:16	と規制庁から先ほど言った品、すいませんちょっとページ数控えてなくて、搬送設備の品、
1:01:25	の貯蔵容器に対するケアは、資料2ではどこでされてますか。
1:01:38	はい。287ページかな。
1:01:44	287ページの2番のところで、もともと機械装置搬送設備とあったフラグの下に、運搬製品容器っていう設計説明分類を出してます。
1:01:58	これの構造設計見ていただくと、
1:02:03	なぜここ構造とするっていう、
1:02:06	設計項目の考え方で構造とするか、ウエマツが決めるって感じ。
1:02:12	江川はいすいませんちょっと揺らぎがありましたがかここでいう核燃料物質収納する容器等は搬送設備取り扱うことを考慮した構造であることを説明するっていうことを言いたい。項目を、
1:02:25	出してます。はい、規制庁若狭確認しました。これはグループ3で、構造自体は説明されるんですが今回担保していくところがあるために、
1:02:37	追加されました。はい。今回、この上の機械装置搬送設備の説明する時に、いわゆる、資料3の②のでもありました
1:02:49	品が当たっている品を持つ側が、搬送設備側で容器がそこに乗っかる、その品がちゃんと収納できるように穴が開いてるってことを前提に
1:02:59	転倒とかしないですよっていう説明をします。なので、連れ込みで大説明グループ1では説明をします。ただ説明グループさんでは実際どういう構造になってるとか、どういうことを配慮しているのかっていうところを、
1:03:12	及び詳細に具体的に、容器としての説明をするということで考えてました。
1:03:19	はい、規制庁オカです。

1:03:21	申請対象設備の場合には、容器は追加され 0 ないんですかこういう場合は、
1:03:42	はい、二本木西田でございます。今言われているのは、
1:03:46	もともと申請対象でも、Iオオキとしてエントリーしてるものもあるんですが、その話ではなくて、ナンバーツリーの申請対象設備に容器が追加されてないなと思って、
1:04:01	伺ったんです。
1:04:03	粉末缶自体が対応するものとして、
1:04:08	はい。はい。はい。すみません。ありがとうございます。そうですね。はい。主な設備のところですね、に対象に。確かにそうか。第 2 回の申請対象設備の 7 のところの、
1:04:23	中に設備が入ってないので、今回足したものを反映して要求を出しておきます。はい。はい、規制庁の場合はちゃんと申請対象。
1:04:32	押されてで、その説明が実際行われるのは、とそ説明グループの考え方の説明グループの番号のところ、
1:04:43	整理なんですよ。はい。はい。はい。はい。
1:04:51	彫像。
1:04:59	あ、規制庁かですね貯蔵側の容器が追加されたっていう認識で、
1:05:04	よろしいですか。
1:05:07	例えば 20 ページ目。
1:05:11	そうですね。収納するラックとかとの取り合い、
1:05:15	だよ。はい。容器の構造を説明する必要があるんじゃないかということで、追加をしています。はい。はい、規制庁サノそこは必要だと思っていて、今回追加
1:05:29	対象設備も、
1:05:31	ボワーン
1:05:32	ないないといけません。
1:05:35	別にしか入ってないのはい。そちらのケアをします。はい。
1:05:40	はい。
1:05:41	院長。
1:05:43	廃棄廃棄は特に変更なかった。
1:05:46	行きはいいの。
1:05:49	ところで、
1:05:51	今回、
1:05:53	いろいろ
1:05:55	何か、
1:05:56	出ません。

1:06:00	前か冷やで話題に上がった、機械の
1:06:06	受け皿の容量の話っていうのは、
1:06:10	今回、資料2の方にも反映されてました。
1:06:29	未曾有の日本原燃の石原でございます。受け皿の話でいくと今回出てくるのは、閉じ込めかなと思いましたが、
1:06:38	はい、清島海です。
1:06:40	ハラは閉じ込めて、容量評価みたいな量は1杯前提の容量。
1:06:51	インクとってないよ。
1:06:54	だから、あれだよ、今の整理でいくと。
1:07:00	グローブボックスの説明の時に、
1:07:04	前提になる設計があるんだったら、
1:07:08	こっちに飛ばすしかないんだけど、
1:07:15	要素原料って言って、量そのものが、どっちで決まってるか。
1:07:20	能力が復興で佐伯側で課されるかというところで1回あって、
1:07:26	私ども、
1:07:28	122 ページ目。
1:07:32	がそれに当たる。
1:07:34	アノの、
1:07:35	一番下について、
1:08:08	ニシダでございますちょっとリンクも含めてまだうまくケアできてないのでその資料の記載は考えますはい。はい。すいません。はい。よろしくお願いします。
1:08:29	規制庁カシマとちょっと換気とかでも関連するんですが、今回システム設計配置設計構造設計って順番を変えたところが、
1:08:38	青字にもなってるんですか、これ。
1:08:45	変更点は、あくまで足したものだけですね、雑誌下の方だけ青字になってて、順番を入れ替えただけの独断あの青字はしてなかったです。はい。比較して、
1:08:59	違うなと思ったんですがそこは、
1:09:02	バックでやった上で、青字で表現が変わったところがあったということです。
1:09:10	はい。
1:09:13	ちなみに、若干その説明のしやすさみたいな観点でこの順番の方がいいんじゃないかっていうふうにおっしゃってましたが、どういう意図をんな。
1:09:21	上流側っていうこと、条例だからということなんですか。

1:09:29	はい、乳井根井志田でございます設計を考えると時のコンセプト同士も付けていくか系統としての設計を考えつつ、
1:09:39	配置も含めた全体の構成というんすかね。こうやってそれを前提に、じゃあこの位置にこういう系統構成で置くんだったら、こういう構造になるよねみたいな、
1:09:51	施工改良かなというところも含めて説明をそういう順番でできればと思ってたところでした。はい。はい。自然な、
1:10:01	しましたので、
1:10:06	規制庁カセ 300 呉、40 までですか。私から、関連条文を含め、
1:10:12	とりあえず以上です。
1:10:19	はい。規制庁の新井です。
1:10:25	ドウツウしてちょっとお伺いしたいことが、
1:10:30	あるのはですね。
1:10:34	閉じ込めのところでもいいかなと思うんですが、
1:10:42	すいませんちょっとページを、
1:10:50	例えばですけど 238 ページ目。
1:10:55	一番、
1:10:57	上の行の中で、
1:11:00	閉じ込め、
1:11:02	ゼロイチっていう関連する個別補足説明資料っていうのが、
1:11:06	ここ出てきますっていう話なんです、
1:11:10	今までのヒアリングの中でも確認していたんことなんですけども、
1:11:16	今後資料 2 で、こういうふうに書いておいて、
1:11:20	資料 3 で、
1:11:22	具体的な構造設計として、
1:11:26	構造設計等として、書きしてください点と、
1:11:29	個別値ほ個別補足に飛ばす。
1:11:33	やり方。
1:11:36	ていうのは、どういう考えで決まってるんですかっていうのを再確認したいんすけど。
1:11:50	はい、日本インダでございますまずこの設計項目としてフラグを立てて資料 3 で説明している内容ってのは、
1:12:01	私が考えてることだけなので、それが合ってるかどうかは今後ちゃんと議論をしないと。
1:12:06	が、

1:12:07	設工認で添付書類も含めて説明をしていく、設計の内容をここで書いていると思ってます。結局基本設定方針の要求事項が達成できていることを説明するために必要な要素は、添付に書くんだと。
1:12:23	その添付に変えたことの根拠を補足する必要がある場合は、補足説明資料を立てて、展開をしていくと、ということだと思ってます。
1:12:34	気閉じ込めもそうです。負圧だったりグローブボックスのパネルを損傷しないようにと言って議事ある設計の説明をして、こうこうこういう考え方でこの子、
1:12:46	要求事項は満足してますという説明をした時に、背景にある呉規格を使った計算だったり、規格基準の規格の
1:12:56	数字なんかを使った、
1:13:01	何ですかね、下整理っていうかねそういうものをやるのであれば補足の中で展開をしていくといったものなのかなと。
1:13:08	またはその数字を使っていい根拠ってのはこういうところから来てますという考え方を補足するとかっていうことなのかなと思ってました。はい。
1:13:17	規制庁の新居です。そうすると、資料3の詳細、
1:13:22	展開表と詳細設計図面っていうところが、展開図面っていうのが、
1:13:28	申請書の
1:13:33	押せなんていうか、
1:13:35	作るための素材としては、あそこでテーブルに並べたっていうイメージでいて、
1:13:40	それで
1:13:42	今回設計説明分類で、共通的にいえるような、代表していえるようなところは、多分資料3の方で展開してると思うんですけども、
1:13:53	その差分っていうのは、おそらく出てくると思うんですが、差分は、申請書の方、
1:14:02	中で出てくるのかそれとも個別補足に飛ばすのかっていうイメージで言うところどっちなんでしたっけ。
1:14:18	はい、日本イシダでございます。その差分が正しく個別補足で限界することなのかなと思ってました。代表をした上で説明をしていてその代表性も含めて、個別補足の中で、
1:14:31	説明をしていくということも、個別補足の使い方としてはあるのかなということ、
1:14:38	そういう意味だと。
1:14:40	補足説明資料ってそういう差分を説明するような、
1:14:44	オノで、差分というか代表性を説明するか逆に言うと、代表性を説明するに、こういうほかのものがあるけども、

1:14:53	資料 3 に展開したやつが、
1:14:56	何ていうかチャンピオンなんですよとか、代表できますよっていうところを説明する。
1:15:01	目的もあり、あと
1:15:05	細かなバックデータを載せるっていう役目もあるってということなんですかね。
1:15:10	はい。日本原燃石田でございます。はい。そう思ってます。一つは今日午前中話題に出た岡さんからお出席いただいた、搬送設備みたいなものに、どんなものがあるってそこへ落下防止も含めた手当をしていると。
1:15:25	今回落下防止伝統コースとかのいろいろな措置を、設計上の考慮を説明するんですけど、その中で、対象に今していないウランを使ったものではどういったものがあるってという全体像を出すところは、
1:15:39	多分個別方策の中で展開をして、今回対象にしてないものも、実際、形状はこういうことを配慮してますよということも説明していくという、そこもサブみたいなものかなと思いますけどそういうのも、個別補足としてはありますし、
1:15:53	あとは、
1:15:57	案いうとカノウI内部発生したんですか。
1:16:02	他でいろんな設備の配置なんかを含めた全体像を示し、個別補足で示しながら、実際個別具体の内部発生飛散物を発生させないための
1:16:15	加害者側の設計ってのは資料 3 の中で説明をしていくと、ということかなということも、個別補足等、資料 3 の住み分けのところ、思いますはい。
1:16:28	はい。
1:16:31	規制庁新居ですけど、そういった考え方とあって、どっかに書くとかってあるんですかね。
1:16:38	書いてるとか、
1:16:40	補足説明処理はこういうものだっていうのは、見たことあるんですけど、
1:16:46	はい。日本原燃石田でございます。
1:16:49	共通録の中で確か補足説明資料とか添付書類、核の位置付けなんかは、解説をした、ウタっていうか、書いた人間等で解説した覚えがあります。
1:17:04	ただ実際今回共通上にはつくったときの、
1:17:08	個別補足とのセットで全体の説明を完結させるという意味の個別補足説明資料の使い方っていうか位置付け、
1:17:16	これはそうですね共通事業本部の中に何らか解析をしないといけないのかもしれないのでそこは検討させてください。

1:17:25	はい。規制庁の新井です。ちょっと毎回同じことを聞くのもあれだったらどっかに書いてあればいいかなっていう、その程度のコメントですねよろしく願いいたします。
1:17:46	規制庁の荒井ですが、
1:17:58	うん。
1:18:04	待ってください。
1:18:37	すいませんページ見つかりました 287 で先ほど、
1:18:42	方も関連するところなんです、No.1 って前回と比べて基本設計方針も少し書き直してる気がしたんですけども、
1:18:53	追って、どういう経緯で直したんでしたっけ。
1:19:22	ちょっと待ってください。
1:19:49	はい。日本原燃車でございます。これはですね 2ヶ所、一番のところはオオウチがあると思うんですが、
1:19:59	0 シャワー。この右側で説明しようとしてる設計法設計の適合性を説明しようとしている部隊の設計の内容と、
1:20:09	主語が、ミスマッチっていうか一対一になるような感じではなかったのでもそこを修正をしたということ。
1:20:18	あとは、ウラン粉末分析資料というところの青字になってるところは、もともと分析資料だけ上げてたんですが前回、先ほど補足をしました
1:20:28	ウラン粉末を使うウエキも人への影響という意味では対象にしていなくてところがさらに明確になるようにということで、修正をしたということでございます。
1:20:39	規制庁の李です。わかりました。二つ目については説明があったのは、一つ目で、主語は整合していないっていうところは具体的には、
1:20:51	どこですか設計項目のところなんですかね。
1:20:54	経営項目の考え方。
1:20:57	向は
1:21:01	今、設計項目の考え方の資料 3 まで来る当庫 0 全体はですね。
1:21:07	MOX 粉末、収納した容器等が対象になってそれを取り扱う搬送設備に対する設計を展開してます。
1:21:16	もともとこれ、
1:21:21	混合酸化物貯蔵容器、燃料棒を、
1:21:26	集合体等で書き方をしている実際の設計法設計の中で資料 3 に展開する事項等の関係で整理をしたということですね。実際に取り扱うものを具体的に、
1:21:38	何を対象にこの設計をするのかをよりわかりやすくしたというところで、もうちょっと考えますけど。はい。

1:21:44	はい。
1:21:47	そうですね。
1:21:48	あとは、
1:21:53	ここに絡めてなんですけども、
1:21:56	確かここで、
1:21:59	ここ等はある関係ないかもしれないですけど、
1:22:03	容量の必要な容量の根拠っていうのは、
1:22:08	どこで説明されるのかっていうところ。
1:22:13	個別補足説明資料の搬送 01 なんですか。
1:22:18	はい、日本イシダでございます。容量、取り扱うものと定格荷重との関係の評価は、資料、
1:22:28	4、
1:22:30	4 で書きます。その考え方なり根拠に、宇津井清菅アノ情報がある場合は、断層 01 の中でそれを説明するという事で考えてました。
1:22:42	わかりました一連の流れで、おおよそこんなんで手厚く補足するような形になるということで理解しますと、
1:23:13	規制率はあれですけど、オカは特に、
1:23:17	300、
1:23:22	50、
1:23:24	5 とかですかねまで、
1:23:27	参考も含めて 370 なのかもしれないですけど、
1:23:32	規制庁からですじゃ、ちょっと資料 2 の、その 341 から始まる紐付け表のところ少しわからないところがあったんで確認。
1:23:44	さしてください。
1:23:47	等、
1:23:49	今回追加された搬送設備の評価先ほどの話も関係してくると思うんですが、348 ですかね 16 条の 1 で、
1:23:59	これは代表として扱うっていうふうになっていて、で、
1:24:03	この代表性でどこまでの範囲を代表して扱うことになってるかっていうのをちょっとかがわせてください。
1:24:16	つまり、16 条の 2、4、5 で、0 になっているものすべてが小コウノ 16 条の 1 で代表して説明されるとそういうことなんですか。
1:24:43	OK。
1:24:45	と、すいませんまず日本イシダでございます。
1:24:48	大川さんの言われてるところが 0 は基本、
1:24:54	代表なので、今、対象は 1 個ずつしかないのそれぞれの条文の項目で、

1:25:00	それにそれぞれ登場するものに、当然 1 個しかないので全部丸で代表ですという説明を今してますと。
1:25:08	いうことで 16 条の 1 だけは評価があるので、黒丸になってますということで理解を私にしているんですけど、岡さんのご質問の趣旨が、間違えてましてはいるが、
1:25:22	そのほかのものに続くものがないかなと思って勘違いしてます。
1:25:28	その上に続くだけ。十四条なんかだと同じものがたくさんあって、黒丸一つだったのでちょっとそこを読み間違えてしまいました。
1:25:41	はいそうですねありがとうございます評価を含めてと書いてるところが評価関係等でクドウが出てくるということでした。はい。
1:25:53	で、あとそれ関連してなんですが
1:25:56	次のページの、
1:25:58	貯蔵のところも、今回
1:26:02	構造設計及び評価はそれぞれの設備に対して行われてこれ 3 カクウ代表以外になっていて、
1:26:09	これの代表、
1:26:11	ていうのが、
1:26:15	どれに当たるんですか。
1:26:31	はい。日本原燃石田でございます。
1:26:35	2 階とかわかるけど、はい。
1:26:39	あれか。あれは容器の中にその容量が入ってることが前提だからっていうのでセットでやるっていう、
1:26:46	わかりました。
1:26:50	ちょっと待って。
1:27:22	はい。二本木の 1 社でございます。難しいな。
1:27:26	えっとラックピットだなあと、容器の関係で必要な容量が入りますという説明をするときに、設計上はここにフラグとってる通り、ラックピットタダノそれぞれの容器が入るスペースの構造もありますし、
1:27:40	容器そのものの寸法という意味の構造も、関係しますと、
1:27:45	評価を示す際にですね、
1:27:51	それぞれでやるというよりは、ラックピットなので容器の寸法も含めて全体カバーして、必要な容量は要りますという説明をしたいというのがオノラックピットカガワに、
1:28:02	丸で黒になっている理由でございます。はい。はい。それはありました。だから横に見て行って、
1:28:12	さあ、このテーマ三角で、IP とターナーの構造で丸がついていて、それとの関係だけで代表っていうふうにして結局、

1:28:23	全部これやるんですねそれぞれの設備で、はい、関連性なんですけど前回その崩壊熱量とかに応じてある程度仕切り持ってもいいんじゃないですかね、話をしましたがやっぱりそういう、その境界の説明は、
1:28:39	おかしいところもあって全部、
1:28:43	いうエリアでございます基本設計方針分かれちゃってますし、数もそんなにべらぼうでもないですし、やはりそれこそ説明の仕方をパターン化してしまえば、
1:28:54	その数字が若干変わるだけみたいな話なのかなと思ったので、
1:29:01	普段爆撃みたいになってますけど、はい全部やってしまおうかなというところでした。はい。はい。成長管理、あと、
1:29:09	ここは
1:29:10	27 条の 10、
1:29:12	もうこれ本当にやるんですかっていうそこもちょっと気になったんです。
1:29:21	そ崩壊熱何ワットぐらいになりますか、っていうところなんです。
1:29:29	はい。これ日本原燃瀬谷でございます。これですね崩壊熱といえばちょうど要領なので、要領としてまずやるっていうのがこの十四条の、このページですね、オカイソダノロ。
1:29:41	他のページなんだ、21 だ。
1:29:43	349 ページの下側ですね、崩壊熱側が、青みたいに数があるのがこれ、7 番から 16 番まではどちらかというトラックの容量の話が、
1:29:56	そこになってました。はい。はい。はい。もう容量を確か本文上からで規定してますので許可で、
1:30:06	そこも含めて説明しようということでした。はい。
1:30:10	崩壊熱側は、これはどうされるんですか結局、そうすることになりましたか 17 条の 21 の括弧でいい。
1:30:21	はい。日本原燃石田でございます資料 3 での、ちょっとそこもこれ反映しないとわかんないはわからないかも
1:30:31	資料 3 データ社長崩壊熱とか 4 パターンに分けさせていただいて、大きくは部屋とグローブボックスが境界になるやつのパターンが二つでさらに、
1:30:43	給気口が上についてるやつ、呉と。
1:30:48	上についてるんだけど、吹き出し口が下になってるやつのパターンで、K4 パターン 2、2 ヶ月に 04 パターンになっているもののパターン化で評価をしようということかなと思ってました。はい。失礼します。その辺が知りたかったところです。ありがとうございます。
1:31:06	今回もその 4 パターンだけ説明して、
1:31:10	1 点、そこで類型と代表性を持たせない。

1:31:17	はい。はい、わかりました。はい。
1:31:38	規制庁からサトウ、351 ページの 20 条の 46 の低レベル廃液、これ先ほどの関係だと思っんですが、
1:31:48	結局、
1:31:51	処理能力と貯蔵容量は、
1:31:55	20 条でやって先ほど閉じ込めでやるって言ってたその漏えい。
1:32:00	野瀬関じゃなくてこの場合はあれですか、受け皿です。
1:32:05	は、はい、御説明入ります。
1:32:09	わかりました。何か。
1:32:11	いろいろ評価が追加されて、どの部分でどの評価が行われるのかというのをわかってればわかるのかもしれないんですけど、ちょっと今回見づらくなったなっていう印象があります。
1:32:24	ので、評価って、もうちょっとその、
1:32:28	何の評価を少しわかりやすくして欲しいなと思った次第なんですけど、
1:32:37	はい、与儀西田でございます資料 4 に向けて、評価の項目をまず資料 2、3 で網羅的上げた上でそれをグルーピングしていくと。
1:32:48	ある種類型していくっていうステップもありますんで、そういう中で分類していくさまで一旦全部評価の項目を並べてみて、どこでどういうことをやりますかっていう整理を、
1:33:00	できれば、今ご指摘の点に繋がるかなと思うので、整理を進めます。はい。はい、規制庁、よろしくお願ひします。
1:33:12	区切りましたが、352 まで私は以上なんですけど、
1:33:22	規制庁の新居です。
1:33:24	オカ。
1:33:26	特にございますか、資料 2 関係で、
1:33:31	資料 2 で確認したいところについては資料 3 にも細かく書いてある。
1:33:36	のでそっちの方がいいという方も、
1:33:38	いるかもしれませんが、
1:33:46	資料 2 関係参考 2-2 も含めていいです、363 以降のところ。
1:33:53	ちょっと個別補足説明資料等、先ほどの、
1:33:58	議論があった共通 12 との関係が、今回少し整理されてきて、午前中の話だと全部資料 4、パワーにかかるようなものが多いので、
1:34:10	個別補足説明資料は、
1:34:14	当会合までに出すかどうかというところもあったと思っんですが先ほどの搬送なんかだと、
1:34:21	搬送の説明が、

1:34:23	個別補足説明資料でも、同機構とか仕組みとかが説明されると思っていて、370 ページ目の第 16 条のところ、阿蘇 01。
1:34:34	ココウは、次の会合で構造設計を歌う。
1:34:42	前に出すんですか。
1:35:04	はい。二本木ニシダでございますまず共通の今資料 3 の②ですかねあれを大分、今回も拡充をしまして、
1:35:15	搬送 01 との、
1:35:18	役割でいくと必要なパーツをまず、資料 3 の②が 2、
1:35:23	ある程度各自放り込んで行ったというのがまず今の状態です。
1:35:28	プラスの細かい構造、機構だったりを追加で補足的に説明する必要があるものは、現在でも現状でも、乾燥 012。
1:35:40	必要だと思いながらも、会合での議論として、どういう設計なのかという説明するに足りる情報までは、資料 3-②が、今ある程度反映できるのかなと思って、
1:35:52	ますので、スケジュール的にも、今 16 だったつけ。
1:35:58	2、提出するかで直前になっちゃいますけどステップでいこうかなと思ってました。はい。はい。
1:36:06	ここ機構とかいろいろ書いてはいるんですけど前回確認したように、
1:36:12	搬送する位置に書いてあった機構なんかはもう店舗側に全部押し込んでして、そうですね、容量の設定根拠とかそういう、その評価側でいうようなものが、
1:36:24	残りましたというそういうことですよ。それとその廃棄も全部一緒ですよ。
1:36:28	どうですか。はい。同じですはい。はい、規制庁から、それで、今回追加された一番最後の行。
1:36:35	以上を説明。
1:36:37	に資料 3 にて説明する。
1:36:39	に、結構資料 4 が含まれていたり、何ならこう、
1:36:45	これがどこまでかかるのかという、その第 2 回における補足内容。
1:36:50	その個別補足説明資料までかかるのか。
1:36:54	それとも共通順位における説明との関係だけなのかっていうのはどっちですか。
1:37:12	はい。日本原燃瀬谷でございます。ちょっとそこは曖昧ですねはい。整理させていただきます。
1:37:20	通常こういう型書き方をする時は両開けてないので、直ちゆすぐ上にあるものが対象にはなるんですけど、
1:37:27	本当かというところも含めて整理をさせていただきます。はい。村長。

1:37:32	例えば案いうなんかだと、文の中でここからここまでは共通 12 の資料何ぼとか何か、
1:37:39	グループ何ぼで説明するとか、
1:37:41	そういうことが少し明確になっているんですが、
1:37:44	後ろに行くと、以上説明っていうのが、
1:37:48	書いてあるので、ちょっとその辺の書き方の
1:37:52	ルールというか、もうちょっとこう明示、どこからどこまでがここでっていう明示をしていただきたいなという印象でした。
1:38:02	はい、ありがとうございますはい、修正していきますはい。はい、規制庁から資料に沿って関係私から以上です。
1:38:14	規制庁カミデです。参考 2-2 の補足のところで、
1:38:21	何か関係する耐震もたくさんついていて本当に共通 12 等、関係するものを精査した方がいいんじゃないですかと。
1:38:31	言った割にはあんまり変わり倍がなかったんですけど、
1:38:38	その原点の今考えとして、
1:38:41	その共通中に今資料 3 まで一応出てきてて、次資料 4 ですけど、
1:38:50	やっぱりコウさんを大体見ましたねっていう時には、この補足の確認も終わって 19、資料 4 大体見ましたねっていう時には、地上 4 に関係すると言っている補足も終わっているっていうそういうイメージで、
1:39:04	言っているのか、それとこれとはまた別なんですよっていう話なのか、どういう感じですか。
1:39:14	はい。日本原燃石田でございます。正直、
1:39:20	私もまだ迷ってますもともと考えてたのは今赤嶺さんが言われた後側側です。
1:39:27	資料弘電社が資料 3 に必要なものは資料 3 の説明が終わるときには、個別補足も含めて説明が終わっている。
1:39:36	資料 4 も同じような展開で、考えてました。それは個別補足が、設計の具体を、説明するための補足的なものを、だから設計とある程度リンクをする。
1:39:49	補足だから、そういう整理、成立性とか関係性が成立するだろうなというふうにして、説明をしてました。現状体制以外のものはそれにほとんど当てはまると思ってまして。
1:40:01	耐震だけが悩ましいというか悩んでいるところです。正直そんなに直接リンクしないようなものもあるので、それは全然関係なくどこかでやればいいんですけどっていうのを、私の口から言うのもなかなか辛いなという気もしてて、悩んでたところでした。はい。
1:40:20	はい、規制庁幹事です。

1:40:23	うんそろそろを明確にしていけないとなっていくところなんで、話をしていくようにしましょう多分一緒に全部や、やる必要もない、ないし、やったところで多分、無理やりこじつけてやったって
1:40:38	混乱するだけなので、そういう意味で、ほぼ本当に必要なところと一緒にやりたいなと思い、思っていたので、精査してくださいとは言ったんですけど、
1:40:49	対応としてはあんまりっていう感じなので、
1:40:54	うんそうですねちょっと課題としてなんですけど全体、どう進めるかあと00 だって補足説明資料出したら、
1:41:03	ということなので
1:41:05	今まで共通中に、とにかくっていう感じであって、資料もやんなきゃいけないんですけど、この辺をいつやるのか、特に耐震だけの話、言いたいですけど、
1:41:19	これも課題として認識をして通して、考えていくようにしたいと思います。以上です。
1:41:39	はい。規制庁の荒井ですけど。
1:41:44	治療に関係他ありますか。
1:41:57	では
1:42:00	資料 3、
1:42:04	に行きたいと思っています。
1:42:07	300、
1:42:09	71 ページ目以降ですかね。
1:42:26	これも午前中に、
1:42:28	触れていただいた部分はあるので、こちらから確認するという形にしたいと思っています。
1:42:41	なので、371 ページ目以降で、
1:42:48	規制庁側から何かあればということですが、
1:42:53	まずは、私の方から、
1:42:57	新しくグローブボックスのシステム設計っていうのが、今回ついて、資料 3 の各括弧 1 の 1 というところで、375 ページ目以降に書いていて、
1:43:12	それで 377 に詳細設計展開表がついていて、設計広告はここは間違っていましたというところで直しますという話は午前中に、
1:43:23	ありました。
1:43:25	が、ここの説明目的というのをちょっともう少し教えていただきたくてですね、例えば基本設計方針では、基準適合性を茂呂に、
1:43:38	変えてるっていうわけではなくて、こういう、
1:43:41	設備が並びますよっていうところなんですけども、

1:43:45	ここを使わないと、後の流れが悪くなるとかそういう意図があるのかなとは思ってるんですけども。
1:43:55	物の流れを系統だって、
1:44:00	CMSっていう意味でシステム設計にしてるんだと思うんですけど。
1:44:04	をまず最初に持ってきた理由っていうのは何かあるんですけど。
1:44:16	はい。表現のイシハラでございます
1:44:21	を持ってきた理由なかなか難しいですけど、
1:44:27	構造設計とか理由、10条の3とかのですね、不安等を維持する、グローボックスみたいなものがありますよと。
1:44:37	グローボックスというところの構造設計ってのはこういうことを考えなきゃいけないんですっていう前提に、やはり、
1:44:45	グローボックスと取り扱うものって一体どんなものがあるって、これは系統構成上どういうところに物がいいのかということを中心に、
1:44:57	すべての話がスタートするのかなということを含めて最初に系統構成の前の是正の学校工程の流れみたいなものを入れて、
1:45:07	特に382ページのところで、外部から来るものも含めて、全体どういう取り扱いなのかっていうのを示したと、いうことでございます。それがシステム設計の
1:45:19	中の2ですねここが、全体としての閉じ込めの前提として許可のときも、
1:45:25	こういう取り扱いであることっていうのを一番最初に挙げた上でだから、その下に閉じ込めのいろんな要求が流れてくるんだと、いうことで文章、許可のときに大分これ書き直して、構成したので、
1:45:39	その意図に合った構成で、資料を今回させていただきました。
1:45:45	はい。
1:45:46	そういう意味だと、事前情報として、なぜそういう、
1:45:50	ものが必要なのかっていうところで、工程の紹介がないと、まずは首尾一貫した説明にならないだろうというところで、いろいろ展開表。
1:46:02	あとは、図面をつけていただいたとあっていて、
1:46:06	それでちょっと確認したいのが3、81ページの、
1:46:11	図の中で、
1:46:13	ウラン粉末は外部から取り寄せますっていうところが左側から書いてあって、
1:46:21	ちょっと先ほども議論あったと思うんですけど、粉末の流れっていうのが、

1:46:27	矢印で、原料粉末受払設備に行くのか、どこに行くのかっていうのが不明なので、ここは少し明確にした方がいいのかなと思ってんですけど、いかがですか。
1:46:43	はい、日本イシハラでございますがですねちょうどの関係の矢印があって、受けよくわかんなくなってますねはいアノ 382 ページにあるみたいな。
1:46:53	予備混合とか、技術課今後こちらに原料文学が行くので、それも含めた形で関係性がわかるような時にわかるように、記載を考えたいと思います。
1:47:09	はい。それで 382 ページ目の、
1:47:16	緑がっこみと赤枠囲みの赤枠というか、ピンクの破線なんですけども、
1:47:22	これの違いついていうのは、グローブボックス、密閉された容器の密閉された容器のグローブボックス等の中で扱われるかどうかっていうだけなんですよね。
1:47:33	はい、乳井瀬谷でございます。おっしゃっていただけてる通り、そこだけというかそれが結構そのあとの設計に効いてくるなということでその境界を示しているものです。
1:47:45	左上の酸化物の容器等グローブボックスの強化や、あと燃料棒とグローブとかの境界というところを示したものでした。
1:47:54	はい。
1:47:58	結構こういうところで、知りたいというか不透明になってる部分としては、
1:48:04	原料分マツオ最初入れると、グローボックス内に入れる時の、
1:48:09	ここのインターフェースみたいなのってどうなってるのかっていうのが、上の、
1:48:15	381 でも見にくくなっていて、
1:48:23	こう説明するところって何かあるんですけど。
1:48:29	はい。日本イシダでございます。先ほど午前中でしたカネオカさんの話で搬送設備の整理の中で、電力マツオどうやって扱うんですか。
1:48:40	結局この予備混合のグローブボックスとかの手前にいる
1:48:46	オープンポートボックスかなとかから繋がってここに来るんですけどまずは、その中では、外から持ってきたものを、オープンポートボックスに入れて、粉末缶に入れて袋破って、
1:48:59	ホッパーみたいなどこ入れて、あとは予備混合とかユキイチカワ本郷のところに流れていくというシステムです。それがどこで見えるかっていうとあるとすると今は、
1:49:09	搬送設備の個別補足の中で明らかにする方についてということかと思いません。はい。

1:49:16	はい。
1:49:17	要するに何を確認したかっていうと、閉じ込めのバウンダリを維持しながら入れるやり方っていうのは、普通にあると思っててそこが明確になってればいいなっていう、
1:49:28	それだけです。
1:49:32	はい。日本原燃志田でございます一つはTポートボックスとかで当たってるっていうのも含めてグローブボックスの境界は、
1:49:42	当然シャッターとか何とかで区切られてっていうのも含めて、当然米が形成されてるとというのが前提です。ポートボックスは当然話になった大戸の数は、
1:49:55	必要な感じで制限して、風速を維持するということも含めて取り込みの番台は維持するというのが前提で、全部設計が成立でということだと認識をしています。
1:50:08	はい。
1:50:11	そういう意味だと最初の、
1:50:13	混合酸化物貯蔵容器っていうのは、袋で1回包んで、
1:50:19	オープンポートボックスに入れるんですか、最初。
1:50:27	買う
1:50:30	今のは、
1:50:31	うまく、
1:50:33	どっちの話をして上の最初で、
1:50:37	今後酸化物貯蔵容器を再処理から来るやつなので、これ粉末缶三本立てに並んだやつが貯蔵容器としてワンセットで、どうですかねこの間、現地確認に行っていたいただいた労働を通して、
1:50:52	再処理側からやってきて、ちょうど設備に収納されます。そこから粉末缶を取り出して、うまく蓋開けて、
1:51:02	その粉末を聴覚本店ナカに流していくということです。はい。
1:51:08	はい。
1:51:11	粉末缶の方は粉末缶の蓋開けてからブルーボックス、
1:51:15	混合酸化物大井オオキがくっついて、
1:51:25	香港混合酸化物ドイ今野ちゃん段積みのやつの蓋。
1:51:31	頭側が閉じ込めの境界なので、
1:51:34	蓋を開けるときはグローブボックスをジョイントして、蓋を開けて中の粉末缶を取り出すところからグローブボックスの中でいく感じになります。ここどこかで、
1:51:45	どこで明示したとか、その設備は第3回、はい。はい。
1:51:50	流れがもうちょっとわかるようにした方がいいですかね。

1:51:55	はい。
1:51:56	ちょっと
1:51:59	再処理から持ってくる容器っていうのがバウンダリになってるっていう話 はあってそれをどこで開放するのかっていう開放の仕方っていうのが、 ちょっと不透明だなんて思ったってだけなので、どこでどこに記されてま すかっていうのを知りたかったわけです。
1:52:13	はい。日本原燃志田でございます。現状でいくと今この真ん中の流れて いく
1:52:21	黄色も含めた、まさしくメインルートが第3回の申請対象になってますん で、これはカトウでてこない線、あそこも含めてちょっと見える化はちょっ と考えたいと思います。はい。はい。はい。
1:52:34	そういう意味だと、382 ページ目の、
1:52:38	黄色く塗りつぶしているやつとか灰色とか、あと青とかっていう色使いの やり方っていうのも、あれ。
1:52:46	多分決めといた方がいい。はい。いっぱい人間ニシダでございますは い。ありがとうございます。はい。これまさしく普通の工程を流したときの メインの
1:52:57	設備系の話を黄色の枠にしていますけど、逆に今回の申請対象という意 味でいくと、貯蔵家が左側のフローでは出てきて、対象になって後は、
1:53:11	スタック乾燥ぐらい。
1:53:14	関東から多分申請対象ですよ。
1:53:18	右側が多分タテが出る対象になるみたいな話なので生成対象との関係 を、
1:53:25	わかるように、医療関連、
1:53:27	はい。はい。すいません。そういう意味だとスクラップ貯蔵設備とかも入 っていたので、スクラップの中で変わるのかなと思ったので、その辺も申 請対象設備整合が大井ように、
1:53:39	変えた方がいいと思いますのでよろしくお願いします。
1:53:44	はい。考えますはい。
1:53:54	規制庁の新井です。
1:53:57	続けて申し訳ないんですけど。
1:53:59	385 ページ目ですかね。
1:54:05	愛知設計の話で、
1:54:09	十条とじ込みの十条の-13 番のところで、
1:54:17	基本設計方針の中では、工程室、
1:54:23	漏えいした時のバウンダリになるっていう話と、
1:54:27	あと燃料加工建屋内にも工事できる設計として書いていってですね。

1:54:35	配置設計の中だと。
1:54:40	グローボックスを工程室に設置する設計とまで書かれているものの、
1:54:51	燃料加工建屋のお話っていうのがここで、
1:54:55	できていないので、
1:54:57	グローボックス工程室燃料各加工建屋の配置関係がわかるように、 ここは記載すべきなんじゃないかなと思うんですけどいかがですかね。
1:55:11	日本原燃石原でございます。
1:55:16	停止と、
1:55:18	建屋の関係といえますか。
1:55:21	城戸アリタナオカ前に燃料加工建屋内に書いてあるんで、工程室 と燃料加工建屋っていう関係が、はい。どうなってるのかっていうのを もう少し変えた方がいいんじゃないかなと思ったんですけど。
1:55:34	うん。
1:55:37	自明なんでいいですけど、
1:55:41	はい。第1回の申請の中でも建屋の申請をして認可いただいている、 そこには工程室がどこかも
1:55:49	添付図面上は出てくるので、そこも含めて、自明かなとも思ってまして、 一応図面上はあい設計の中で、
1:56:00	何ページか。
1:56:01	393と39434のところで青で囲っているところが工程室ですというのは 配置上は明示をさせていただいているところでした。
1:56:11	マスキングなんであまり細かいことは言いませんけど、はい。
1:56:15	はい。
1:56:17	了解です。
1:56:21	ちょっと、そうですね。
1:56:24	すいませんグローボックスのところまで入ってしまったんですけどもちょ うど2時間経ちましたので、
1:56:32	383ページあたりから、
1:56:37	また、
1:56:39	10分休憩した後に再開したいと思いますけどいかがですか。
1:56:44	はい。よろしく申し上げます。はい。
1:56:48	15時40分めでまた再開したいと思います。
1:56:55	録音を一時停止をお願いします。
0:00:00	録音再開しました。
0:00:03	はい、じゃあ続けて資料3の方で説明し、確認をさせ、進めたいと思 います。

0:00:10	少し飛ばしてしまったので 381 とかで、何かあれば確認をお願いします。
0:00:18	規制庁岡です。
0:00:19	ちょっと資料、
0:00:22	3 の、まず、
0:00:25	この
0:00:26	個別ではなくて資料 3 全般的なところの後にちょっとこっこの 381 とか行きたいんですが、まず全般論として資料 3 は、今回こう、
0:00:35	前回の議論を踏まえて、
0:00:38	結構この貯蔵、
0:00:40	貯蔵施設とか搬送設備とか、Gされたような図がたくさん出てきたと思うんですが、その辺の再整理の考え方という話でもらえますか。
0:00:54	はい。二本木ニシウラでございますはい。今回ですね、まず、
0:01:03	全体の枠組みとして説明した方が、説明が見やすいというか合理性があるものは、どちらかに球を預けるという形で整理をさせていただきました。
0:01:16	ちょうどだっけ。
0:01:18	ラックピットのところだっけという、
0:01:22	結構廃墟の位置なんかはもともとグローブボックスがニワものがあったりとかしてましたけど、場所、1ヶ所に集めてそこで全体説明すると。
0:01:32	ということで整理をさせていただいてます説明のあつて所合理性というかそういったものを意識したということです。
0:01:40	はい、規制庁からです。わかりやすくなって重複もなくなったんですがそのマージする時は、以前は二つのグループで、それぞれのところ、
0:01:50	作っていて、重複があつてしまったみたいなことをおっしゃっていましたがその辺のどういう考え方でこう、
0:01:59	ここは一緒にするとか、ここはどっちに振るとか、
0:02:04	その辺でどう、どういうふうに進められたんでしょうか。
0:02:12	はい、日本イシダでございますこれ
0:02:16	全体を見て去年カガワで、内容を見てですねここはまあでしょだどっちかどっちか全部集めて説明したほうが説明性が高いんじゃないかみたいなことを考えて、
0:02:27	作業側にお願いをしたいということでございます。はい。はい。それ 10 日ですから、その作業、2 グループから上がってきたものを確認し、側というかコントロール側で
0:02:40	ここはマージとかそういうところを調整しながら進めていったと。その時にぬ形とかないかっていうのは、

0:02:48	どんどういう観点という確認で、
0:02:53	担当してました。
0:02:57	はい。日本原燃清でございます事例という指示をした時に当然上がってきたものでもともと説明しようとしたものに抜けがないようになっていうところは、
0:03:08	元の資料と見比べも含めて採用でチェックをしたと、いうことございました。はい。はい、わかりました。そういう確認も、
0:03:18	してきた上で、しっかり
0:03:22	それぞれのところでどこで何をっていうのを明確化したということをつつて、理解しました。
0:03:28	わかりやすく、
0:03:29	見ましたので、はい。あの子、そのような作業を今後も継続していただければなと思った次第です。
0:03:37	で、あと 381 ページ目先ほどアライともいろいろ議論がありましたが、まず、フローは、今回グループ 1 のグローブボックス、
0:03:49	で扱うものがどこかということを確認するために、付けてきたということでしたが、
0:03:57	グループ 2 以降ではどういうふうに、
0:04:00	しますか。
0:04:13	はい。日本原燃イシタ様でございます先ほどの話で
0:04:19	まず全体的に流れがわかるようにというのとあとは申請開示の違いというのがありますし、
0:04:27	あとはもう、
0:04:30	久米グループの和気ではあんまり、
0:04:35	凝灰はないんじゃないかな、グローボックスグローボックスでもあるし、あんまり説明グループではあんまり協会はないのかなと思ってました。あとワイアとあれですね貯蔵との関係も含めた説明の、
0:04:48	これは経験はあるかもしれませんがどこまで絵で示すかっていうところですね、そこは検討させていただきたいと思ってました。はい。はい、わかりました。今回、
0:05:00	先ほど明示するって言ったのは申請開示で明示するといったのが審査会議ですね。はい。はい。はい。特に 382 ページのところがどちらかというと、
0:05:14	メインフローを示すためにもともと作ってるだったので、今回の対象申請解除の対象がわかるもの、医療分けも含めて考えたいということでした。はい。はい、規制庁がありました。
0:05:26	あと先ほどもちょっとありましたスクラップ関係は、

0:05:31	スクラップ貯蔵設備関係は、
0:05:34	今回は申請対象ですか。
0:05:40	はい、日本イシダでございます申請対象には入ってます。ちょっと示し方考えますいろんなところからスクラップに流れるラインがあるので、どちらかというところから、
0:05:55	メーカーの中のスクラップに行くラインがあるところを明示をして、スクラップ側の
0:06:02	メキの流れを書く。
0:06:05	でも、スクラップも全部バラバラか。
0:06:09	はいちょっと加工の方法で許可のときにも書いたのがあれも私書いたやつ、あんまりそれがいいのかってのもありますけどはい。ちょっと考えます。はい。
0:06:19	はい。それじゃわからずスクラップ先ほどスクラップ検討するっておっしゃっててスクラップに対しても米なのかなと私も思ってたんですがよくよく考えてくると、
0:06:31	コウ、
0:06:32	グローボックスで配慮するもので、スクラップって結構いろいろな形態があるので、
0:06:39	どういうふうに表現していくのかなっていうそのもうちょっとちゃんと、
0:06:43	明示していった方がいいのかなと思った次第だったんですが、実際のところスクラップ貯蔵だなんていう。スクラップ容器だけ。
0:06:52	になるんですか。
0:06:54	多分他の形態って何か入ってくるものってあるんでしょうか。
0:07:01	はい、日本イシダでございます取り扱うもの自体容器ですね、容器の中身が変わるといっただけです。はい。はい、わかりました。
0:07:10	結局、原料はⅡのところから呼び込むまでの1小村の踏まえて、プルトニウム富化度とカーが徐々に変わっていく。
0:07:20	その様とかあと粉体からペレットになっていくその様とかあるんですけど、結局はグループ長像設備として、一つの設備の中で、それが全部扱っているということですか。
0:07:33	はい。そういうことです。はい。はい、規制庁はわかりました。
0:07:37	はい。
0:07:38	じゃ、ちょっとその表現は382も含め、少し考えていただければと思いますので、
0:07:45	よろしく願います。で、あと先ほどもあったんですが、現状、浦の粉末が均一化今後、
0:07:53	一次今後の後にも、

0:07:55	使われると思うんですが、
0:07:57	先ほどそのホッパーに入ると、
0:08:02	ホッパに入れるだけでラインに流れるとおっしゃっていたんですが、
0:08:05	結局 1 事故の後のところに使われるらもう、元のホッパーに入れるだけで、
0:08:13	流れていくんですか。
0:08:39	日本原燃石田でございます。はい。
0:08:42	工程 09 と確かにこの間に
0:08:47	資料のブースみたいな工程があったり、あとはそこから容器に入れて、その容器が、
0:08:55	それぞれ呼び今後だったり危機通貨今後ですかね、に流れていくみたいなルートになるので、そこをどう示すかはちょっと考えたいと思いますはい。
0:09:05	はい。それではまずわかりました。とりあえず、あんまりその閉じ込め、
0:09:10	に提供するようなところという、この注意点みたいな観点で今、話してますのでそんなその工程を詳しく説明する必要はないと思ってるんですが、
0:09:20	そういうところを気になるとは、ことはあると思うので、そういう観点で少し説明いただければと思います。
0:09:30	と、382 まで私から以上。
0:09:35	はい。
0:09:38	規制庁新居ですけど、続いて簿価全体のところでなければ、
0:09:45	最初にグローボックスのところだけいきますかね資料 3 の、
0:09:49	460 ページ目。
0:09:55	までで何かあればお願いいたします。
0:10:18	規制庁の荒井ですけど。
0:10:21	399 ページ目お願いします。
0:10:26	399 ページ目の一番下の行の中の 10 条の 6 の、
0:10:32	構造設計のところで、
0:10:37	グローボックスの隅括弧のところで、
0:10:42	最初のポツで、
0:10:44	ブロックの艦隊はステンレスコウとC粉末要求落下または転倒により破損しない設計とするって書いて、
0:10:52	あるんですが、
0:10:55	大田の艦隊が落下衝撃に耐えるってことを示すように見えるんですけど、
0:11:02	そういったところも示すような感じになるんですかね。

0:11:17	はい。日本原燃瀬谷でございます。そうですねちょっとここは整理をさせていただきますおっしゃっていただいて重度の 6、許可の時もともと考えていたのは、
0:11:30	容器の落下、転倒によって、グローボックスのパネルが、損傷するような閉じ込め機能の喪失に至らないと、いうことを設計上は約束している範囲だと思っておりますので、
0:11:43	そこの関係でここで説明すべき内容は何かというところのスキップの当て方はちょっと整理をしないといけないかと思えます。はい。
0:11:52	はい。よろしくお願ひします。こういうのを説明するのであれば、詳細設計図面とかでも、ステンレス缶体の厚さとか、そういったところも、落下商品に耐えるっていう評価する旨も記載する必要があります。
0:12:04	ので、ちょっと上流との整合を合わせてこの辺は整理をお願いします。
0:12:12	はい、日本イシダでございます承知いたしました。
0:12:21	等、あとは、400 ページ目の最初の行ですかね。
0:12:27	負傷広報する設計というところがグローボックスに書かれていて、
0:12:33	グローボックスの歓待は、
0:12:35	構造設計のですね、グローボックスの簡単に内包する核燃料物質等による腐食を防止するということはあるんですが、
0:12:44	ここは
0:12:46	核燃料物質等による腐食っていう意味での、このハザードの大きさっていうのは何か見積もっていて、それに対してステンレスであれば大丈夫っていうところまでの評価をしているっていうことなんですかね。
0:13:14	はい。日本原燃瀬谷でございます。定量的な感じではないと思えます。
0:13:25	一般的な取り扱い物物の関係を考えたとき、ステンレスコウだったら大丈夫だという、それも先行施設とかのいろんな経験を踏まえてこういう実績になつてると思うので、
0:13:37	あまり何らか腐食性物質が何で、それに対する不足をどの程度考えていて、であればこのスペースを使ってれば大丈夫だというような設計の展開ではないかなと思えます。はい。
0:13:50	はい。はい。
0:13:51	それで、ライフオーざる、核燃料物質等ってそんな腐食性のあるものとは思えなかったんですけど。
0:14:00	はい。ないですね。はい、わかりましたじゃここはステンレス使うっていうところを言いたかったわけです。はい。
0:14:06	はい。
0:14:08	それで、あとは、
0:14:12	同じページですか 400 ページの 10 条の 11、

0:14:18	の構造設計の下から2行目のやつですかね。
0:14:23	漏えい液受け皿の話で、
0:14:26	想定される漏えい企業域の量というところなんですけど、
0:14:31	ここで、
0:14:34	必要なのって、除草等の構造も必要なのかなとは思っているんですけども、そこで、
0:14:41	その橋渡しをするための、
0:14:45	除草とかの話っていうのはないんですけども、
0:14:49	ここで説明を、
0:14:52	受けるっていうか、情報があるのかっていうのを教えていただけますか。
0:14:58	はい。日本原燃車でそれが先ほど午前中、午後、岡さんからご指摘あった
0:15:07	はい。そちら側の説明がなくて紐付けもできてないっていうのが前回の指摘の反映できてませんよねってやりとりがあったところだと。
0:15:21	うん。
0:15:25	音声途切れてしまって、
0:15:28	日本原燃志田でございます聞こえますか。はい、聞こえました。すみません午前中岡さんからご指摘あった前回、そういった、
0:15:36	受け皿の容量の説明をするための前提になるウエキアガワの設備の容量ですかね、そういった情報と紐づけてっていうところが、まだ反映できてませんねってやりとりがあったと思ってましたまさしくここが、その部分だと思ってます。
0:15:53	了解です。反映するという形では承知しました。
0:15:59	はい。あとは、
0:16:02	401 ページ目次の話で、
0:16:06	貯蔵の関係の基本設計方針の話で、その構造設計のところなんですけども、
0:16:14	前回は何か許容運動みたいなのを書いていたような気がしたんですけどそこって角度はなくなってい。
0:16:24	記載がなくなっていた、いるように見えるんですけど、60度ってどっかに、
0:16:29	行っちゃったんですけど。
0:16:33	円分ドイだけには入ってるんですけど。
0:16:49	はい。日本原燃石原でございます。
0:16:54	これから今グローブボックスの説明で、後に出てくるラックピット棚で確かその番号が、

0:17:04	さっきにも出てきて 17-21 だから、
0:17:09	667 ページですかね、ここで、
0:17:14	温度の話が出てくるで何でこれが、
0:17:20	この伝えてこの記載が違うんでしょう。
0:17:23	一緒だよな。
0:17:28	うん。
0:17:29	沖田ベッショは、
0:17:32	いや、
0:17:33	医長の添付が来た人なんだ。
0:17:36	で受けてるのが、667 ページの、十七条の 21 ラックピット谷川Dアノ運動の話を受けているという説明の展開を見させていただいてます。
0:17:48	はい。はい。
0:17:49	それで
0:17:51	具体的に、僕中度っていうところを許容温度と設定して、
0:17:57	ビニールバックの温度っていうのは、
0:18:00	確か書いてあって、どのような形で 60 度にしたのかっていうのが、説明がなされるものかなと思ってたんですけど、そこではあんまりしないっていう感じなんですかね。
0:18:13	この、あれですかね 401 ページで言う、添付書類の中に書いてある、ビニールバッグの耐熱温度 60 度 94 ずつっていうこの根拠っていうか考え方みたいなもんですかね。そうですよねビニールパック自体がちょっとこちら悩んでるところでありまして、
0:18:31	構成部材ではなくて、いわゆる設設備の中にあるものをIS搬入する時に使う、
0:18:39	何でしょう、ジグという場でマエダ、消耗品というのかな、ふうになっているところだとはいえ、想定される中で一番、いわゆるポリで、これ、
0:18:50	塩化ビニール河川管理として一般的に売っているものの耐熱温度って大体 60 度ぐらいが使用等で層厚。
0:18:59	基準にしているということです。他の部会でいけばもう、当然ながら 60 ドイも高いものが当然あって、その境界を、一番弱いところに預けというのが今の
0:19:10	説明の 60 度の根拠になります。
0:19:12	はい。新生対策設備でもないのどこでどう説明するかってところがなかなか悩ましかったかなというところでした。はい。
0:19:20	はい。はい。
0:19:22	それで、

0:19:24	その考え方っていうのは別にそこまで書く必要がないっていうイメージなんですかね。
0:19:30	はい、イノウエね舎でございます。市というと、その運動を設定するために構造何だか決まってるのであれば、構造設計で説明しますけど、どちらかというと、さっきの、
0:19:44	667 ページのところで行ってる評価の中での許容温度の設定の中で、その温度の設定の考え方みたいのを補足するという意味かなと思ってました。ぜひとしては、
0:19:55	わかりました。受け皿をそっちにするっていうところで整理いただく形だと認識しました。
0:20:05	グローボックスは、これ最後なんですけど、
0:20:09	424 ページ目で、いろんなどころへ出てくる、来てて、
0:20:15	だっていつも聞くの忘れてたんですけど、グローボックスの全体のモリ率の話が、
0:20:22	0.25 ボリューム%%パーアワー以下っていうところで、地震時とかにもうこのモリ率を維持するっていうふうにしてるんですけども、
0:20:34	これを確認するための試験の内容とか試験条件とかってどこで説明するんですか。
0:20:51	ちょっとお待ちくださいやるのは耐震の機能維持のところの資料 4。
0:20:59	基本予算で一応、はい。
0:21:03	うん。ここが一番つつ、
0:21:08	県、県のいろいろ
0:21:13	うん。
0:21:16	ちょっとリーダーの方はいかがですけど、
0:21:22	例えば 411 ページ。
0:21:30	の評価 61-1 は、今、
0:21:40	に係る確認加速度以下であることを評価すると。
0:21:44	言っていて、今ちょっと全体にうまくフィードバックかけられてないですけど、
0:21:51	ここに本当はですね、368 ページの耐震記念 33 っていうフラグを新しく仮版でつけてますけど、これが、
0:22:03	本当はこの右にいないといけないですかね。
0:22:06	方策として、この中で展開をしようということで考えてました。はい。
0:22:11	はい。その中では試験条件とか、実機条件との整合性とかいろいろなところは、
0:22:18	宇部って説明しきるっていうイメージでいいんですかね。
0:22:22	はい。日本インダでございます。はい。

0:22:27	というふうに認識をしてますはい。
0:22:30	はい。まず説明さされるっていうところは認識したので、
0:22:34	はい、わかりました。
0:22:37	グローボックス関係はとか、
0:22:42	よろしいでしょうか。
0:22:44	460 ページ目ぐらいまでなんですけど、
0:22:48	井清昭和から規制庁オカです。でしたら、ちょっと確認です。428、市江藤さんの 02 の方で、
0:23:00	ここで差分の考えということで今回少し具体的に帰ってきていただいたん。
0:23:06	ですが、その
0:23:10	例えば粉末缶が、
0:23:13	この搬送方向に向かって走っている一番。
0:23:18	左の図、
0:23:22	なんかで、この強度を有する品、高さ強度有する品とあるんですが、
0:23:27	ここ、ここって何か、
0:23:30	設計担保という角どのようにしてこれを担保して、
0:23:35	こういう感じですか。
0:23:57	はい。日本イシダでございます。実際ここにかかる、2 日ですかね
0:24:03	それを考えてこの強度が持つということを説明しようと思ってました。だから実際は、
0:24:10	共同強度を確保するための設計を説明しながら、その設計を前提に評価をして、
0:24:18	もちますということを答えを出すという関係で整理しようということ考えています
0:24:23	規制庁があそこまでちゃんとやるっていうことでしたらはい。
0:24:27	ありません。
0:24:32	で、同じような観点でら、今回その耐震時の、
0:24:36	貯蔵状態からの落下みたいなのところも、
0:24:40	補足されていて、
0:24:42	そこも結局評価でちゃんと担保していくんですか。
0:24:53	すみません、ページ数ってのは、
0:24:59	ちょっと待ってくれたね。
0:25:01	よう状態です。いっぱい書いてあった。
0:25:05	大学、
0:25:06	例えばですね 418 ページ目の、
0:25:10	1(1)aポツの最後のところとかに、

0:25:14	地震時における容器落下転倒の防止に係る設計方針について説明するとあって、
0:25:20	要するに資料3の①の方、多分よかったです、
0:25:23	こういうのも何か、どういうふうに説明していくのかなって前回、
0:25:28	コメントしてしまったんですけどどうやっていくのかなってのはちょっと気になっていて、
0:25:37	これは今のところです。すいません。貯蔵状態と、はい。
0:25:43	長ホウジョウ田井は多分猪ラックピットとなんで出てくる、圧倒波及の定義としては、ここでここでやると思わないので、あまり僕らしく、
0:25:55	これは今は
0:25:56	だからそこで、とりあえず含めて阪急のナカ後、転倒とかの防止の強度を説明しとけば以下同文。はい。同じ。
0:26:07	量減少でございます。ガイド、もしくはPとかで保持して転倒落下しないようにするっていう考え方共通であるとする、ここで説明しておけば、
0:26:20	他の設備に対しても同じだという整理ができるかなというのが現状ミツイかと思います。はい。はい。
0:26:29	決してここ
0:26:35	で、あとですね。
0:26:37	400、
0:26:40	六ヶ所。
0:26:41	たとかで今
0:26:44	を、
0:26:45	の辺りで、結局これが開いてる状態と閉じてる状態の時の、
0:26:53	ことを今回そのクドウ分を含め、と記載してあるんですが、
0:26:59	ですね、このブルーでおっしゃったかい状態の時のブルー
0:27:05	うん。
0:27:06	示されているエイトマンなカーのロック機構というのは、
0:27:12	これどうな、
0:27:15	出るんですか。開いてるとき閉じてるときに、
0:27:20	とどどうなってるんですか、もう普通についていて、とかそ、その辺がちよっと。
0:27:26	教えていただけますか。446の断面図とか、
0:27:31	て書いてあるんですが、
0:27:33	どうロックされてるのかとか、何かよくわからなくて、
0:28:00	はい、日本以上でございます。シャッター開閉446ページに書いてあるこの状態と、

0:28:08	あれですかね、445 ページのこの会医師てる状態だったりの関係、このソフトの五つの関係がわかるように、
0:28:20	位置関係を説明したらいいのかな、これは左側、右側についてちょっとあんまりリンクしない。
0:28:27	右はそアイス開いた状態のところだけを示した。
0:28:31	全体についてる。メール村長のグレーのところに、
0:28:38	規模が上がらない。
0:28:42	はい。ちょっとそこも、もうちょっとあれですかねわかりやすいように、結局はシャッターに取りつけるフレームの開口のところ、
0:28:53	のところにピンが入って、ロックされるっていうことがもともと説明したい構造ではあるんですけど、はい、わかりました。ちょっと機構って書かれるとどう、どうなのかなっていうあれって思った次第なんです。わかりました。今のですね。
0:29:10	はい。
0:29:12	あと防火者、または、
0:29:15	布田、普段へですよ。
0:29:19	はい、布田肥田。はい。
0:29:21	窒素循環のほうのシャッターもあって、
0:29:25	今もう、
0:29:29	はい。
0:29:31	他の普段は通常は閉状態が下限局ってか通常でした。はい。
0:29:36	はい。
0:29:39	C、
0:29:42	はい。
0:29:52	と、ちょっと細かい話なんです。455 ページ目と 456 ページ目の、
0:29:58	仕様表がぼけてて見えなくて、ちょっとそういうところは、またもう一度、
0:30:06	見ていただきたいんですが、よろしいですか。
0:30:12	はい。乳井梅田でございます。はい。
0:30:17	見づらいですかね。はい。ちょっと、ちょっと鮮明なものが、はい。最初のブレット。
0:30:27	あと、前回もあった 457 ページ目の仕様表で、この数値を出さないっていうのは、これな、結局何でした。
0:30:40	はい。マスキングだというのが理由です。はい。質問です。
0:30:46	わかりました何か。
0:30:48	ここに来て急にここに書いてる意味があまりないですねそうですねはい。
0:30:53	%。

0:30:55	はい。ちょっと考えますけどはい。はい、規制庁からありました。グローブボックス関係 460 万ですかね。私から以上で、
0:31:07	はい。規制庁の荒井です。
0:31:09	そしたら、グローブボックス関連で、ちょっと図として、ちょっと違和感のあるところを、明示的にぱつと言いたいと思うんですけど、440 ページ目で、
0:31:22	グローブボックス内に設置する遮へい扉っていうのがあるんですけども、
0:31:26	これの扉の、
0:31:29	開閉。
0:31:31	する方向。
0:31:32	同軸の位置とか、
0:31:35	あとこの艦隊と緑色扉に白い隙間が開いてるんですけど、これ実際に開いていいのものがどうかとか、そういうところを少し説明をお願いします。
0:31:56	飛び方で、
0:31:57	行っていくから、
0:32:00	左手が、
0:32:02	前とか、いや、
0:32:05	ちょっとあの開閉は物資を何とか頑張りたいと思います。あとは遮へい扉自体の構造ですね。
0:32:16	ペラテラダの方ではなくてオク力があるので、そこを迷路構造にしているところをどうやって、ずれだあらわすかですかね。
0:32:27	ちょっと何とかなんのかな、
0:32:32	4 日作業でやる、どうかなと。
0:32:36	だからこの 9 っていうところの、シャフト軸とグローブボックスとこの艦隊との間の閉じ込めのところだけを説明したいか、遮へい扉のところにグループ 4 でやりますっていう、
0:32:50	行動自体は、
0:32:51	はい。
0:32:53	ことと対象物を明らかにしてはちょっと今回の説明のスコープがどこなのかっていうのをちゃんと明確にして説明をしていきたいと思います。はい。
0:33:04	はい。お願いします。
0:33:08	続いては先ほど防火扉関係で 445 ページ目で、
0:33:14	レールってあると思うんですけど、

0:33:18	このレールと艦隊の接合状況ってどうなってるのかって、どっかに示してありましたっけ。
0:33:25	このレールの支持部ってどうなってるのかっていうのを知りたいんですけど。
0:34:03	はい、米屋でございますちょっともうちょっとわかりやすくします。
0:34:11	446 ページの右側の上の段の右側ですかね一番見え、これがレールの取り付けで、コアケーシングって簡単なのか。
0:34:23	老木シャッターのクレーム。
0:34:27	この緑だよ。はい。この
0:34:33	両左側の、
0:34:36	枠ですねこれがさっきん 445 ページの緑の移動になってちゃった取り付け物。
0:34:43	ここの取り合いがこの 0 車輪レールがきて左側接点ありますけどここはVか溶接。
0:34:52	溶接、
0:34:54	平岩ユキ、
0:34:55	0 自体は多分溶接で多分このウエダVか、そうすつと、
0:34:59	いうことを優先すると、ちょっとそこの締結の仕方を、この 446 ページの右側の図で、もうちょっと具体的に書きたいと思いますはい。
0:35:11	はい。お願いします。
0:35:15	大分詳細化されてきてわかりやすくなっていたんですけどちょっと落下防止とかいろんな観点で、どこが支持部なのかっていうのがわかればいかなと思っておりますのでよろしくお願いします。
0:35:29	北井委員。
0:35:30	ていうか、4、457 ページですかね最後の方の、
0:35:37	漏えい器受け皿。
0:35:40	がここにありますってところなんですけど。
0:35:43	この赤枠囲みだと、全部ありますってなってる本体指示がない。
0:35:51	本を連結してるように、
0:35:55	見えてしまってますね、実際、
0:35:58	グローボックスも、一番左側、
0:36:02	と真ん中と右側、真ん中と右側連結されているように見えるんですけど左側へ、なんか少し演技されてるような形で、漏えい受け皿ってどういうふうにくっついてるんですか。
0:36:31	はい、日本インダでございますちょっと書くのか超え方がちょっと乱暴だったかもしれませんがはい。これはねで繰り入れている通りの単位になります。左側と右側の連結部分で二つで分かれています。

0:36:43	ということで、増益イケダとしては、今株価って途中で切りされてますけど、この形状に合わせた赤枠にしようかなと思います。はい。はい。
0:36:53	そういう意味だと、漏えい検知ポットっていうのが、穴がちょっとポコッたってそこで止まってるというんですけど、左側のやつはないように見えちゃうので、書きます。はい。
0:37:07	はい。
0:37:16	あと最後は、458 ページ目で、
0:37:24	黄色い容器と白色の容器って何か違うんですかね。
0:37:31	それぞれ何を示すのかっていうのを説明していただきたいと。はい。これは説明書きを加えます。黄色が、
0:37:41	ちょうどこの蓋です。遮へいの方で、中に入ってる白いのが容器です。で、この装置でハンドリングして左側に持っていくのは面白い容器部分になります。
0:37:52	ただ容器を取り出す際にはこの黄色い遮へい物も当然この今、異議ある通り、隣のやつに載ってますけどこういう形で取り扱ってナカの要求を取り出すという流れになってます。
0:38:05	はい。
0:38:06	そういう意味だとシャフリングだっけ。
0:38:09	コウ遮へいウタ。
0:38:11	とすれば、重たいような気がしてて、
0:38:14	横に積んだときに、転倒しないのかどうかっていう観点も必要なのかなと思ってんですけども、上に進むときにそういうラッチ機構みたいなものってあるんですけど。
0:38:35	隣の黄色い蓋の上に、その遮へいぶたをさらに乗っけていいような報道を、
0:38:41	になってるんだと思うんですけども、そこは落下防止対策として、どういうケアされてるのかって知りたいっていうだけなんですけど。
0:38:50	はい。日本原燃瀬谷でございますちょっと事実関係確認して、とはいえこれをどっかに持ち運んでいくわけではないのでこの上で動いてる分には、パネル等も遠いのであまり影響はないかなと思いますがこの構造として、
0:39:05	上に置けるようにくぼみがついてて、
0:39:10	重ねるようには構造なってると思うんですけど、その辺の事実確認して記載の整理もしていきたいと思います。はい。はい。
0:39:20	重量物がどの範囲かっていうところの前の面談でも、ヒアリングでも聞いたところだと思うんですけども、それに、はい。入らないような非常に

	軽いようなものであればそこまでケアが必要なかったかなと思うんですけども、ちょっと事実関係を後で教えてください。
0:39:39	はい、承知いたしました。
0:39:41	はい。
0:39:42	グローボックス関係、すいません長くなりましたが、他、何かあれば、
0:39:58	では続いて、461 ページ目からの換気設備に行こうと思います。461 ページから 617 ページ、3 ページ目ぐらいですかね。
0:40:12	で、
0:40:13	確認したいと店頭あれば、規制庁大田よろしくお願いします。
0:40:25	規制庁岡です。
0:40:26	藤。
0:40:28	もつですね。
0:40:33	資料 3 の方、②の方に行ってしまうんですが、
0:40:38	521 ページ目。
0:40:46	ここなんか、工程室排気ダクトと書かれていてここって、どこを指しているんですか。
0:41:08	はい、日本イシハラでございます。でもこの排風機の緑の枠の利用も全部、排気ダクトです。
0:41:17	この青い線で下書いている部分この範囲が工程室排気ダクトが工程室排気設備に繋がっているダクトのラインになります。はい、わかりました。前ページの工程室排気ダクト、
0:41:32	のところに調整弁が、
0:41:37	小コウやって、どういう、
0:41:42	ふうに運用するというか、ど、
0:41:46	ところ、この開度みたいなもので、
0:41:50	負圧維持を
0:41:52	設定するとそういうそのフナツのアノ。
0:41:55	強さを設定するっていうことなんでしょうか。
0:41:59	はい、日本イシダでございます。普通の建物でもそうですけどあの施設でもそうですけど、全体で必要風圧必要な風量を合算して、オオモトの配布域の振りを決めて、
0:42:13	あとその経路ごとに流れていく、風量自体は現場で風量調整ダンパみみたいなので、最初に調整をして負圧の値も決定をしていくと、ということなのでこの段階で調整をして多分、
0:42:28	これは最初にウタダ固定して、そのまま運転になると、いうふうな感じかと思ってます。はい。はい。財津。倉沢わかりました。
0:42:39	ですね。

0:42:43	541、すいません、ちょっと。
0:42:52	崩壊熱除去のところ、
0:42:56	貯蔵する。
0:42:58	1235、5行目。
0:43:01	貯蔵施設名の貯蔵量及び貯蔵する核燃料物質の形態を、
0:43:06	であるんですが、携帯ってこれ、どんなことを表現した。
0:43:10	どうですか。
0:43:28	カラーふうん。わかったようわかったけどわかりづらい。
0:43:34	携帯の中には粉末、そういったものの携帯と呼んでいるんですけど、
0:43:41	とはいえ、ここ粉末でも多分、富化度が違ったりするものを全部込みで、
0:43:48	語っているような気がするので、携帯って言葉だけで片付けられるかなってのはちょっと疑問が残りますので整理を進めたいと思います。はい。すいません。その範囲がわかればでも、やっぱりちょっと不足してるかなと思って。
0:44:01	でも聞いたところでしたので、
0:44:05	不足なくというか、条件がちゃんとわかるようにお願いします。
0:44:10	で、あと552、ちょっと飛び飛びですいません。これは結構今回、その対応なんかでも説明しようとしてる。
0:44:18	ところだと思んですけどちょっとわかりづらくてですね。
0:44:22	例えば、フォローとかハシモトが、これメンテナンススペースがはしごとかフォローになるんですか。
0:44:36	はい、柳下でございます。
0:44:41	何でしょう。あのバツテンみたいなはウンカイというのは、スペースの話をしてるんだろうなと思います。あと梯子は、そこに行けるというルート、
0:44:54	がありますよということだと思ってます。
0:44:57	その辺の書き分けの、してるつもりではあるんですけど、もう少しわかりやすくしないで、実線で囲ったものっていうのは何を意味していますか。
0:45:11	あれ、誰かかぶってる。
0:45:16	大丈夫かな。
0:45:17	ここをハウリング。
0:45:22	道の端のところは、上の緑の説明でいくと必要に応じて橋も、
0:45:29	野瀬でのそこに行きますよというルートがあるという説明ですね。
0:45:35	はい。成長発生その他数値、困ってるのもあって、だから意味合いが違うんですよねそういう意味で書き方は、
0:45:46	まだ不足してるかなってところは
0:45:49	あれ、何か励ました。
0:45:51	ウチャマエミ、

0:45:54	アリマ、
0:45:56	いや、絶対そっちの声。
0:45:58	そういうこと。
0:46:01	今 1 個。
0:46:06	それで書いてあるところはスペースの話なので、それがわかるようにと いうことで書き分けます。
0:46:12	はい。肥後政調会でして、
0:46:15	だから、この都度説明したこのフィルターの保守性の上で書いてあるも のが、
0:46:22	右側の、
0:46:25	箱型枠型にしているところは、そこまでたどり着けますよっていう足とた どり着いた後のメンテナンススペースはここですよ。で、箱型の前にあり ますよ。
0:46:38	あって、密封交換型の方は、
0:46:44	これはもう図前のところに、
0:46:48	そのフィルターのところ、
0:46:51	1200mmですかねちゃんとスペースをとってますよとそういうことを意図 したんですよね。はい。ここもそうですねもうちょっと下を作るとすると、メ ータースペースと書いてある左側のフィルターの、
0:47:06	基礎ボルトってありますけどここが多分床面がその下なので、床置きに なってるやつなんであとは高さっていうアクセスを考えるためには、メン テナンス性ってスペースがあればいいという説明になってるというふう に思ってます。
0:47:20	はい、規制庁からわかりました。で、前回まで
0:47:25	交換型と枠型と一緒に扱われてて、箱型が別途みたいな感じで何か整 理してたと思ってたんですが、それは今回そのメンテナンスへの説明を するために何か、
0:47:37	こうやって寄せたとかそういうことなんですか。
0:47:40	資料 3 のまず 1 か何かかなと思ったんです。
0:47:54	あれですよ今言われてる構造設計は言ったわけだから分類をそこで 説明してる分類が何か一対一になってないからってところですか。 はい。
0:48:05	いいですか。
0:48:06	はい。ちょっと整理をしますけど、メンテナンスのことを考えるとあまりあ のタイプ、限定してもやること変わらないので、ということかと思えますけ どそこでの抜け漏れがないかっていうところも含めて整理をします。は い。はい。

0:48:22	大城。
0:48:23	お願いします。とりあえず観光ゲーム
0:48:34	規制庁の丸井です。
0:48:36	神吉で、
0:48:39	自立関係の確認として、
0:48:42	どちらかっていうと、物の整理とかじゃなくて、内容の確認をしたいと思っているんですけども、
0:48:52	471 ページ。
0:49:00	添付書類の詳細設計方針の欄で、いろいろ風量の計算をされていて、具体例出すと。
0:49:11	Bポツのほう提出ってところの、
0:49:14	両各行Bのところ、
0:49:19	分厚い時に必要な風量っていうのが、計算されるってところなんですけども、
0:49:26	ここで言うところの、
0:49:30	風量の中で、
0:49:35	9 を、
0:49:37	小文字の 9 を通気量を出すっていう話だと。
0:49:41	思っているんです。
0:49:43	けど、
0:49:48	まず漏れ量と通気量っていうのは同じなんですか。
0:49:53	より埋もれるような計算はって言ってるんですけど。
0:49:56	理由は通気量で下になって、
0:50:11	はい。有名者でございます。同じですので言葉を分ける必要もないのでそこは合わせに行きます。はい。はい。それでさらに不可解なのは、9 の下の α と思うんですけど、多分何かのケースだと思ってるんですけど。
0:50:27	何かこの説明が漏洩量ってなって、
0:50:30	漏洩量っていうのであれば、
0:50:33	次元は続けようと同じようなものかなと思うんですけど、そういうタイプでもないの、ここが何か変じゃないですかって言うところ。
0:50:41	なんですが、
0:51:02	はい、日本インダでございます。これ多分あれだよねヒラノ扉とかの列に書いてあるそのタテ分の守り率の漏洩量かを書いてんだよね。はい。
0:51:14	合い下げるとおかしいんじゃないかっていうのはどのポイント、えっとですわね。
0:51:19	一番上の式だと、 $Q = \alpha$ の Δt ってなってる。エンドウ。
0:51:27	PASCALをかけてるので次元が同じっていうのは保険じゃないですか。

0:51:32	だから急場のリメンジョが足りないんじゃないっていう気はしない。
0:51:43	良い。
0:51:51	はいちょっと確認しますはい。すいません。はい。αっていう手順かの定数定数なのかなと思ってそれを2にしているっていうのは何かJISの規格から持ってきてるのかなと思うんですけども、ちょっとそこは正しい表記をお願いしたいと思います。
0:52:14	あとは、小コウ、
0:52:17	アノコウ提出。
0:52:20	の漏れ量を計算するときに、
0:52:23	下の方の図で、まず出なくて文章で汚染区分、C3とCの境界に設置される建具は全部で17ヶ所存在しているところで、
0:52:35	おそらく扉とかがある部分が17ヶ所っているところで、
0:52:42	燃料加工建屋の
0:52:45	当工程室のバウンダリになるところがそういうところがあるっていう話をして、その漏れ量を計算していると思うんですけども、
0:52:54	実際は工程室、
0:52:58	カラー
0:53:00	グローボックス。
0:53:05	の中に入ってぐらいもあるわけですね。グローボックスは、工程室が注記するラインもあるので、そこを漏れ率として考えない理由ってあるんですか。
0:53:15	もう漏れ率が漏れ箇所か。
0:53:27	日本イセでございます関係の設備としての負圧維持のための風量を設定するときに、どこまでのファクトファクターを考えて、
0:53:37	やる必要があるかっていうところだと思うんですけど。
0:53:40	協会は結局、工程数の外とコウペースの業界、グローボックス'の多分協会で決定をして、その体積に対して、
0:53:51	必要な風量をどんだけ見積もればいいのかってところが多分計算の根拠だと思うので、
0:53:59	あんまり考えないでね、そこで逃げていくのは、
0:54:06	だけで、
0:54:09	あと軒ミチコフローバックサノ回帰量で多分計算2種あり得るんだよね。
0:54:15	うん。
0:54:18	ちょっと計算の仕方として特に違和感はないんですけど、
0:54:23	はい。結局その位になる部分は工程室のグローボックスの排気設備の、

0:54:31	負圧を計算するときのインディクとして考えるものに多分カウントされるので、そちらで、
0:54:37	やっつけばいいんじゃないかなという気はするんですけど。
0:54:40	はい。それが上の方に確か書いてあるんですね。はい。これの月京括弧Bでは、必要なファイル量 80.9 で余裕を持たして、134.7 にしますって言ってて、
0:54:54	それで 134.7 っていうのは、工程室から引いてるわけですよ。
0:55:04	鋼鉄からです。
0:55:07	そうすると、工程室から、
0:55:11	漏れレベル料っていうのは、
0:55:15	ご提出外っていうよりもグローボックスの方に出てくる量もあるので、
0:55:20	下の先ほど言ったところの中には足し合わせなくていいんですけど、
0:55:28	うちがね、
0:55:32	だからGBの人がんな、内側に入ってくる分の給料が、
0:55:38	でもそれだと差っ引いたの。
0:55:40	ウノ下がるもん。
0:55:41	それも見たり、
0:55:43	それも見込んで、合わせのことにならない。
0:55:52	一方、ミナミ、
0:55:54	うん。逆に多分今阿井さんが言いたいのは、多分これ全体の体積イメージ化から、影響を考えて、
0:56:04	体積にみあった奉行で炉圧に行くんだよね。
0:56:09	終わったときに、
0:56:11	引っ張ったとしても、グローブカセ逃げていく空気がこの量があるとする
0:56:18	この分をあらかじめ笠間市して売りをカウントしておかないと、必要なふうにはならないんじゃないかって、多分、
0:56:26	いうことなんじゃないかなと思うけど。
0:56:29	うん岩相んですよね多分。そうそういうイメージで言いました。
0:56:39	でも、
0:56:48	うーん。
0:56:50	いや、それが多分、結局全体のバランスだから、全部が全部多分ふわっといいですよって答えを持ってきて、'も配っていいしね期限ね。

0:57:01	それで必要な風量を出すんだよね。それが、体積等、多分入ってくる量との関係で次へ関係するんだよね。その中に出てく方が出てくるっていうと言いたいのはグローブボックスは1、
0:57:15	工程室内ん様が聞かなきゃいけない体積が変わんないから一緒だろうって言った。
0:57:22	うーん。
0:57:25	ちょっと考えます。はい。どう、どういう説明をしたらいいのか、それが正しいのかどうかちょっと確認をします。はい。はい。
0:57:33	そう。お願いします。
0:57:35	会議設備は、以上です。
0:57:38	オカなければ、
0:57:51	そうしましたら、
0:57:53	換気設備はいろいろと、
0:57:57	設計項目とか持たしていただいて前回の会合から、
0:58:01	評価まで一貫してやりますっていう話で、
0:58:06	ほぼほぼいいのかなとは思っていて、
0:58:09	続いて、
0:58:11	610、
0:58:14	4 ページ目候補。
0:58:16	ですかね。
0:58:22	機械装置搬送設備の資料 3 関係で、
0:58:27	これは構造設計のところだけかなと思うんですが、規制庁側から何か確認等あればお願いいたします。
0:58:35	はい。規制庁岡です。まず、629 ページのところに、
0:58:43	シャッター、先ほどの防火シャッターじゃない方のシャッターを追加いただいて、
0:58:48	先ほどもおっしゃっていただいた通りその平時が常時経て、開くときのメカニズムと、搬送物、受け渡して閉じたっていう。
0:58:58	ちょっとメカニズムを変えて、
0:59:00	手で、
0:59:01	空気、
0:59:02	AとB断面のところで空気が、
0:59:06	押し込んで、シャッターを閉じて、空気を抜いて、
0:59:11	シャッターに、
0:59:13	閉じ込めの余裕を持たせるという、
0:59:17	ふうに、

0:59:18	何か午前中か何かに説明を受けたような気もするんですが、多分そういうことなんですね。
0:59:26	はい、イノウエニシダでございます私の説明もつかなかったんですけども多分、シールになってるところですね、シール材って書いてあるところをナカが、
0:59:36	Aの気密閉止状態が、青が塗りつぶされて、次気密開放状態になると。
0:59:49	黄色がへ避けてるようなイメージでこれらの中の空気が抜けて、この製材がつぶれてる感じになっているというところが、多分開会と塀の時の状態の違いと、
1:00:02	ということです。はい。はい、規制庁笠野キクチ
1:00:06	というところで、空気と窒素ってあるんですが、
1:00:13	どっちもこう使う。
1:00:23	はい。日本原燃車でございますアノナカのグローブボックスの雰囲気に合わせて使うものを変えているということのようです。はい、わかりました。
1:00:33	だからこれで閉じ込めする。
1:00:36	搬送物がちゃんとそのはレールの上で渡るっていうところも後の方で、
1:00:43	ちゃんと説明、一貫して説明されてたので、
1:00:47	はい。確認しました。アトベンの方 630の方、
1:00:51	なんですが、これの回転は、これ自動で、
1:00:57	ですよ。
1:00:59	回転させるメカニズムも自動で
1:01:01	あるですよ。
1:01:11	あれ、連動と指導なりは、それぞれ増えても全部自動でもう手動でもできるってのは、結果、いや、どっちか、どっちか。
1:01:22	電動のパターンと手動のパターンがあるようなのもともとすいませんこの330の絵を作り込んでもらったときに、首藤はここで言っている。
1:01:32	右側のグレーのところの上が会計する映画アノ線が書いてますけど、この上にハンドルがついてるような意味になってます。
1:01:43	成長がこれもハンドルが書いてあるっていうことなんですか。それを最初書いてくれたんですけどパターンがあるって言われたんで、消してもらってるか。はい。はい。わかりますかね。
1:01:56	あと、
1:01:58	閉じ込め性能を発揮している状態、来ると回転して制御棒が、杉浦すいません、燃料棒が通過している時、

1:02:09	のシール材はずっと同じ状態アノなんです。前回そのシール材と穴の位置関係がちょっとよくわからないということだったんですが、椎葉さん、アノ弁。
1:02:21	のどころの周りにあって、浅井という、
1:02:28	はい。はい。ボール弁弁の周りを、これもちょっと立体入れ替えタオカ海田という話ですけど、っていう感じになってますね。弁体を。はい。はい。すいません。わかりました。
1:02:41	ちょっとそこっでもうちょっと書くことができますかその気になったのはやっぱりそのイセ燃料等が通過してる時のシール材の状況ってどうなってんのかとか、何かその辺が、前回もわからないって質問
1:02:58	右と左であんまり経済自体は動かないので状態は変わらないんですけど、はい。
1:03:04	その変わりが無いということを今回、頑張っけて叩くシール性が見やすいようにオカコウしてきたということで、はい。はい。わかりました。
1:03:14	はい。
1:03:15	阿藤 632 で、今回、
1:03:19	荷重の説明をされていてその代表としてB。
1:03:24	の、
1:03:25	八本済みですか、と記載されてきたんですがこれ、
1:03:30	一番重いということで、サンプルとして出されたということです。
1:03:39	どういう理由ではい。はい、日本インダでございます
1:03:44	MOXの学校施設で作り燃料としては一番最大のものを挙げてます。はい。数値管理一応これ総則では、全部の取り扱うものの中を挙げた上で、これが最大でやってるのが見えるようにはしようと思ってます。はい。
1:04:00	はい。わかりました。だからそういうその代表、今後説明されるもの代表性とこの資料3の②の説明されるものっていうのが一対一になって欲しいなっていう、
1:04:12	意図でのコメントでしたので、そういう配慮って他もされてます。
1:04:20	はい、二本木西田でございますがどちらかというと、
1:04:25	対象物が少なかったりするものもあるので、パターンとしてあるものを上げてるっていうのは、現状ですかね。
1:04:35	フェーズアノ2とBで、違いがあったりするっていうところでこういったケースが出てくるのは逆に言うと、レアケース、今回の場合レアケースな気がしたんです。はい。はい、わかりました。その辺までちゃんと
1:04:48	整理された上でのっていうところに入って、あと搬送の落下一層、
1:04:57	転倒は、これは前回まで補足説明資料に書いてたものが全部、

1:05:02	こちらに移動したと先ほど説明ありましたがそういう認識でよろしいですよ。
1:05:08	はい。大丈夫です。はい。はい、規制庁ハヤシてさっきもあつたその 637 のチャックのところなんです、このマスキングってどこの部分なんですか。
1:05:25	具体的にここですみたいなのは、気をつけていただきたいんです。
1:05:44	はい、日本原燃瀬谷でございますちょっと図面から聞いとつてるところもあるんで、マスキングにしていますけど、
1:05:54	どこどこが持っているのか。
1:05:57	うん。これは上から書いてある。
1:05:59	このかっていうのは、
1:06:01	わく火曜日、
1:06:03	これはもう、そしたらもう、あとは皆さんの心が、
1:06:08	はい。ゴコウで何とか駄目じゃない。
1:06:12	はい。頑張りそうです。はい。橘田です。わかりました。そこは、の方ということをお願いします。で、あと、640 ページの、二重化を明記しましたという、おっしゃって、
1:06:25	いただいてたんですがこれ、
1:06:27	ちょっと幅があつてで片方を切れた時にガタンてならないかっていうことが気になっててのコメントでしたが、そういう機構ってありますか、片方だけが切れたときに、斜めになるとか、
1:06:40	何か搬送物に影響を与えるようなことってないかっていう。
1:06:44	これなんですか。
1:06:51	はい、日本インダでございますが
1:06:57	線の二重化をする時ってあんまり形とか消えたから搬送物に影響があるようになっていう構造にはしないのが普通の気もしてるので、そういうところはないと思ってますけど。
1:07:08	そういった配慮も書いた方がいいと。はい。成長させ野瀬コウアノ当然そうなると思いつつも、
1:07:16	二重化しているその理由であるので、一本破断した場合でもちゃんと保持できるっていうところに繋がる。
1:07:25	部分なのかなと思つたんですがその機構ですね。はい。
1:07:31	機構というかあれですよ。この構造が、重量が適正状態で維持できるとか、だけどマーケ 1 本分でも流量が負荷として耐えられるとか、いうことで受けたことはちょっと説明を
1:07:47	拡充したいと思つます。はい。規制庁加賀ですよろしく申し上げます。そうですね。

1:07:53	643 で、今回もう少し充実していただいて前回はあったんですが、
1:07:59	燃料棒自体は 4 メートルの落下高さであれば大丈夫ですっていう説明をずっとされているんですが、これって何か間、
1:08:09	評価等で担保するんですか。
1:08:26	日本原燃瀬谷でございます。これ自体は許可で話をしていることを前提に書いてますので、許可で何かつけたんだっけ。
1:08:37	宗課長。
1:08:38	決めたら、
1:08:40	どれで、定例資料です。
1:08:43	既許可だよね多分国会で言ってないから言ってね。
1:08:48	援護でいい。ちょっと書いてるだけじゃない。
1:08:54	ちょっとエビで確認して、どこかで説明するすべを考えます。はい。はい。室長集合体も同じ。
1:09:04	ないとやっぱちょっと何か抜け落ちた感じ。
1:09:09	ケアをお願いします。真木君間のさ、評価書があれば、そのままつけていただくというので結構です。
1:09:16	あとは、650 とか 651 とかで、今回
1:09:25	シャッター等でグローブボックスが分かれるようなところのコンベアの配慮というのを書いていただいて、
1:09:32	これって、
1:09:38	何かこの 651 の下の絵だけだと。
1:09:42	ナカ型ってなりそうな印象があるんですが実際のところその脇にテールがあったりして、
1:09:50	ちゃんと
1:09:51	進むとは思いますが、
1:09:54	この感覚って具体的にどういう、
1:09:58	考えてっていうその定量的なものってあるんです。
1:10:18	規制庁からちょっとわかりづらくてわかります。すごい。はい。はい。はい。はい。実際の寸法の関係みたいのこのがかなり多分、
1:10:31	実際の搬送場に対する隙間が大きくなっているところが実際どんな関係なのかっていうのをもう少し付加すると、イメージが伝わりやすいのかなと思います。
1:10:43	この絵のまま行くと確かにおっしゃる通り方ってのはいいそうですね。これは相場みたいになんぼぐらい。
1:10:50	340、隙間が 5 ミリ。
1:10:54	もう、345mm の関係だろうな。
1:11:00	10 分の 1 を筑波だよこれ。

1:11:03	はい。ちょっと実際の関係分がわかるようにいたします。はい。はい。お願いいたします。
1:11:15	659 ページ目、これ、前から、
1:11:19	あつて、今回、回転速度とかいろいろ書いてきていただいたんですがそもそももう、なんです、このメカニズムがやっぱりちょっとわかんなくて回転機器としてど、
1:11:30	どこが回転機器でその、
1:11:33	ハザードになるところなのかとか、どういうふうに動いて回転がの恐れがあるとか、その図の方がちょっとわかんないところなんです、
1:11:45	構わないですか。
1:12:13	ちょっとお待ちください。
1:12:41	はい。日本原燃石田でございます。ですね 592 頭、593 ですかねちょっとマスキングラフで、中身は細かい話はしませんが、
1:12:53	592 に言ってる左側にこれはもうさっきの言ってる感じになってますこの、これは松木南出なケーシングの中が、次のページの赤枠の中です。
1:13:07	ここが羽根です。
1:13:12	はい。
1:13:15	で、この流向について原動機がさっきの絵になっているところで
1:13:23	これも何。
1:13:25	手書きではね返ったらマスキングなんない。
1:13:31	書かない限り、
1:13:34	さっきの 659 ページもこれ、図面そのまま使ってるから赤枠ない。
1:13:40	これは俺が手書きで書いてます。
1:13:45	そうするんだよね。
1:13:48	もうちょっとポンチ絵化すればいいだけなんだよね。この中に金がいま すってイメージが書ければ多いので、じゃあ、加古か。
1:13:59	それで、結局、特にここだけ飛ばないようにしなきゃいけないお金が飛ばない。そのために抱え展望をするためのこのゆ連動機だと、いうこと なんだよね。
1:14:09	ていうのがわかるようにしようか。
1:14:11	はい。
1:14:12	ということにします。はい。はい。清調査役その対応で結構ですので、よろしく お願いします。
1:14:19	甲斐伴層は、私からは以上です。
1:14:28	はい。

1:14:30	要は、
1:14:30	町のアライですけど、
1:14:34	641 ページ目と 640。
1:14:38	2 ページ目で、
1:14:41	以前からも聞いている話なんですけども、
1:14:45	結局
1:14:47	一番左の方の図で、ガイドピンから外して、
1:14:52	収納パレット。
1:14:55	収納パレットから、
1:15:00	オカんだな。
1:15:02	に移す際に、外部ガイドピンってどうやって外すんですかっていうのを、 知りたいんですけど。
1:15:10	はい、日本原燃石原でございます。
1:15:14	何て言えばいいんでしょうね。この落下防止金具ってついてる両脇のあ りますよね。最初この大水色台乗っかってるやつが、
1:15:27	終えてきて、その接点がですね落下防止角につけられたら、下全部フリ ーになるので、そのあとはそのまま水井オダ吉谷下げれば、
1:15:37	全体的にはそのまま手前に抜けるという感じになってます。
1:15:44	ちょっと一体的に書かないと難しいなと思いつつも、はい。
1:15:50	両脇に押さえがいて、
1:15:54	上からこう、真ん中に差し込んで、下に下げると、そこに金具がいてそこ に両脇押さえられて、そのままずっと下にオガせば、そちら側に物が付 けられるという意味。
1:16:07	わかりました。要するに落下防止金具って様子見にしかないっていうイ メージなんです、そんなイメージ。はい。はい。
1:16:15	そう。そうすると、一つ目の二つ目の疑問は、多分わかりやすく観点で は多分こういう立面図じゃなくて上から見たような、
1:16:25	図があるとわかりやすいかなっていうのと、
1:16:29	あと
1:16:31	中のあれとか、
1:16:34	斜めに、
1:16:35	傾いた場合にはスルッと下に抜けないような構造になってるのかってい うのを確認したいんですけど、落下防止角が、
1:16:47	会社でございます多分そこは、この上から見た図でどう説明するかは考 えますけどこの容器の大きさ幅と、
1:17:00	ラックの

1:17:02	スペースの幅っていうんすかね。そこにどれだけ繰り合わせがあるかっていう話かなと思います。どこが狭ければ、結局アノか、がたつきも抑えられるし、ある程度その傾いて落下するなんてことも、アノさん。
1:17:18	防げるとか、そういうことなのかなと思います。もともとはこの容器自体を対応する要求を入れるっていうのがもともと目的なので、そういった形で作ってるもんだと認識をしてました。
1:17:29	はい。結構ここキツキツというかそんなようなイメージで。はい。
1:17:35	あんまり型要素がなさそうな、
1:17:38	いうところですよ。
1:17:40	私は皆さんの5コガじゃないこれ641ページに書いてある隙間みたいなのがもともと考えてる意味だそうですね。はい。
1:17:49	はい。
1:17:53	わかりました。以上です。
1:17:59	他の搬送設備等で、
1:18:03	確認したい点があればお願いします。
1:18:11	すいません。資料3最後になりますけど、163のラックピットタナベの方に移らせていただきたいと思います。
1:18:20	この点で、何かあればと思い、
1:18:24	規制庁わかれば確認をお願いします。はい。規制庁羽根です。藤先ほどもおっしゃっていただいた通り結局今回4ケースに絞っていただいて、
1:18:36	それぞれで崩壊熱状況の評価もするというお話を先ほど伺い、
1:18:43	それで、
1:18:44	いいかなと思ったんですがやっぱりずっと懸念しているのは、
1:18:50	全部が全部崩壊熱が高いわけじゃない、くて、
1:18:53	崩壊熱除去の要求はあっても、その
1:18:58	実際そんなに除去するほどの崩壊熱はないところっていうのは、おそらくMOXの設備はあると思うんですが、
1:19:08	例えばですね、今回
1:19:12	空気が上、上部に行くっていうことを、丁寧に説明している4ページ目とかですかね。
1:19:23	4ページの672ページ目、通しで、
1:19:26	もう燃料棒なんかだとほとんど、かなり小さい崩壊熱になった状況で、上に行くことを期待して、
1:19:35	空気が上に行くことを期待して、
1:19:38	設定されてるんですが、それでちゃんと、
1:19:41	評価で現れます。

1:19:44	どういう評価をするかにもよるんです。
1:20:09	あと日本ギリシャでございます。おっしゃっていただいております評価としては実際はコンクリートとか前のものの温度がどこまで上がるかっていうことで、
1:20:20	あとは中に入ってるものが、おっしゃる通り富化度がどんどんどんどん落ちてきて、10何%ぐらいのものが、ペレットになって燃料ピンに入って、
1:20:32	あとは燃料品の数ですよ置いてある。
1:20:35	が、多ければそれなりに
1:20:38	紐付モリモイマダですけど、崩壊熱的にはそれなりの量になるのかなっていうところを前提に評価しないといけないかなと思ってました。はい。はい、規制庁さんでない評価というたとえば、
1:20:51	おそらく崩壊熱が大きい側で評価するとは思うんですけど、
1:20:55	そう。
1:20:56	それで、対今言ったような懸念でその小さいでやってしまったばかりに実は滞留が全然起こってなくてっていう、
1:21:08	こともあるのかなと思った次第なんで、藤。はい。
1:21:12	多分困るのはですね。
1:21:15	どこかなあ、いろんなものが今後するところだよねちょうど弁も。
1:21:20	多分燃料棒みたいに一定のものが入るものが条件いって、
1:21:25	問題はSCHOOLは、
1:21:30	けど、
1:21:33	スクラップを最大富化度でやる。
1:21:36	もう1粉末状かなんかは多分いろんなものが入ってくるよね。マックスでやったらそんなに利益起こらないんです。
1:21:45	あと33%ばかりいいたらコウで動かないじゃない。だから、これは工程のとりあえず考えてこのぐらいの割合になるでしょうが、多分工程動かす度には条件ですよねみたいのを設定するんだよね。
1:21:58	なのでそういう考え方を整理をして、多分、どの稼働どういう配置するっていうのを考えなきゃいけない子設備はあると思います。はい。一定で言ってしまうと答えが出るものもあるし、そういうことを組み合わせを考えなきゃいけないものもあるのでそこは、
1:22:13	考え方を、補足も含めて丁寧に説明していくのかなと思ってました。はい。社長先生よろしくお願いいたします。
1:22:21	あと、
1:22:30	下から吹き込むようなもの、例えば、
1:22:37	この

1:22:40	674 がいいのか、675 なんかですかね、この
1:22:46	下から吹き込む吹き出し口がどのぐらいの、
1:22:50	頻度で開いてあるかみたいな話もあると思うんですが、そこは、何か、
1:22:59	と貯蔵しているものに対してそれぞれで、その間の感覚みたいなものが、おそらく数決められてると思うんですがその理解でよろしいですか。
1:23:10	はい。一定の間隔で入るようにしているということと先ほどあった間対応の柱を使ってるものは、その構造として、ある一定の間隔で柱が入っているのをそれに合わせて、
1:23:24	救急機構、相木コウ違うな術コード、排出口がついてるって意味ですね はい。はい、規制庁です。そういうのって評価の代表性みたいなところではどういうふうに表示するんですか。
1:23:40	はい。
1:23:42	ちょっとそうですね
1:23:47	何て言えばいいんだろうな。
1:23:50	設備自体はそんなに数がないってことで、675 もそうですけど、上に現状、MOX粉末買う一時保管設備って書いてますけど、多分このパターンこれ、この人だけなんですよ。
1:24:05	で、油井区複数アノが 676 ページのパターン、これが上にある三つ出てきますけどこの設備PTの設備が同じパターンみたいな。
1:24:16	なので、とどのつまりですね 675 ページ、674 ページ、673 ページ。
1:24:24	671 もそうですね。一部にも、上に書いてるもの行くしかないパターンが 1 個しかないっていう、設備が 1 個しかないっていうパターン。はい。
1:24:33	はい。成長数わかりました。で 670 は全部同じ感覚なんですか。
1:24:41	ちょっと確認ときますはい。間隔が同じであればその考え方が多分あるんでしょし、何か配慮してるのであれば、その考え方がわかるように書いていければと思います。はい。はい。政調会長の園田です。よろしくお願ひします。
1:24:56	ラックピット棚私から以上。
1:25:08	はい。規制庁の荒井です。
1:25:11	私は細かな確認なんですけども、
1:25:15	な 675 ページ目の、
1:25:19	通期コウノ構造。
1:25:22	なんですけど、
1:25:24	部の詳細ってあると思うんですけども、
1:25:27	これってしたって、ガイドピンみたいなところへ突き刺して、

1:25:33	両側から容器の両側から空気が出るようにしますってなってるんですけど、下の構造っていうのはガイドピンの土台の部分が少し盛り上がっていて、
1:25:44	そこで、
1:25:46	容器の底部との、
1:25:47	間隙を設けるっていう設計になってるんですかねちょっと、
1:25:51	黒と青が見づらくなってるんで、
1:26:12	はい、乳井ニシダでございます 675 ページ右から二つ目の絵ですかねこの緑がそうなんだよ多分。
1:26:20	緑で書いてあるのがこれが若干の多分突起物みたいな状態にして完全に容器が下まで来ないようにしてるんだらうなとそれで空間をつくっているというイメージだと思ってました。
1:26:33	わかりました。
1:26:35	そうすると、緑のところは、
1:26:41	あれなんですよ。
1:26:43	緑のところは、
1:26:45	どういう傾向、上から見たときには、
1:26:50	リング状になってるんですか。
1:27:04	口じゃないな。
1:27:08	四つの支持台みたいながあるのか、ちょっと外国人の本数がない。日本ではなくて四つですね。そうですね。ガイドピンの本数は 4 本です。要するにあるので、その要するになところに、
1:27:20	多分、パッと見たイナガキってことかなイメージ的には、
1:27:26	ぐらいなのか。
1:27:32	わかりました。はい。
1:27:35	そういった何か家を変えてくると思いますが、
1:27:38	はい。ちょっと拡大したら緑のが見えたんでそういうことなんだっていうのわかりましたので、はい。
1:27:47	私から特に
1:27:52	一応、
1:27:53	資料 3 関係もやり、最後は参考っていうところで、
1:28:03	今日のメニューで、
1:28:06	ほかに耐震 01 とかありましたけど、
1:28:13	はい、日本イシダでございます耐震においては午前中からの話でももとの耐震建物 01 との関係を、と共通に今回作った時の関係性も含めて、必要なものがちゃんと盛り込まれているのか、何を説明したいとかを、

1:28:30	今一度こちらで整理をするということだと思っておりますので、整理結果を踏まえて修正をしてまた再度提出をしたいと思えます。
1:28:39	はい。
1:28:40	特に細かく触れなくてこちらとしてもよろしいですかね。
1:28:45	規制庁カミデですけど、どうす。
1:28:50	また改めてっていうのでいいんですね今これお話しするじゃないですけど、
1:28:56	感覚としては、
1:28:59	普通にある実用炉も、
1:29:02	実用炉の補足の作り方を見つつ、最初
1:29:09	分割申請、だからその辺も手当をしながら、まとめていった資料なんで、
1:29:17	共通 12 があるからって何であんなに変わるのかなっていうのは思っていて、
1:29:23	普通に踏襲してつけれないですかっていうのは、最初に思った疑問なんですけどその点について何か答えられます。
1:29:32	はい、日本エザワでございますちょっとそこは、私もハンドリング見せた気がしているのでおっしゃっていただいたようにそもそも今回の申請における耐震によつての網羅性っていうかね全体像を、
1:29:47	示すというのがこの耐震タケノ 01 の役割だと、教授ができたからといってその役割が変わるわけではないというのがおっしゃってる通りだと思いますんで、そこを最初の考えをちゃんと
1:30:01	認識した上で、整理をしていくということかなと思います。はい。
1:30:07	はい。規制庁伴です。ずれないのであれば、両方、まず受注ニワ 12 で作り、受 0 実区切つてしないと、要は 12 が固まっていない以上、
1:30:20	何か作りもしないでああだこうだよっていうのは、空中戦になったときがしますので、アノ 01 は、もともとフォーマットが決まっています、つくれています。
1:30:34	はず。とは言つても申請して、1 年以上経つてできてないっていうことなのか。
1:30:41	かもしれないですけど、何かそれはそれで進めてもらいつつ 12 と一緒に話がつけばいいなあと思つてますけど、いかがですか。
1:30:49	はい、日本インダでございますはい。
1:30:53	連帯、やるべきことを並行して進めていく必要があると思つてますので、採用を進めて、
1:31:01	どちらでどうっていう説明も含めて全体が見えるようにさせていただければと思えます。共通中には待つてから取つても意味ないですし、その辺も含めて整理をしていきます。はい。

1:31:14	はい、わかりました。よろしくお願いします。
1:31:18	他、規制庁側から何かアノすとは言っても、ここ、これだけは聞いておきたいみたいのがあれば、言ってもらえればと思いますけど大丈夫ですか。
1:31:32	規制庁カミイチ則にないようなんで、荒井さんすいません、進めてください。
1:31:39	はい、規制庁荒井です。そうしたら、本日のメニューはこれっていうところで、
1:31:44	振り返りは、
1:31:47	簡単に、
1:31:48	しますかメインで、大きな修正がある程度、
1:31:52	とか考え方を整理する点とかに絞って、
1:31:56	やれますか。
1:31:59	はい。日本原燃石田でございます。
1:32:03	5分だけ時間ください。はい。
1:32:05	はい。
1:32:15	確認スゲノそしたら5分。
1:32:17	一旦休憩挟んでから振り替え再開ということでよろしかったでしょうか。規制庁横山です。
1:32:25	はい。はい。そうですね。はい。
1:32:29	休憩を挟んであれば、十分をお願いします。はい。
1:32:37	わかりましたそれでしたら、17時13分なので、25分。
1:32:42	から再開ですかね、でよろしいでしょうか。
1:32:48	はい。お願いします。わかりました。録音を停止します。
0:00:01	はい、録音を開始しました。それでは振り返りの方をお願いします。
0:00:06	はい。井出志田でございます。今画面共有させていただいてますページの⑥、⑦、これは本文とガイドの関係の整理ということで、
0:00:18	設定項目の記載のところの、ガイドから本文との整合性というか記載のよるかということを経タカオやるということ。
0:00:28	⑦番は資料3のところは今資料2でやってるようにガイドと本文の棲み分けをして、本文の記載も、整理をしていくということを書いています。
0:00:40	はい。別添1と書いてあるその次が、最初の説明グループとか設計10組分類ですが、
0:00:48	これは全体的に記載を整理していくというポイントを幾つか例示で挙げていただいたと思いますので、いただいた例のところを踏まえて、
0:00:58	全体に展開していきたいと思います。
0:01:01	はい。

0:01:03	MOXの別添2の方の目標のところは一緒に対してのお話がありました これ当該ルールの説明の際に、
0:01:13	いただいた内容を踏まえて、説明を展開で議論していくということで準備 をさせていただこうと思います。
0:01:21	はい。3、24番は、これ金融機関の変更点、どちらかというと、本文との 関係もありますけど
0:01:32	どうやって抽出したのかというところのプロセスを明確にすると、今の本 文の記載だけだとやはり内容やってるかが見えづらいところというの もありますので、その整理を進めるというのが24番でございます。
0:01:47	はい。20、鮎25番からは資料2の話ですけども、基本的に大きかった のが31番ですかね。
0:01:59	新生対策設備のところ今回いろんな運搬ユキ側のやつを足しちゃう んですけど、設備側に反映ができてないところは確認をしていくとい うこと。
0:02:11	ちょっと32番、えっと書かれてる内容は、ちょっとずれちゃっているの で、これアノみたいなのは、溶液エザワの容量評価の前提になるウエキア ガワの容量に、カワセの構造説明みたいなものっていうのを、
0:02:26	それぞれちゃんと上げた上で紐付けをするということです。
0:02:31	あとは、33番は個別補足章今回の資料3、共通にも共通の補足説明資 料であるんですけど、あとは添付書類への説明と、共通12で言うコード 設計等の説明と、
0:02:46	個別補足の関係ですね、こういったものは個別そこを作るのか、強力に 大枠の考え方が書いてあるんですけど、今回の共通順位における個別 方策の位置付け、どういう使い方をするのかは、
0:03:00	共通事例の本文側に何らか、考え方を追加をしていきたいと思 います。
0:03:07	はい。35番はこれ評価項目の話全体、整理をして、資料につなげて いくときにどんな評価があるのかっていうのが見えるかという話です。
0:03:19	36番は個別補足の参考2-2でしたかね、個別オオツカの一覧表の中 での説明グループがいろいろ跨るやつの説明の仕方をどういう範囲ど こで説明するのかっていうのが見える化できるように、
0:03:35	今の記載を拡充していくということかと思 います。
0:03:40	はい。
0:03:42	で、資料3の(1)の青字のところについて、はい。
0:03:50	41番42番、43番まではフローの話ですね、法定の流れの話のところ での指摘あった部分を書いています。
0:04:01	粉末の入ってくる場所の流れだったり、もう再処理からくる貯蔵容器の 閉じ込めのバウンダリとの関係であつたりというところ、これも第2回の

	対象になってないところは、ある程度工程の流れの中で、どういう境界になっているかが見えるように整理をしていければと思います。
0:04:23	あとまた書きで書いている流れの中での申請開示との関係が見えるようにということで整理をしていければと思います。
0:04:33	はい。あと 40。
0:04:37	5 番はさっきの話ですね行ってきたものと同じです。イケダの評価の前提の話。
0:04:44	あとは八鍬とかは細かい項目ですけど、ビニールバッグの設定温度、これ評価で受ける。
0:04:54	はい。戸部頭側化で受けていることを整理をしていくと。
0:05:01	はい。
0:05:03	あとは、図の書き方の点でいくと、
0:05:11	48 番。
0:05:13	どっかのさ、栗駒いろいろ記載を確認しましたことの、さらにちょっと関係性がわかるようにということと、49 番使用表はもうちょっと鮮明なものをつけさせていただくということ。
0:05:28	あと 50 番は、遮へい扉ノダ、グループ 4、
0:05:33	47 で出てくるものとの境界はありますけど今回のグローブボックスの閉じ込めの境界になっているところの説明として必要なものということをちゃんと考えて、
0:05:44	あとグループ様に渡すところは何かということ整理をしていくと、ということかと思っています。
0:05:51	はい。
0:05:56	あとは 53 番目遮へい部だが、上に乗っかってる絵がありましたけど、この辺の形状とかの関係だったり重量の関係。
0:06:06	説明を追加していくと、ということかと思っています。
0:06:13	はい。換気設備 54 番からは、崩壊熱の話がこの形態って言ってるのは、
0:06:22	どうですか。
0:06:24	他、ペレットと粉末の業態の違いを形態と言ってますけどそこには他にもいろんな意味が含まれているので適切な表現に見直すと。
0:06:33	運転。
0:06:35	あと 55 番は保守性を説明すると機能のスペースなのか、アクセスルートというかアクセス具。
0:06:44	具とか加工できているという話なのかその辺の説明と、図の関係ですね、整理をしていくと。
0:06:52	ということかと思えますはい。

0:06:56	あとは 56 は、添付の中に書いてあったモリイアノ風量の計算の仕組み等の関係ですねこれはちょっと利益関係を確認をしますということ。
0:07:09	あとは、57 番も同じですね工程室の風量はアカウントスズキにグローボックス逃げていくか、風量アノオカベの量との関係をどう整理しているかっていうところは、
0:07:21	もう一度こちらで整理をさせていただこうと思います。
0:07:25	はい。58 番以降が、機械装置搬送設備、
0:07:33	ここかなあ。
0:07:35	そういう、ここは特にマッピングなんていうところは勤務が要らないようにちょっともうちょっと、まずを作り込んでいくということ、あとワイヤードに 60 番ですね我々 20 か普通、1 個入れても大丈夫なように設計されていると思うんですけど、そういったところをちゃんと記載として、
0:07:53	示していくと、ということ。
0:07:57	あとは、4 メートル以内って言うてるハンドリングのための前提になっている評価ですね、これ許可のやつを確認したところ、
0:08:08	許可の断面でビデオで使ってるのは、燃料棒の 4 メートルが原燃工さんがやってる試験評価試験結果評価。
0:08:18	評価解析のレポートみたいのをエビデンスにしています。9 メートルのナカは、再処理の事業指定事業許可申請書が、
0:08:31	多分これを読み込みにいくと、確か何かの落下試験があったはずで、その辺との関係をちょっとひもといていければと思います。
0:08:42	はい。あとは 64 番、回転機器がどこについてみたいのが上はちょっとわかりづらいのでこの辺の工夫をしていくと。
0:08:52	ということ。
0:08:55	ですかね。あと、65 番から 9 ピット棚になります。
0:09:01	評価の断面での前提ってのがちゃんと次、何ていうか非保守的になっただけのように整理をしていくということですかね。
0:09:12	あとは通期コウとかの感覚、設計上の配慮が何らかあるのであれば、それをして、
0:09:18	今回の説明の中でも拡充をしていくということかと思いますが。
0:09:23	はい。以上です。
0:09:28	規制庁のアライです規制庁オオバから。
0:09:31	振替について確認等ありますでしょうか。
0:09:43	はい。
0:09:44	特にないようでしたら、
0:09:47	明日、審査会合資料の、
0:09:51	説明もあり、

0:09:53	その場で、今日の指摘事項も踏まえて、
0:09:58	直す部分っていうのは明日の説明で、あわせて説明されるものだと思いますが、いかがですかね。
0:10:07	はい。日本原燃石田でございます。はい。小できるように、はい。準備していきます。はい。
0:10:13	はい。
0:10:16	では規制庁側から、特に、
0:10:18	ありませんか。セトオカです。結局、明日午後、午後というか今日の続きの時間も明日とってると思うんですが、そこはもう、
0:10:30	ないということよろしいですか。規制庁がいいのか。
0:10:38	他、特に耐震の方もよろしいですか、もう。
0:10:42	込みディスク特に不要だと思います。はい。
0:10:46	規制庁加賀です。でしたら明日進め方と会合資料の方をやって終わりということで、認識しましてありがとうございます。
0:10:55	以上です。
0:10:59	はい。規制庁新居です。は特になければ、
0:11:02	これで本日のヒアリングは終了したいと思います。
0:11:09	はい、じゃあどうもお疲れ様でした。
0:11:13	どうもありがとうございました。